

令和7年度
滋賀の子どもたちの声調査
調査報告書

令和8年（2026年）2月
滋賀県

【目次】

I. 滋賀の子どもの声調査の概要	4
II. 滋賀の子どもの声の主な調査結果	7
1 対象者の基本属性	8
(1) 性別	8
(2) 住んでいる地域	10
(3) 同居している家族	11
(4) 所属状況	12
2 子どもの幸せ実感	12
(1) 幸福度	12
(2) 幸福度別にみた身体の状態の満足度	13
(3) 幸福度別にみた気持ち・こころの満足度	15
(4) 幸福度別にみた家庭の満足度	16
(5) 幸福度別にみた学校の満足度	17
(6) 幸福度別にみた地域の満足度	18
3 子どもの日常生活・感じていること	20
(1) 自己肯定感・努力の試み・意思の伝達・将来への希望・他者からの承認・自己の影響	20
(2) 過去1年以内に学校の授業以外で取り組んだこと	22
(3) びわ湖や自然を守るためにやりたいこと	24
(4) 学校の授業以外で体を動かす頻度	26
(5) 現在抱えている悩み	28
(6) 悩みごとがある場合の相談相手	30
(7) 過去1年以内のインターネットやSNS上での経験	32
(8) ほっとできる・安心できる居場所	35
(9) 家や学校以外に行ってみたいと思える居場所	38
(10) 放課後や休日の過ごし方	41
(11) 家庭での親・家族との交流	43
(12) 学校生活であてはまること	45
(13) 将来の希望進学先	47
(14) 将来の希望進学先を阻害し得る問題点	49
(15) 希望する20年後の将来像	51
(16) 将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について	54
(17) 将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割について	58
(18) 滋賀県に対する好感度	61
(19) 住まいの地域で力を入れてほしいこと	62
(20) 普段の情報入手先	66
(21) 情報収集の手段として最も使うアプリ	67
(22) 滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法	69

（２３）「滋賀県子ども基本条例」の認知度	7 1
4 日々の生活で思ったことや気づいたこと（自由記述）	7 4

I. 滋賀の子どもの声調査の概要

1 調査目的

滋賀県内の子どもたちに関する意識や状況を様々な観点から調査し、今後の子ども施策を推進するための基礎資料とする。

2 調査の方法

2-1 調査対象者数

- (1) 県内在住の小学5年生：1,062人
県内の小学校（特別支援学校小学部を含む）に通う平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれの男女1,062人。
- (2) 県内在住の中学2年生：1,134人
県内の中学校（特別支援学校中学部を含む）に通う平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの男女1,134人。
- (3) 県内在住の高校2年生世代：1,000人
平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの男女1,000人。

2-2 調査の主体および協力機関

- (1) 実施主体：滋賀県（子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課）
- (2) 協力機関：市町

2-3 調査項目

滋賀県子どもの声調査票（小学5年生用、中学2年生用、高校2年生世代(16～17歳)用（以下「調査票」という。））

2-4 調査時期

令和7年9月12日～10月6日

2-5 方法

- (1) 小学5年生、中学2年生（以下調査対象ア）については県内の小中学校の学級ごとに集落無作為抽出を行う
- (2) 高校2年生世代（以下調査対象イ）については地域別（7地域：大津地域（大津市）、湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）、甲賀地域（湖南市、甲賀市）、東近江地域（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）、湖東地域（彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）、湖北地域（長浜市、米原市）、湖西地域（高島市））に層化二段無作為抽出を行う
- (3) 調査は、郵送法、オンライン調査法の併用、無記名方式

2-6 調査の手順

- (1) 県は調査対象アについて県内の小中学校の学級ごとに無作為抽出を行う。
- (2) 受託者は調査対象イについて住民基本台帳から上記2-5方法の（2）の地域別に層化二段無作為抽出を行う。

- (3) 県は上記(1)で抽出した学級の名簿を受託者に送付。受託者は上記(2)で抽出した対象者の名簿を作成。受託者はそれぞれの名簿をもとに調査票を当該学級と対象者に郵送。
- (4) 県は郵送された調査票を郵送およびオンラインで回収。

2-7 調査の集計および公表

調査の集計および公表は、県子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課において実施。

3 回収結果

区分	対象学級数	調査票 配布数	有効回答 件数	有効 回答率	無効回答 件数*1
小学5年生	43	1,062	847	79.8%	0
中学2年生	37	1,134	828	73.0%	0
高校2年生世代	-	1,000	642	64.2%	0
合計	-	3,196	2,317	72.5%	0

*1 無効回答とは返信された調査票に回答が記入されていないもののこと。白票ともいう。

4 統計表および文中についての留意事項

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%とならない場合がある。
- (3) 回答比率(%)は、無回答を含めたその質問の回答者数を基数(N=Number of case、集計対象となるサンプル数)として算出している。
- (4) 本文中の表などにおいて、選択肢が長い文章となる際に簡略化している場合がある。

II. 滋賀の子どもの声の主な調査結果

1 対象者の基本属性

(1) 性別

ア 小学5年生では、「男性」が445名 52.5%、「女性」が387名 45.7%、「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が15名 1.8%となっている。

イ 中学2年生では、「男性」が403名 48.7%、「女性」が400名 48.3%、「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が24名 2.9%となっている。

ウ 高校2年生世代では、「男性」が304名 47.4%、「女性」が325名 50.6%、「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が12名 1.9%となっている。

図1－(1)－1 小学5年生の性別

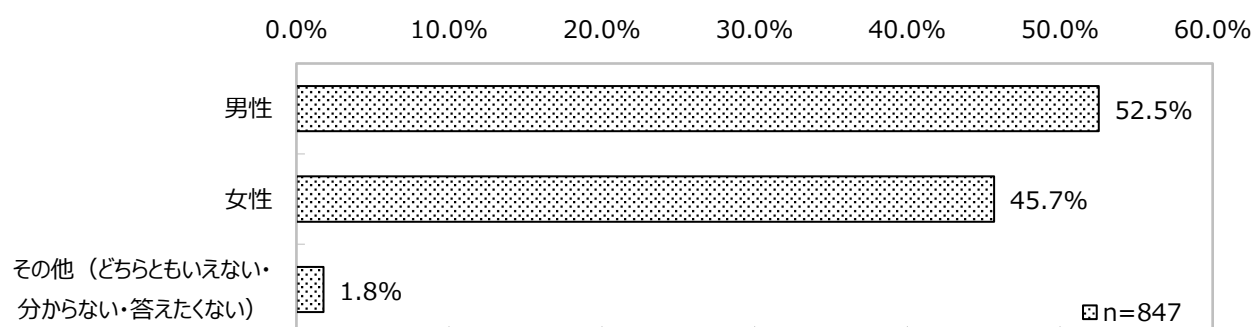


表1－1 小学5年生の性別

n=847

	回答数	構成比
男性	445	52.5%
女性	387	45.7%
その他 (どちらともいえない・分からない・答えたくない)	15	1.8%
無回答	0	0.0%
合計	847	100.0%

図1－(1)－2 中学2年生の性別

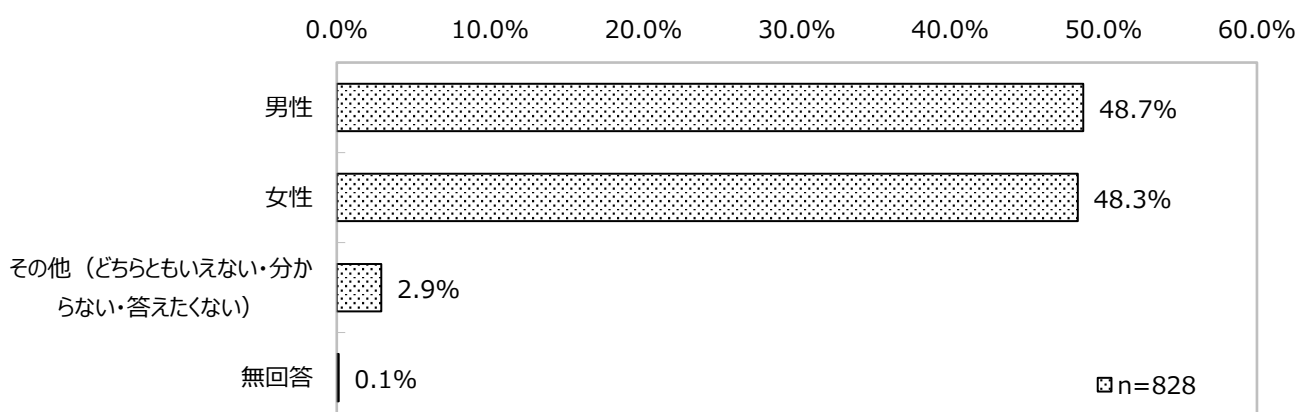


表 1－2 中学2年生の性別

n=828

	回答数	構成比
男性	403	48.7%
女性	400	48.3%
その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	24	2.9%
無回答	1	0.1%
合計	828	100.0%

図 1－（１）－３ 高校2年生世代の性別

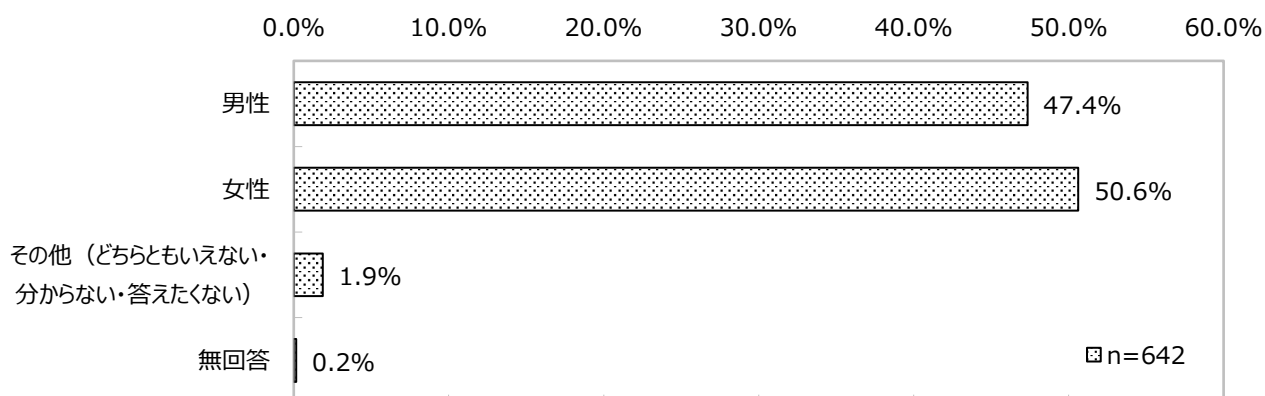


表 1－3 高校2年生世代の性別

n=642

	回答数	構成比
男性	304	47.4%
女性	325	50.6%
その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	12	1.9%
無回答	1	0.2%
合計	642	100.0%

(2) 住んでいる地域

表 1－4 小学5年生の住んでいる地域

n=847

	回答数	構成比
大津地域(大津市)	212	25.0%
湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	236	27.9%
甲賀地域(湖南市、甲賀市)	78	9.2%
東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	122	14.4%
湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	90	10.6%
湖北地域(長浜市、米原市)	87	10.3%
湖西地域(高島市)	20	2.4%
無回答	2	0.2%
合計	847	100.0%

表 1－5 中学2年生の住んでいる地域

n=828

	回答数	構成比
大津地域(大津市)	192	23.2%
湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	203	24.5%
甲賀地域(湖南市、甲賀市)	111	13.4%
東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	143	17.3%
湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	79	9.5%
湖北地域(長浜市、米原市)	98	11.8%
湖西地域(高島市)	1	0.1%
無回答	1	0.1%
合計	828	100.0%

表 1－6 高校2年生世代の住んでいる地域

n=642

	回答数	構成比
大津地域(大津市)	182	28.3%
湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	137	21.3%
甲賀地域(湖南市、甲賀市)	52	8.1%
東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	101	15.7%
湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	65	10.1%
湖北地域(長浜市、米原市)	72	11.2%
湖西地域(高島市)	33	5.1%
無回答	0	0.0%
合計	642	100.0%

(3) 同居している家族

ア 小学5年生では、「父親（お父さん）」が91.1%、「母親（お母さん）」が98.1%、「兄弟・姉妹」が87.2%、「祖父母（おじいさん、おばあさん）」が12.8%、「その他親戚」が0.6%、「その他」が4.3%となっている。

イ 中学2年生では、「父親（お父さん）」が86.1%、「母親（お母さん）」が97.3%、「兄弟・姉妹」が84.5%、「祖父母（おじいさん、おばあさん）」が15.3%、「その他親戚」が1.0%、「その他」が4.2%となっている。

ウ 高校2年生世代では、「父親（お父さん）」が86.4%、「母親（お母さん）」が97.0%、「兄弟・姉妹」が78.3%、「祖父母（おじいさん、おばあさん）」が14.2%、「その他親戚」が0.6%、「その他」が1.6%となっている。

図1－(3)－1 小学5年生の同居している家族

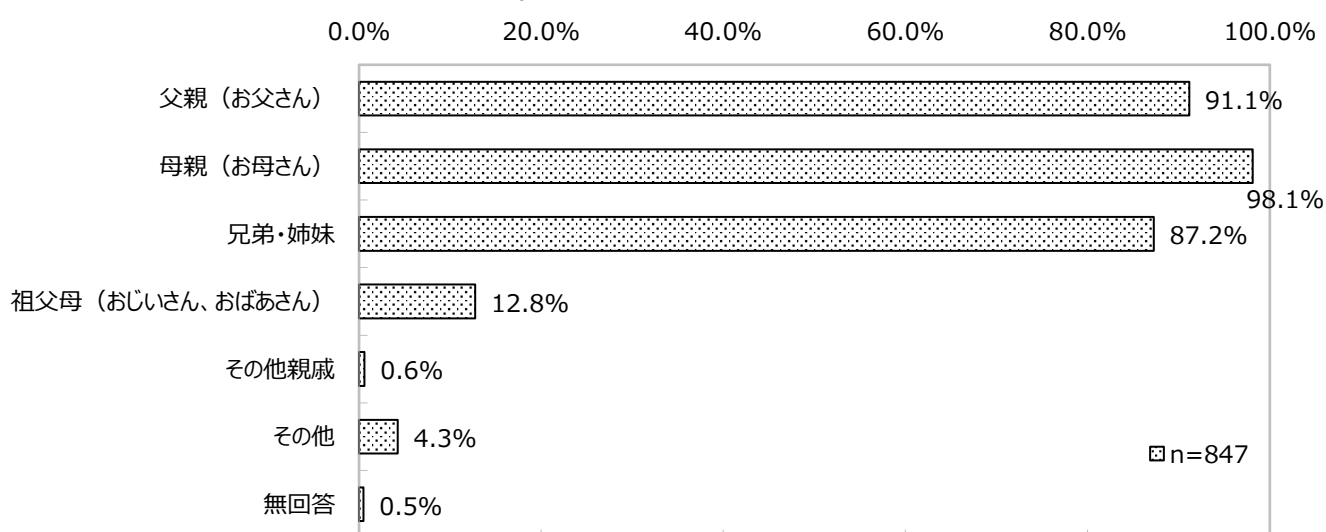


図1－(3)－2 中学2年生の同居している家族

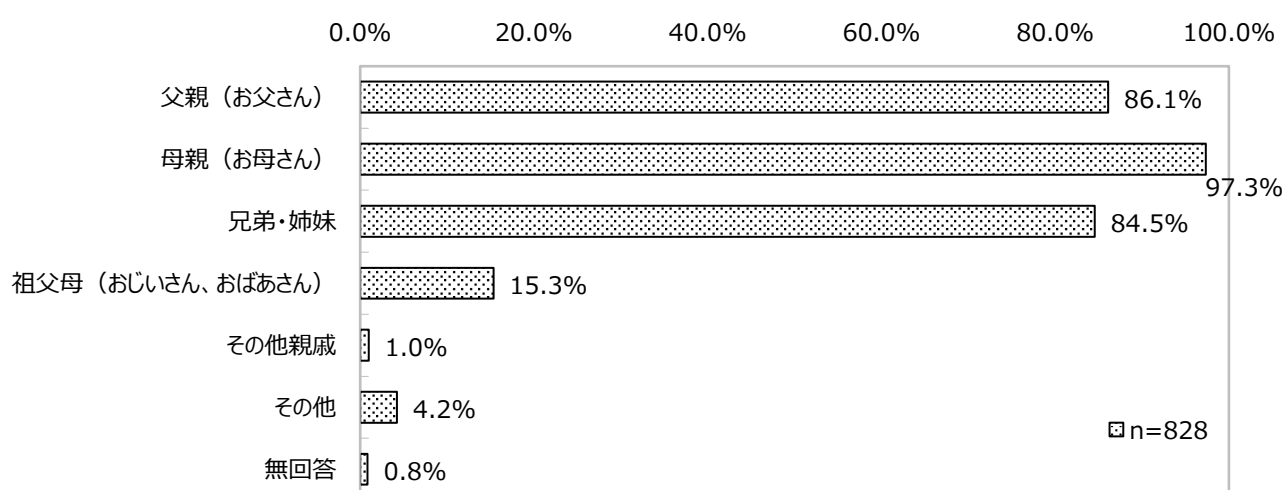
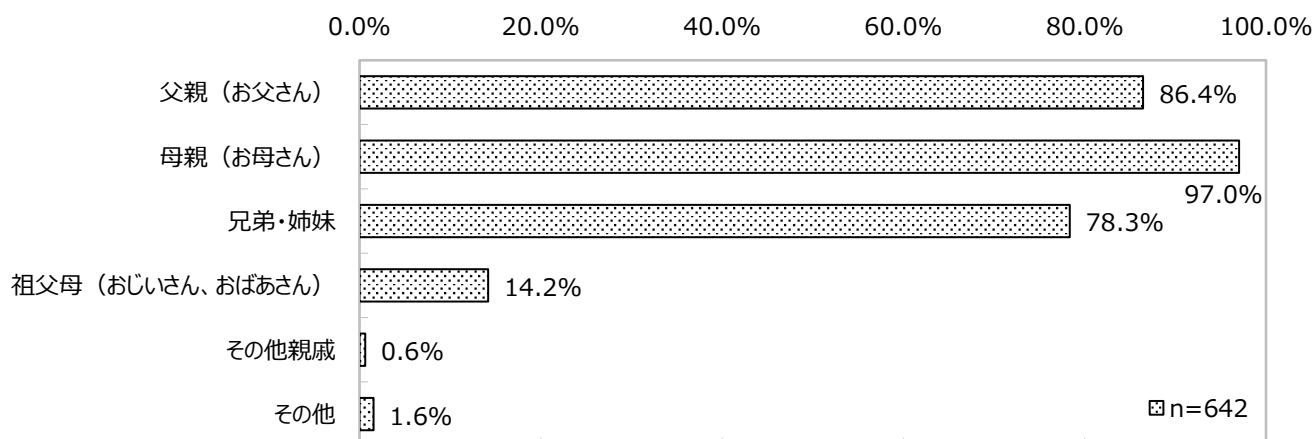


図 1－（3）－3 高校2年生世代の同居している家族

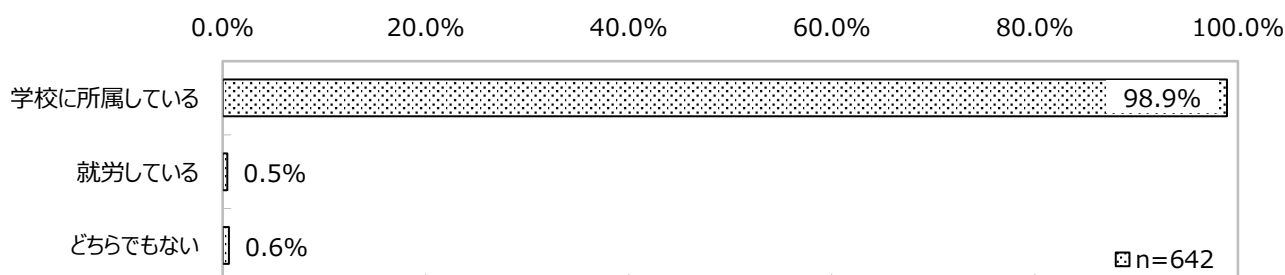


（4）所属状況

「学校に所属している」が 98.9%、「就労している」が 0.5%、「どちらでもない」が 0.6%となっている。

※高校 2 年生世代のみ回答

図 1－（4）－1 高校2年生世代の所属状況



2 子どもの幸せ実感

（1）幸福度

ア 小学 5 年生では、「幸福度（高：10～7 点）」が 81.6%、「幸福度（中：6～4 点）」が 15.1%、「幸福度（低：3～0 点）」が 2.1%となっている。

イ 中学 2 年生では、「幸福度（高：10～7 点）」が 69.3%、「幸福度（中：6～4 点）」が 24.6%、「幸福度（低：3～0 点）」が 4.3%となっている。

ウ 高校 2 年生世代では、「幸福度（高：10～7 点）」が 67.6%、「幸福度（中：6～4 点）」が 24.6%、「幸福度（低：3～0 点）」が 4.2%となっている。

図 2 - (1) - 1 小学5年生の幸福度

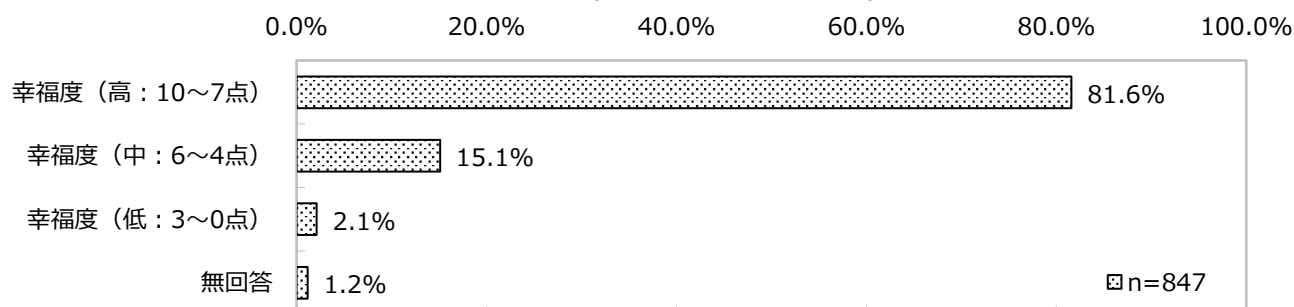


図 2 - (1) - 2 中学2年生の幸福度

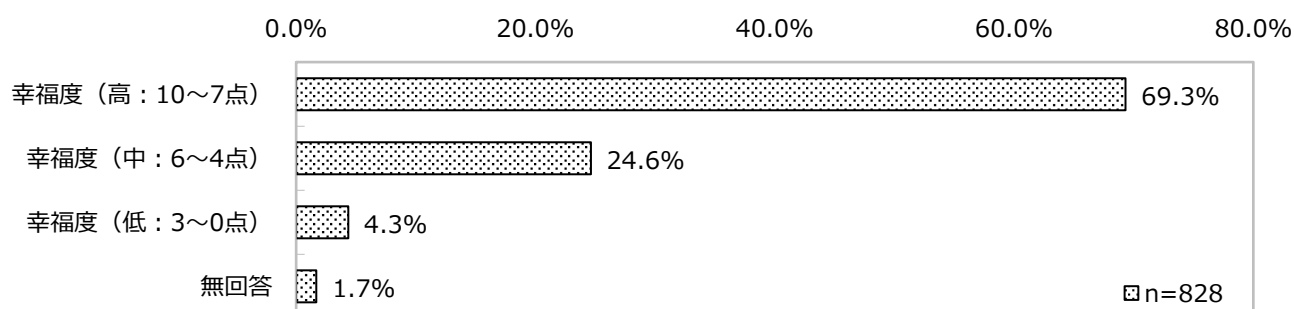
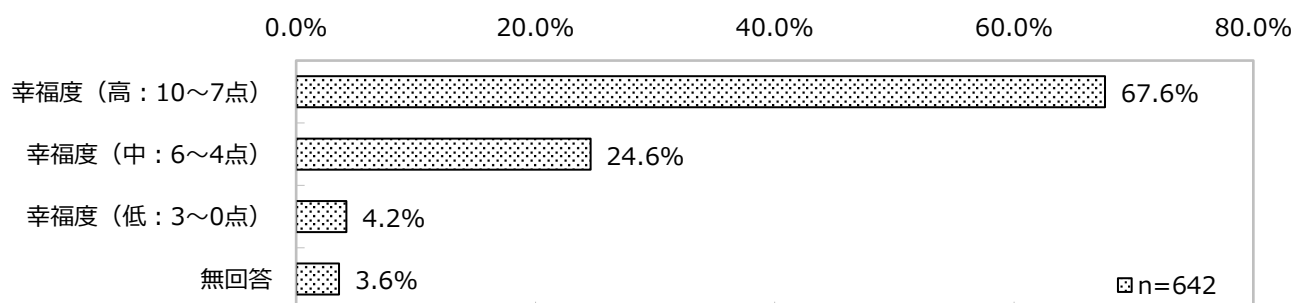


図 2 - (1) - 3 高校2年生世代の幸福度



(2) 幸福度別にみた身体の状態の満足度

ア 小学5年生の幸福度別にみた身体の状態の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が56.7%と最も多く、次いで「とても満足」が30.1%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が70.3%と最も多く、次いで「満足していない」が19.5%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足」が66.7%と最も多く、次いで「満足していない」が27.8%となっている。

イ 中学2年生の幸福度別にみた身体の状態の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が58.9%と最も多く、次いで「とても満足」が37.0%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が63.2%と最も多く、次いで「満足していない」が21.6%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足していない」が55.6%と最も多く、次いで「満足」が27.8%となっている。

ウ 高校2年生世代の幸福度別にみた身体の状態の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が62.4%と最も多く、次いで「とても満足」が26.0%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が60.8%と最も多く、次いで「満足していない」が27.8%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足」が51.9%と最も多く、次いで「満足していない」が22.2%となっている。

図2－(2)－1 小学5年生の幸福度別にみた身体の状態の満足度

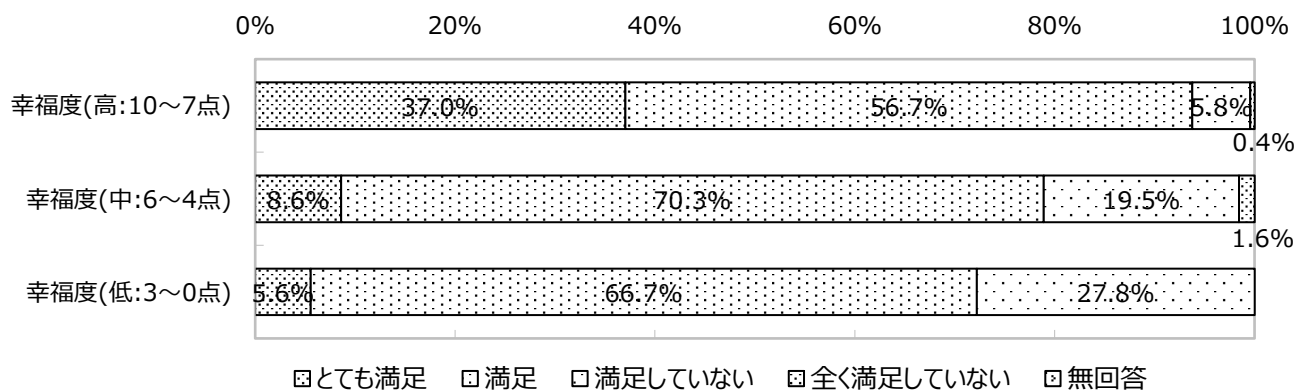


図2－(2)－2 中学2年生の幸福度別にみた身体の状態の満足度

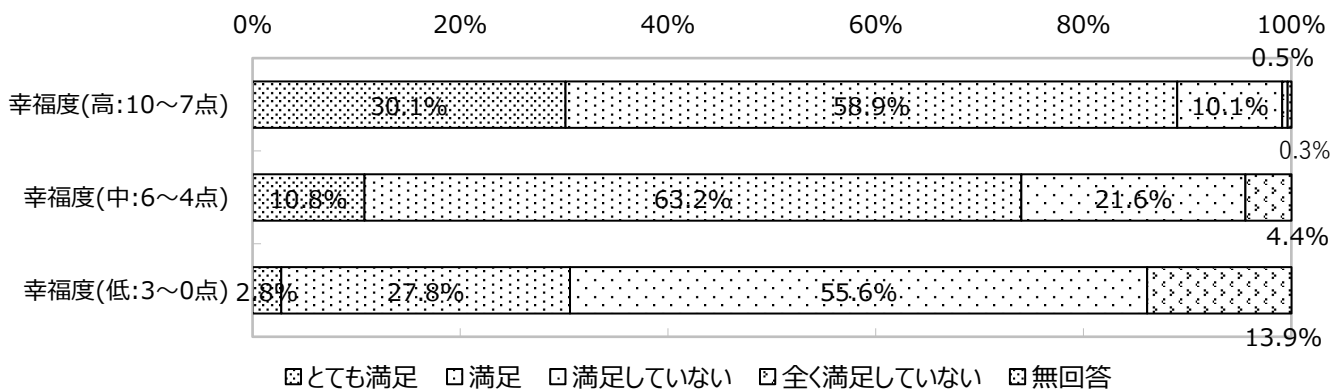
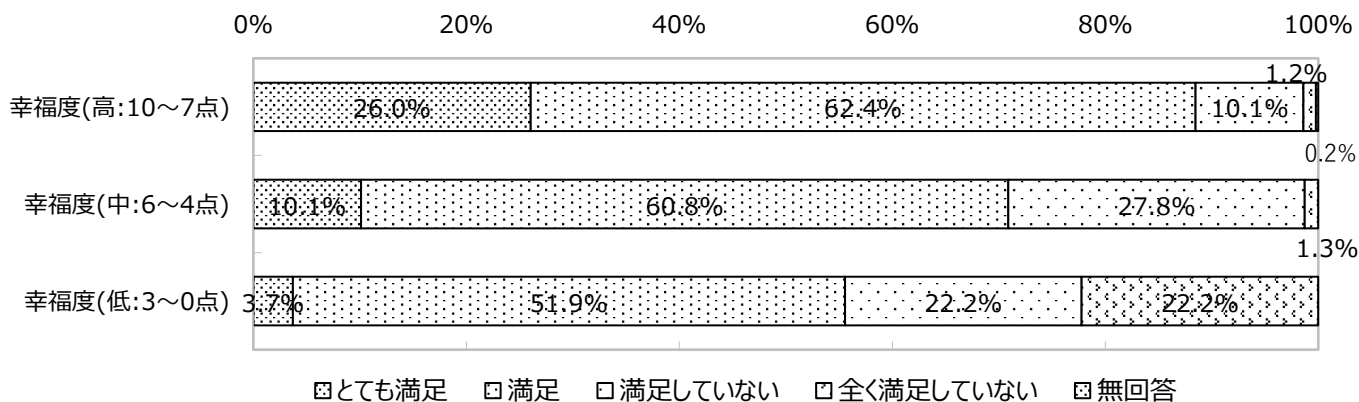


図2－(2)－3 高校2年生世代の幸福度別にみた身体の状態の満足度



(3) 幸福度別にみた気持ち・こころの満足度

ア 小学5年生の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が58.2%と最も多く、次いで「とても満足」が32.4%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が60.9%と最も多く、次いで「満足していない」が26.6%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足していない」が44.4%と最も多く、次いで「満足」が38.9%となっている。

イ 中学2年生の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が66.2%と最も多く、次いで「とても満足」が22.8%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が56.4%と最も多く、次いで「満足していない」が32.8%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足していない」が55.6%と最も多く、次いで「全く満足していない」が36.1%となっている。

ウ 高校2年生世代の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が68.2%と最も多く、次いで「とても満足」が22.1%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が52.5%と最も多く、次いで「満足していない」が41.1%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足していない」が51.9%と最も多く、次いで「全く満足していない」が44.4%となっている。

図2－(3)－1 小学5年生の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度

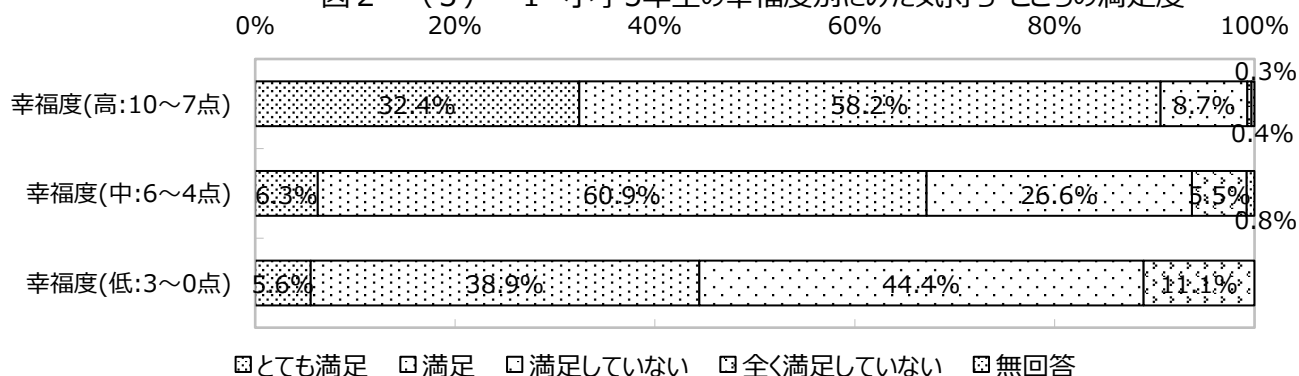


図2－(3)－2 中学2年生の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度

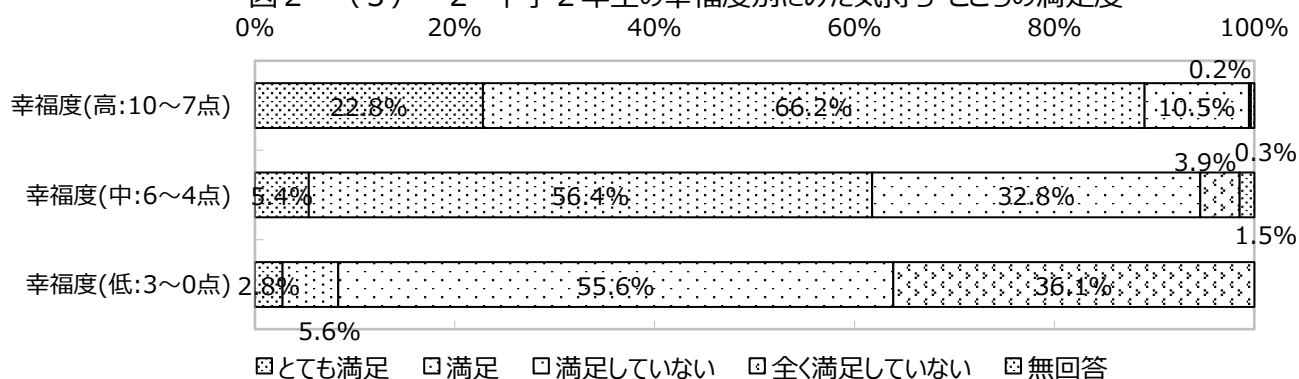
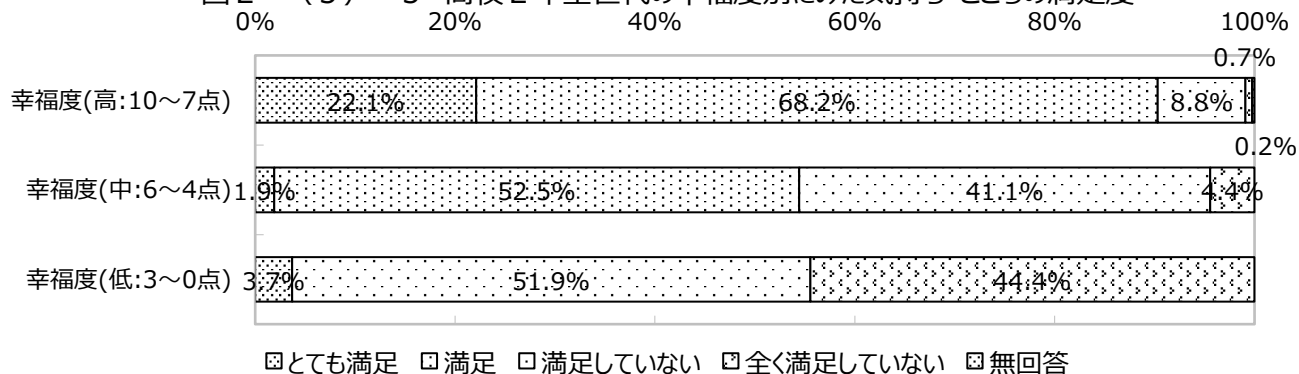


図 2 - (3) - 3 高校 2 年生世代の幸福度別にみた気持ち・こころの満足度



(4) 幸福度別にみた家庭の満足度

- ア 小学 5 年生の幸福度別にみた家庭の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「とても満足」が 61.6%と最も多く、次いで「満足」が 35.0%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 53.9%と最も多く、次いで「とても満足」が 26.6%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足」が 44.4%と最も多く、次いで「満足していない」が 27.8%となっている。
- イ 中学 2 年生の幸福度別にみた家庭の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「とても満足」が 50.2%と最も多く、次いで「満足」が 46.2%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 61.3%と最も多く、次いで「とても満足」が 21.6%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足していない」が 38.9%と最も多く、次いで「満足」が 27.8%となっている。
- ウ 高校 2 年生世代の幸福度別にみた家庭の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「とても満足」が 51.2%と最も多く、次いで「満足」が 44.0%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 65.2%と最も多く、次いで「とても満足」と「満足していない」が 17.1%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足していない」が 40.7%と最も多く、次いで「全く満足していない」が 37.0%となっている。

図 2 - (4) - 1 小学 5 年生の幸福度別にみた家庭の満足度

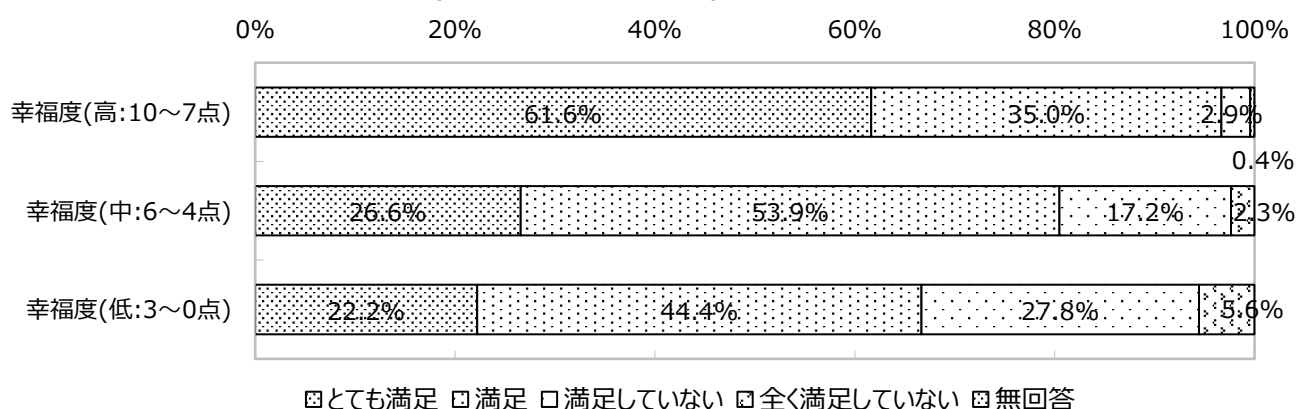


図 2 - (4) - 2 中学 2 年生の幸福度別にみた家庭の満足度

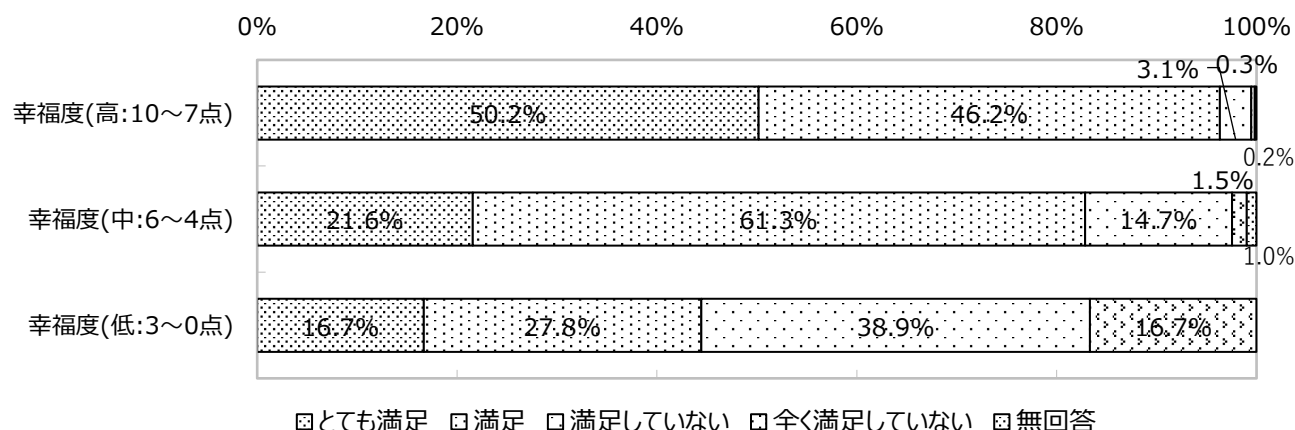
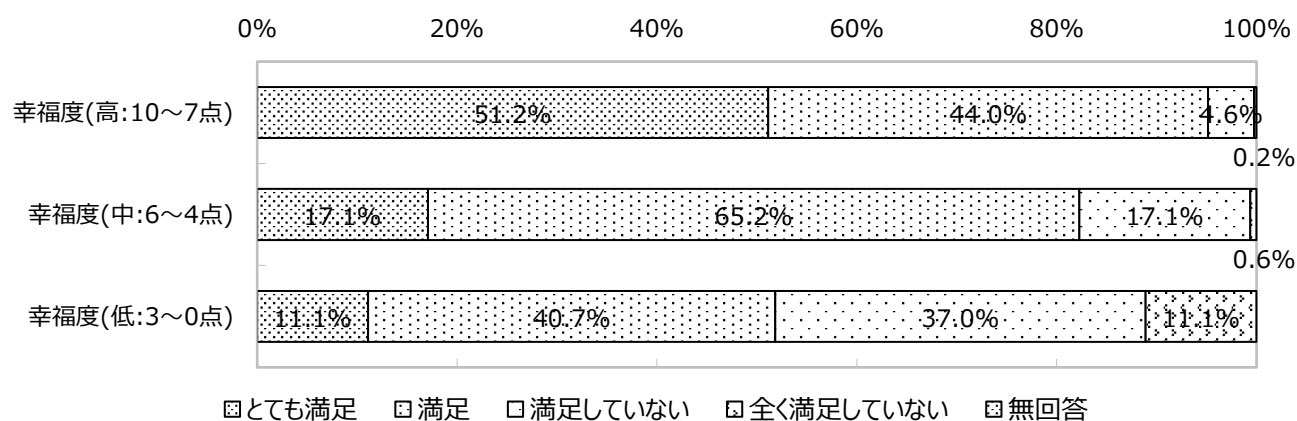


図 2 - (4) - 3 高校 2 年生世代の幸福度別にみた家庭の満足度



(5) 幸福度別にみた学校の満足度

- ア 小学 5 年生の幸福度別にみた学校の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「満足」が 54.8%と最も多く、次いで「とても満足」が 33.7%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 57.0%と最も多く、次いで「満足していない」が 20.3%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足」が 38.9%と最も多く、次いで「とても満足」が 22.2%となっている。
- イ 中学 2 年生の幸福度別にみた学校の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「満足」が 60.3%と最も多く、次いで「とても満足」が 30.1%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 61.8%と最も多く、次いで「満足していない」が 21.6%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足していない」が 38.9%と最も多く、次いで「全く満足していない」が 33.3%となっている。
- ウ 高校 2 年生世代の幸福度別にみた学校または職場の満足度は、「幸福度(高:10～7 点)」で「満足」が 62.4%と最も多く、次いで「とても満足」が 27.9%、「幸福度(中:6～4 点)」で「満足」が 55.7%と最も多く、次いで「満足していない」が 34.2%、「幸福度(低:3～0 点)」で「満足していない」が 37.0%と最も多く、次いで「満足」が 29.6%となっている。

図 2 - (5) - 1 小学5年生の幸福度別にみた学校の満足度

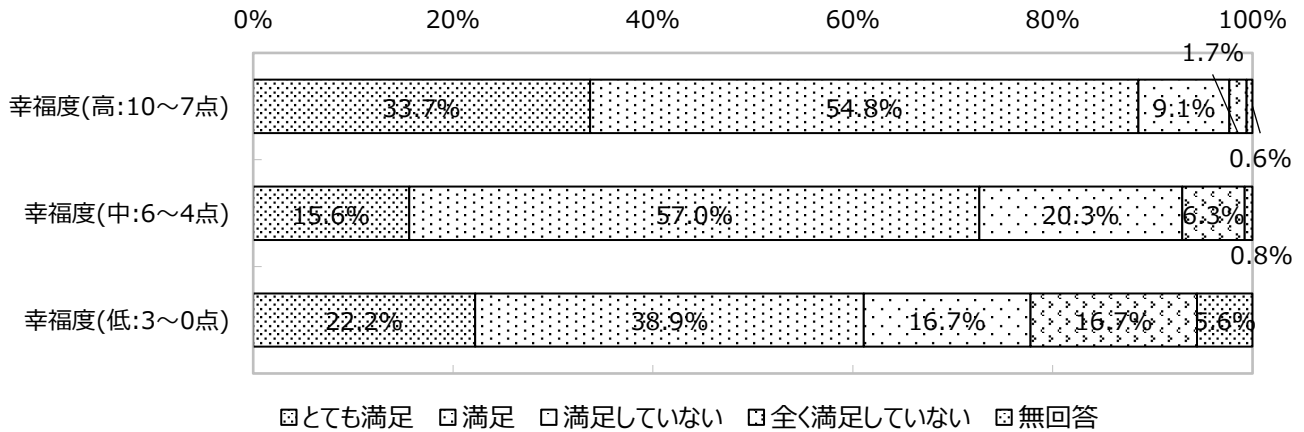


図 2 - (5) - 2 中学2年生の幸福度別にみた学校の満足度

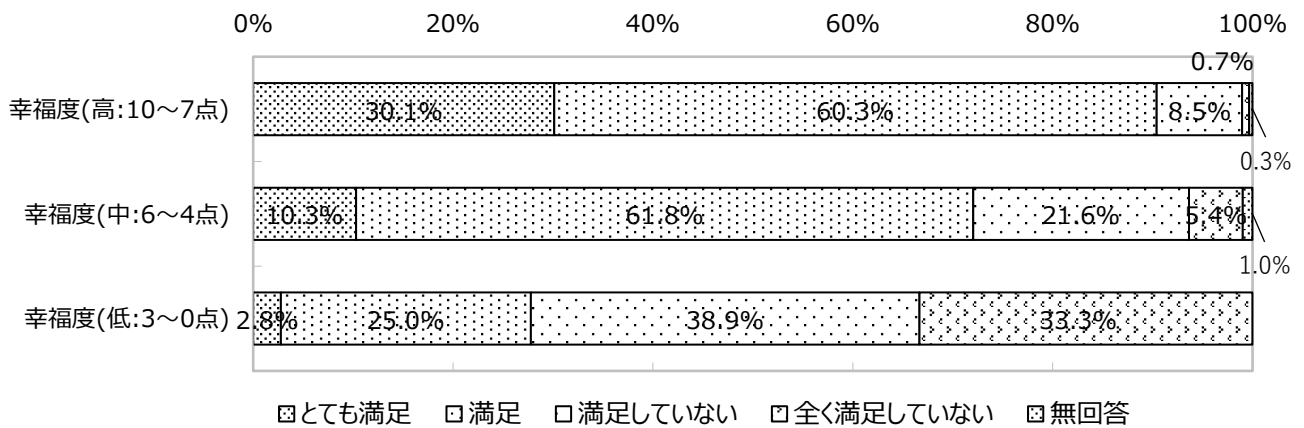
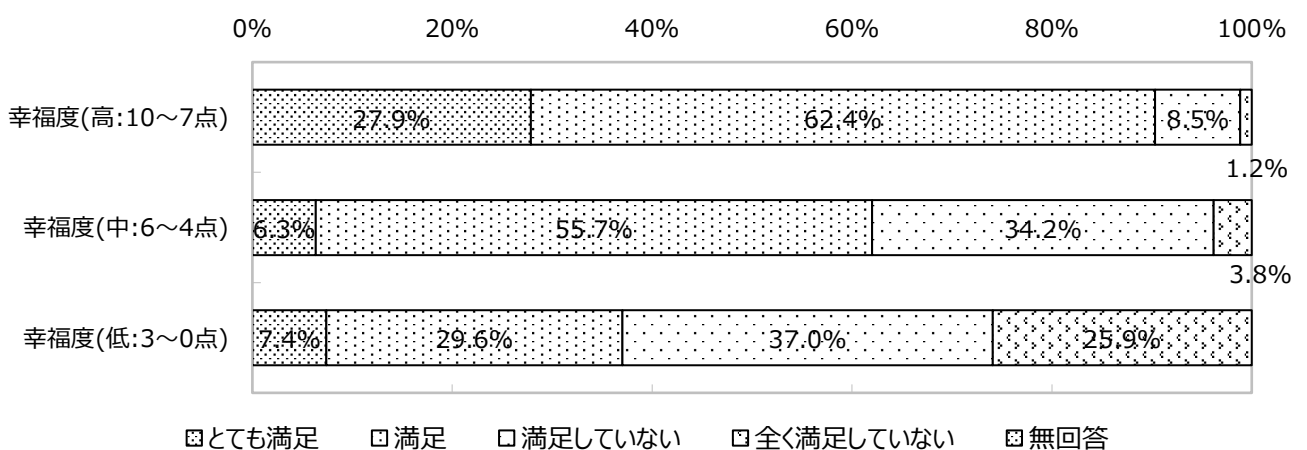


図 2 - (5) - 3 高校2年生世代の幸福度別にみた学校または職場の満足度



(6) 幸福度別にみた地域の満足度

ア 小学5年生の幸福度別にみた地域の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「とても満足」が 54.1%と最も多く、次いで「満足」が 40.1%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が

43.8%と最も多く、次いで「とても満足」が39.1%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足」が50.0%と最も多く、次いで「とても満足」が27.8%となっている。

イ 中学2年生の幸福度別にみた地域の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が52.4%と最も多く、次いで「とても満足」が32.9%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が64.2%と最も多く、次いで「満足していない」が15.7%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足」が50.0%と最も多く、次いで「満足していない」が33.3%となっている。

ウ 高校2年生世代の幸福度別にみた地域の満足度は、「幸福度(高:10～7点)」で「満足」が59.4%と最も多く、次いで「とても満足」が24.9%、「幸福度(中:6～4点)」で「満足」が64.6%と最も多く、次いで「満足していない」が18.4%、「幸福度(低:3～0点)」で「満足」が51.9%と最も多く、次いで「満足していない」と「全く満足していない」が14.8%となっている。

図2－(6)－1 小学5年生の幸福度別にみた地域の満足度

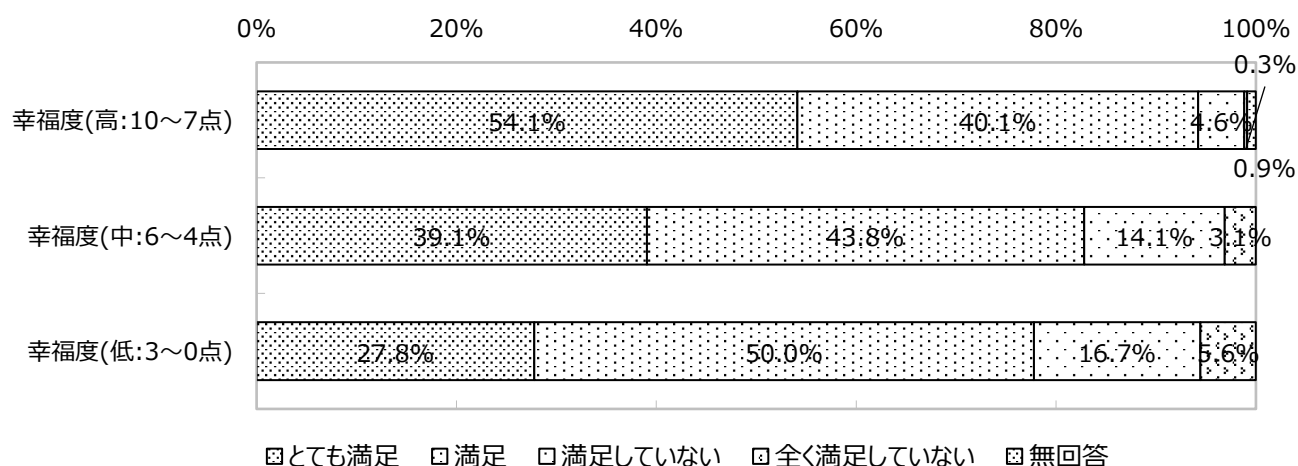


図2－(6)－2 中学2年生の幸福度別にみた地域の満足度

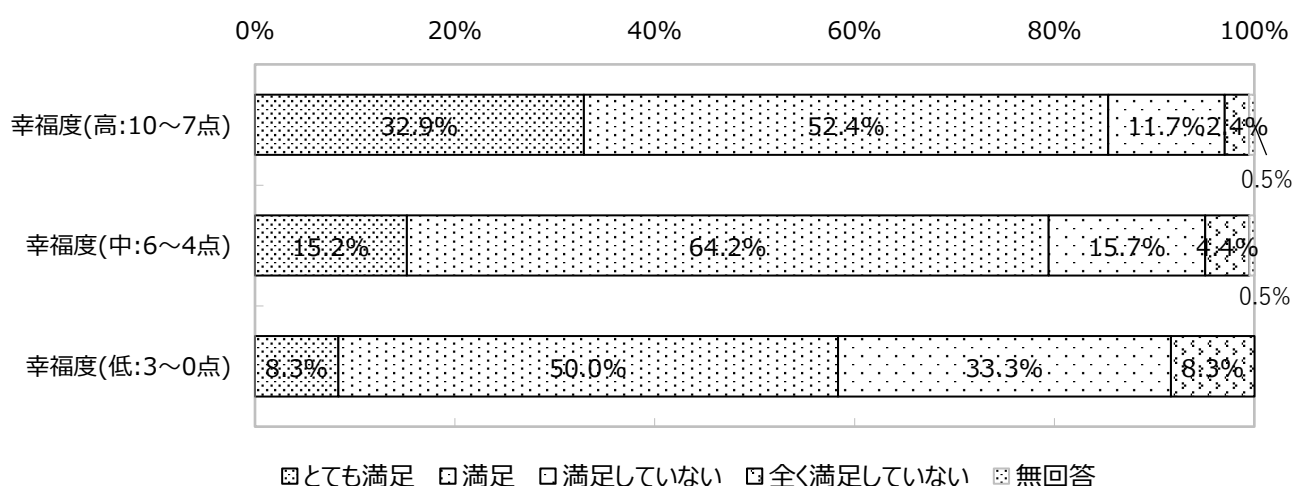
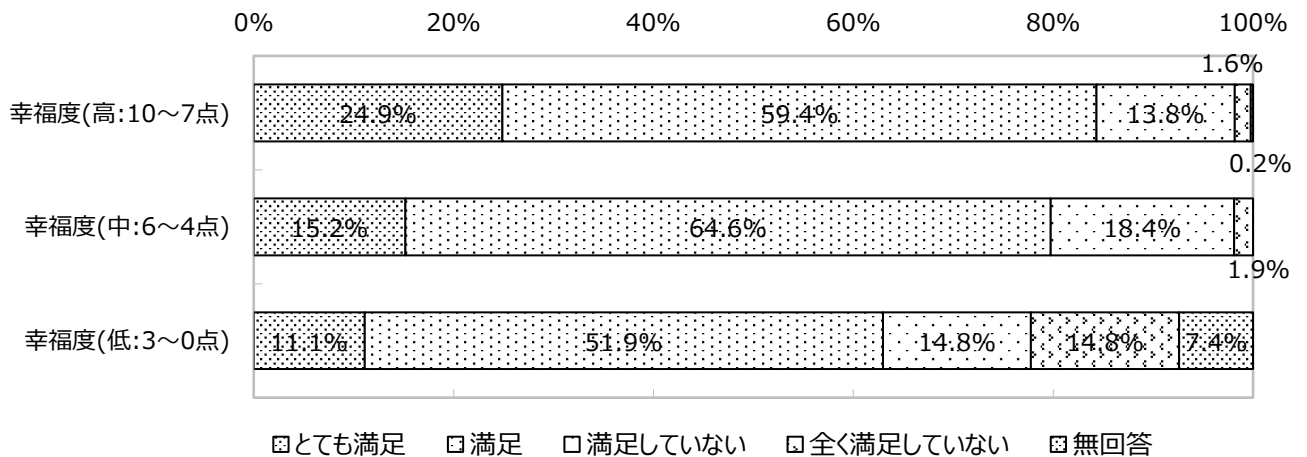


図2－（6）－3 高校2年生世代の幸福度別にみた地域の満足度



3 子どもの日常生活・感じていること

（1）自己肯定感・努力の試み・意思の伝達・将来への希望・他者からの承認・自己の影響力

- ア 小学5年生では、「今の自分が好き(自己肯定感)」、「うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む(努力の試み)」、「自分の将来について明るい希望がある(将来への希望)」、「社会において、自分に関係することについて、意見や気持ちを聞いてもらえる(他社からの承認)」で「あてはまる」と「少しあてはまる」の合計が約80%を占める。
- イ 中学2年生では、「今の自分が好き(自己肯定感)」で「あてはまる」と「少しあてはまる」の合計が約70%を占め、「うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む(努力の試み)」で「あてはまる」と「少しあてはまる」の合計が約80%を占める。
- ウ 高校2年生世代では、「今の自分が好き(自己肯定感)」で「あてはまる」と「少しあてはまる」の合計が約70%を占め、「うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む(努力の試み)」で「あてはまる」と「少しあてはまる」の合計が約80%を占める。
- エ 小学5年生、中学2年生、高校2年生世代の全てにおいて、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う(自己の影響力)」で「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計が約60%を占める。

図3－（１）－１ 小学5年生が感じる自己肯定感・努力の試み・意思の伝達・
将来への希望・他者からの承認・自己の影響力の適合度

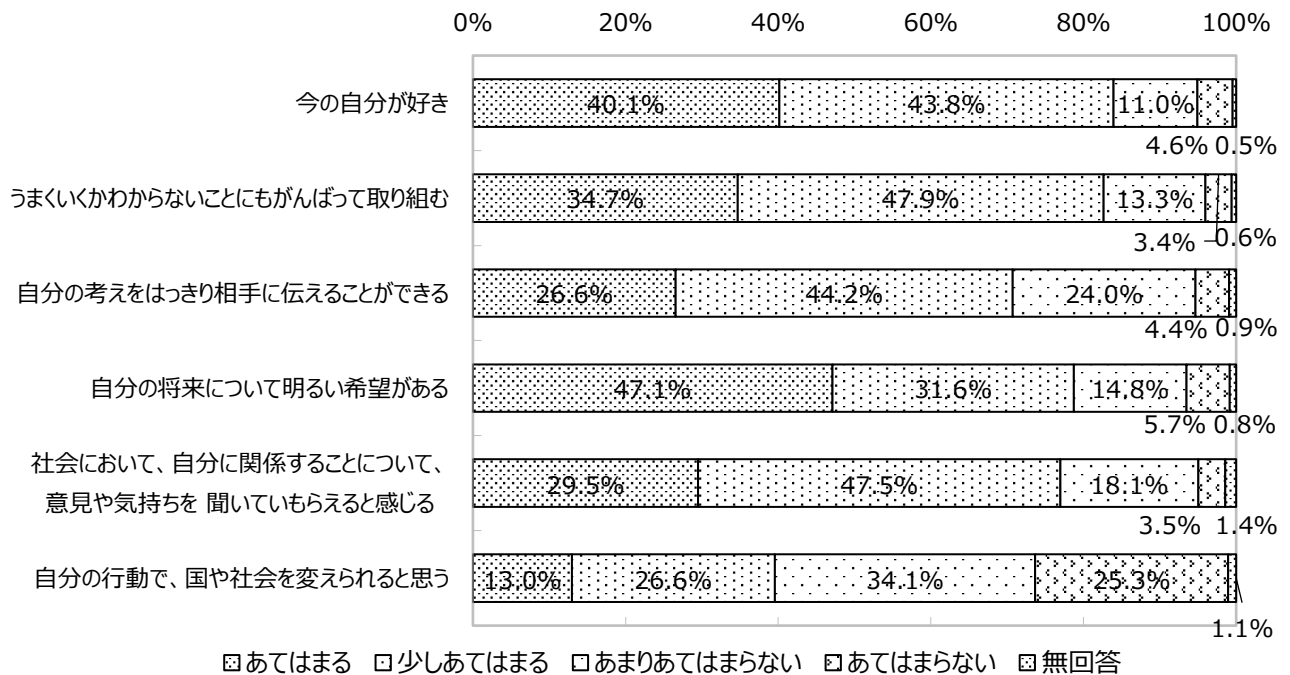


図3－（１）－２ 中学2年生が感じる自己肯定感・努力の試み・意思の伝達・
将来への希望・他者からの承認・自己の影響力の適合度

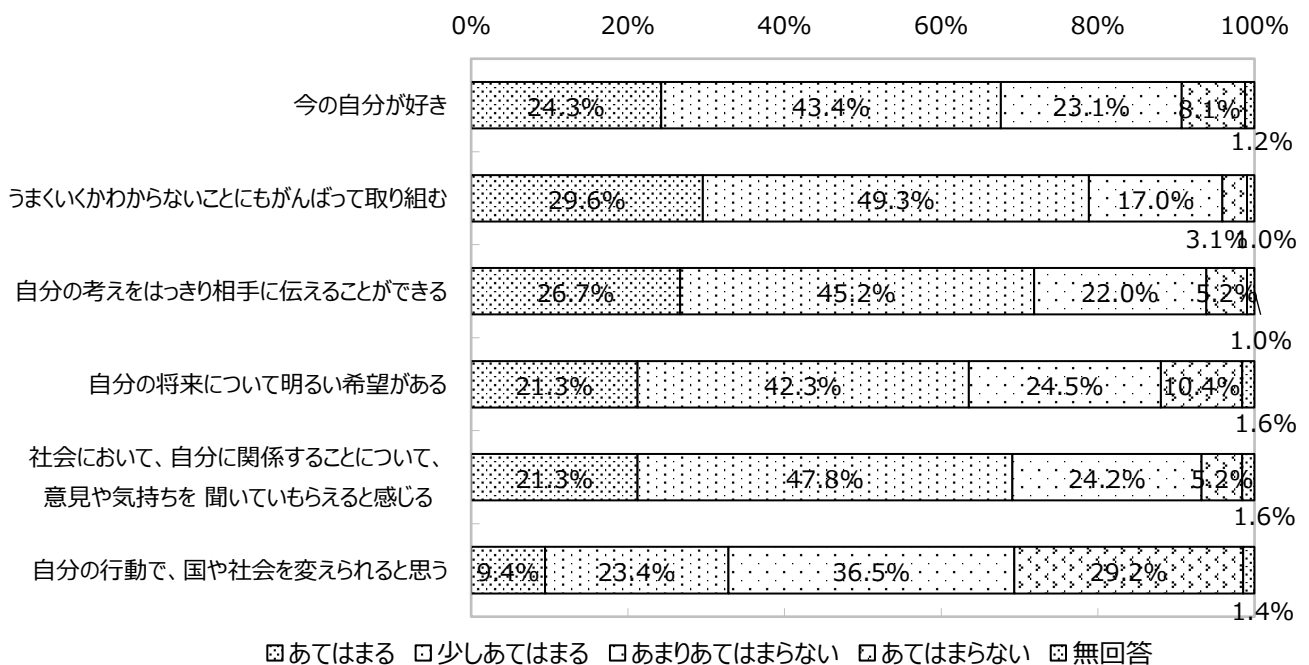
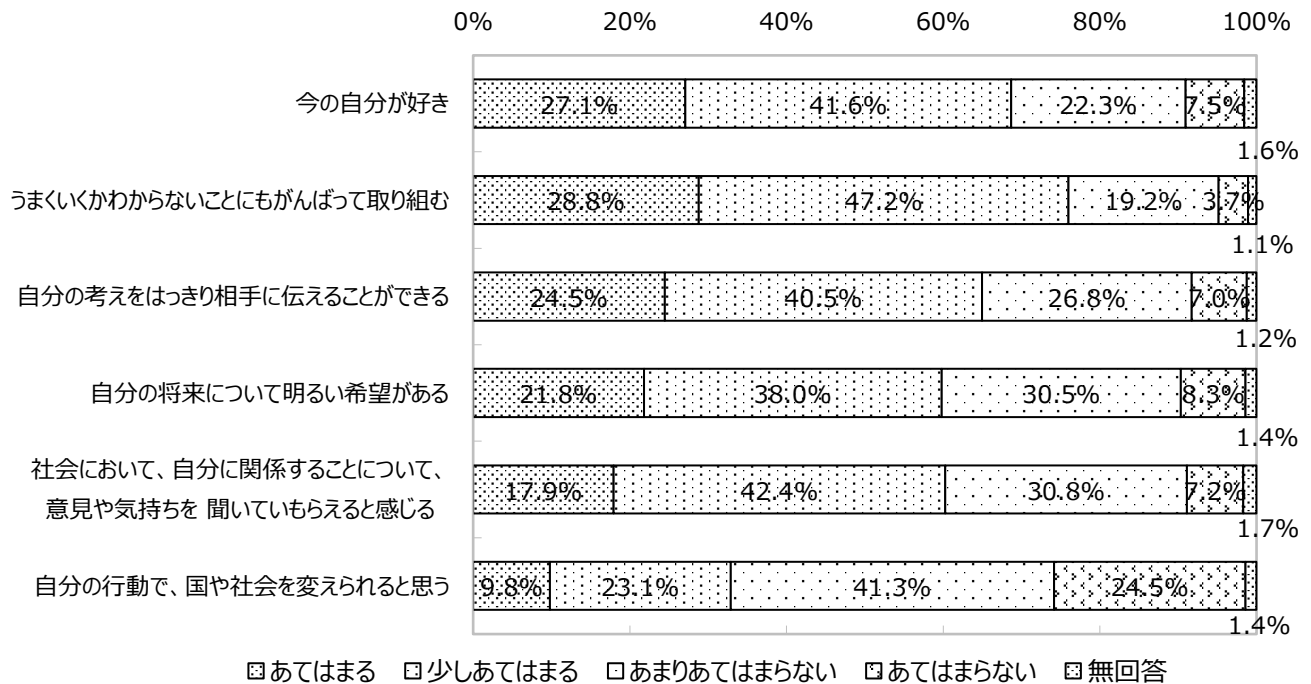


図 3 - (1) - 3 高校2年生世代が感じる自己肯定感・努力の試み・意思の伝達・
将来への希望・他者からの承認・自己の影響力の適合度



(2) 過去 1 年以内に学校の授業以外で取り組んだこと

ア 小学 5 年生の過去 1 年以内に学校の授業以外で取り組んだことは、「絵画を見た」「音楽を聞いた」「お城や神社、お寺を見た」など文化・芸術の鑑賞活動」が 73.3%と最も多く、次いで「野球やサッカーなどの球技」「水泳」「ジョギング」など運動やスポーツ」が 72.7%となっている。

イ 中学 2 年生の過去 1 年以内に学校の授業以外で取り組んだことは、「絵画を見た」「音楽を聞いた」「お城や神社、お寺を見た」など文化・芸術の鑑賞活動」が 74.0%と最も多く、次いで「野球やサッカーなどの球技」「水泳」「ジョギング」など運動やスポーツ」が 73.6%となっている。

イ 高校 2 年生世代の過去 1 年以内に学校の授業以外で取り組んだことは、「絵画を見た」「音楽を聞いた」「お城や神社、お寺を見た」など文化・芸術の鑑賞活動」が 75.2%と最も多く、次いで「野球やサッカーなどの球技」「水泳」「ジョギング」など運動やスポーツ」が 59.5%となっている。

図3－(2)－1 小学5年生の過去1年以内に学校の授業以外で取り組んだこと
(複数回答)

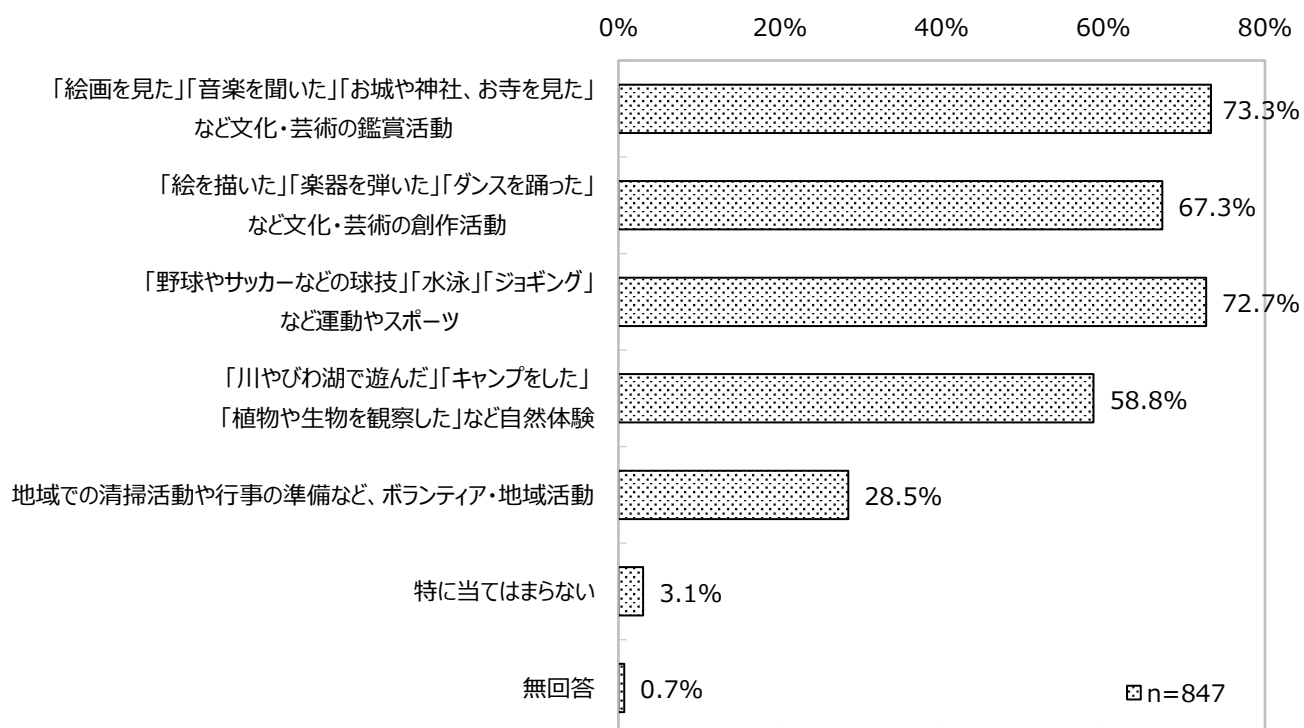


図3－(2)－2 中学2年生の過去1年以内に学校の授業以外で取り組んだこと
(複数回答)

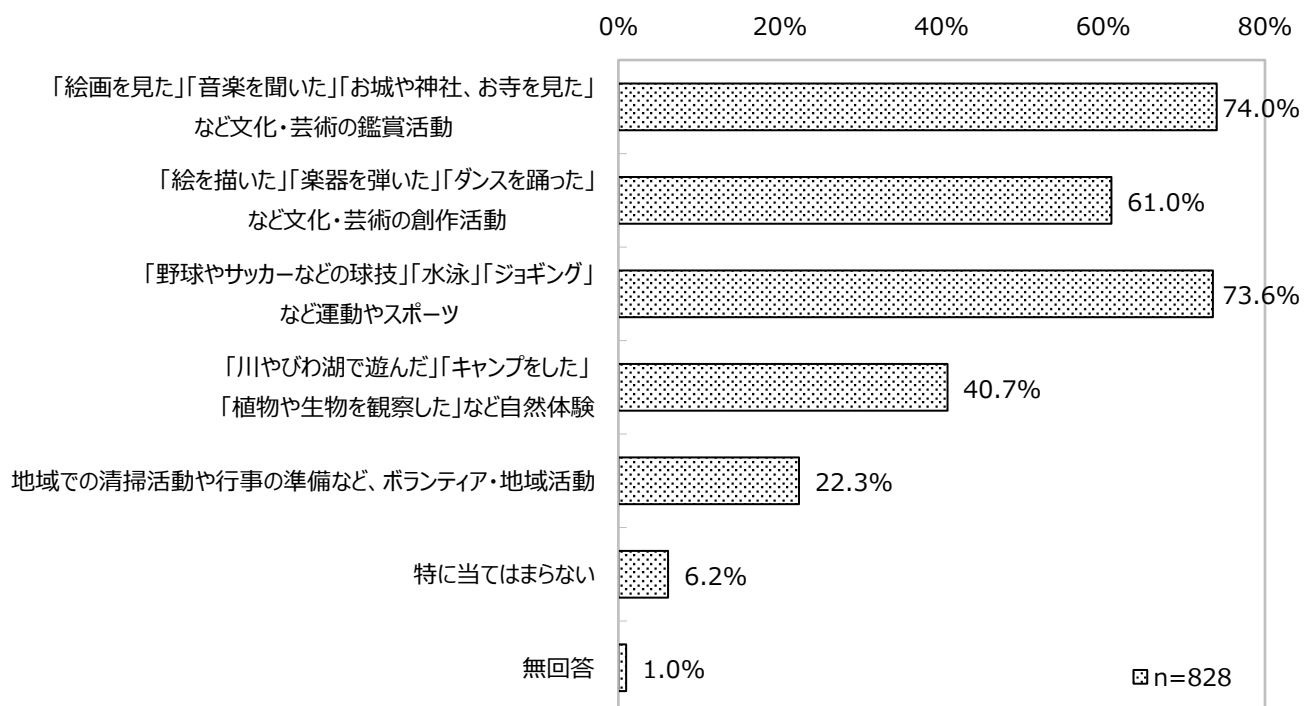
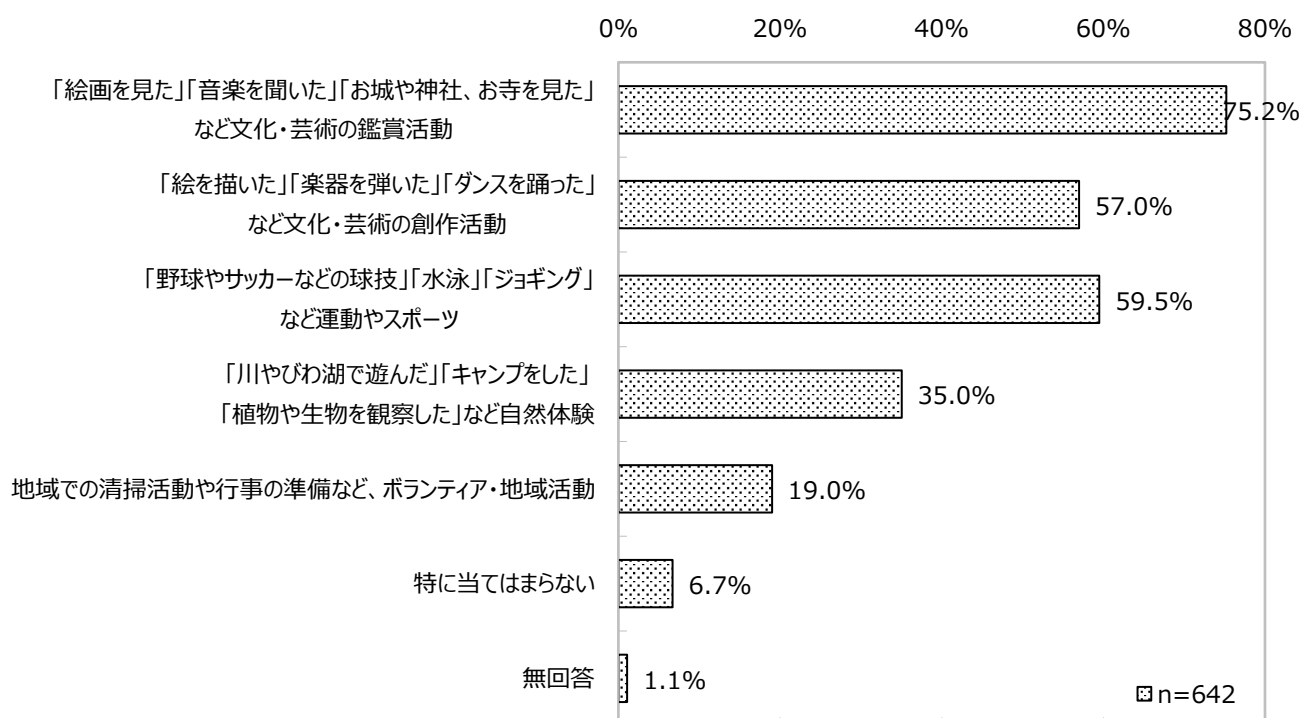


図3－（2）－3 高校2年生の世代の過去1年以内に学校の授業以外で
取り組んだこと（複数回答）



（3）びわ湖や自然を守るためにやってみたいこと

ア 小学5年生のびわ湖や自然を守るためにやってみたいことは、「エコバッグやマイボトルを使ってごみを減らす」が57.4%と最も多く、次いで「川や山で楽しみながら、生き物のことなどを学ぶ」が57.0%となっている。

イ 中学2年生のびわ湖や自然を守るためにやってみたいことは、「エコバッグやマイボトルを使ってごみを減らす」が45.0%と最も多く、次いで「節電を心がける」が42.9%となっている。

ウ 高校2年生世代のびわ湖や自然を守るためにやってみたいことは、「エコバッグやマイボトルを使ってごみを減らす」が43.6%と最も多く、次いで「川や山で楽しみながら、生き物のことなどを学ぶ」が38.9%となっている。

図3－（3）－1 小学5年生のびわ湖や自然を守るためにやってみたいこと
（複数回答）

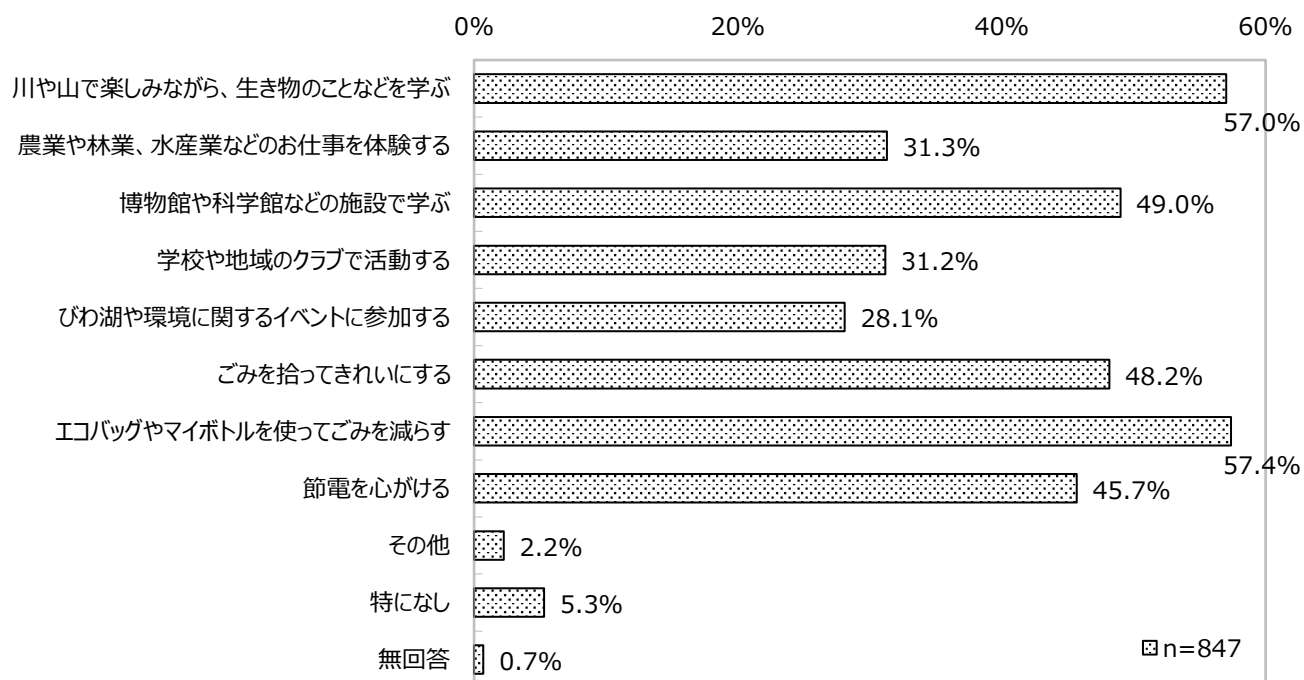


図3－（3）－2 中学2年生のびわ湖や自然を守るためにやってみたいこと
（複数回答）

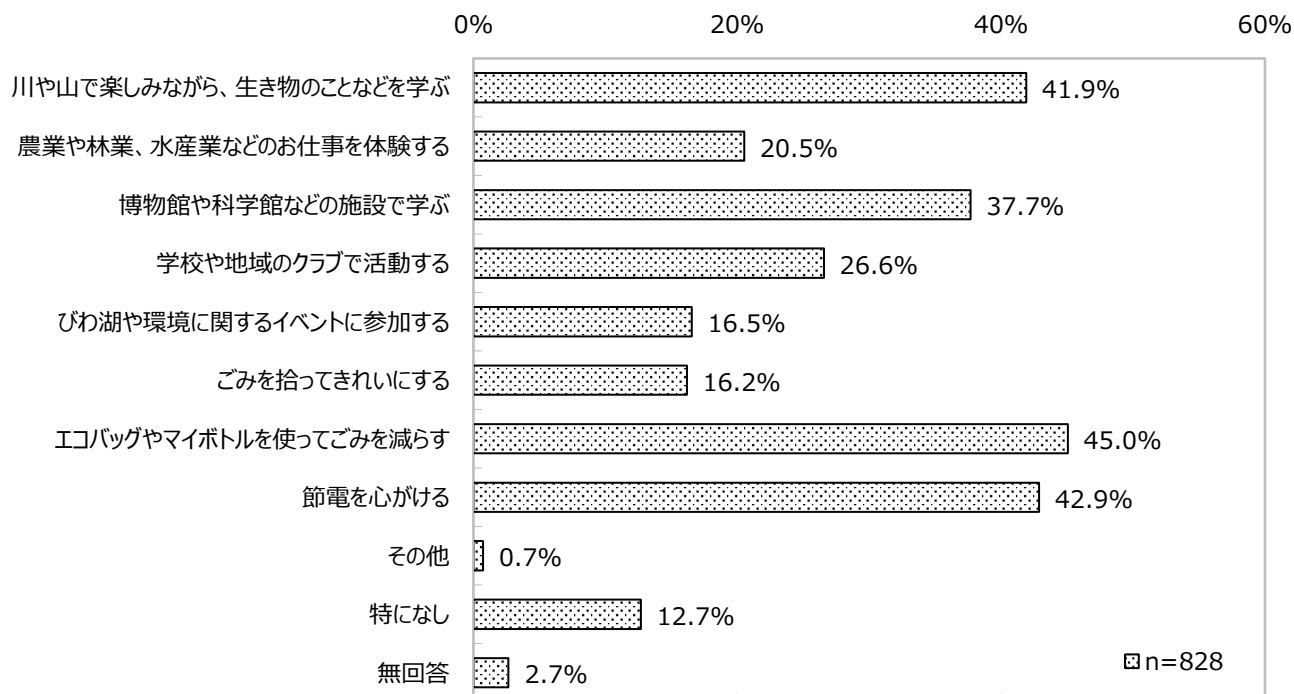
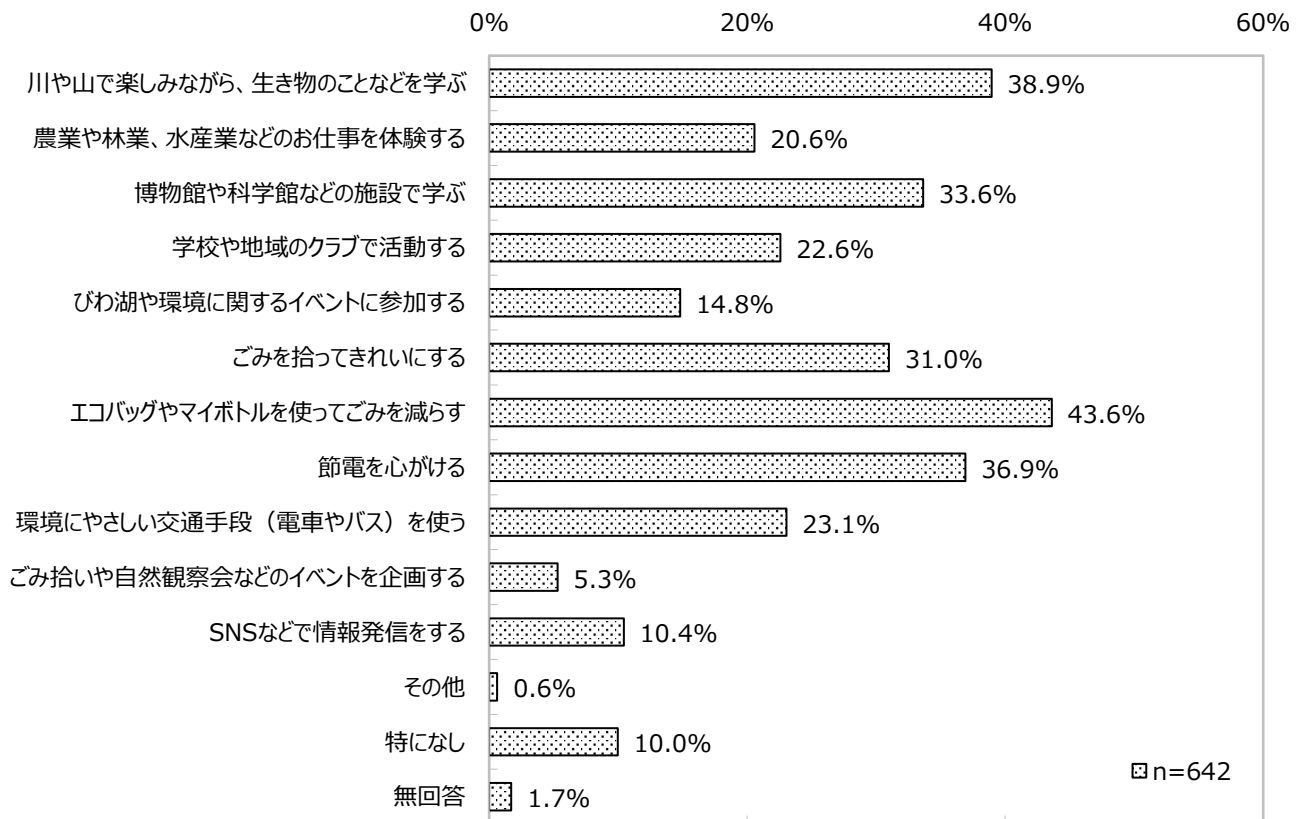


図 3 - (3) - 3 高校2年生世代のびわ湖や自然を守るためにやってみたいこと
(複数回答)



(4) 学校の授業以外で体を動かす頻度

ア 小学5年生の学校の授業以外で体を動かす頻度は、「週に3日以上」が32.5%と最も多く、次いで「週に1日～2日」が24.8%となっている。

イ 中学2年生の学校の授業以外で体を動かす頻度は、「週に3日以上」が40.7%と最も多く、次いで「毎日」が25.6%となっている。

父子家庭の平均月額家賃は55,246円となっている。

ウ 高校2年生世代の学校の授業以外で体を動かす頻度は、「ほとんどない」が31.5%と最も多く、次いで「毎日」が23.1%となっている。

図 3 - (4) - 1 小学5年生の学校の授業以外で体を動かす頻度

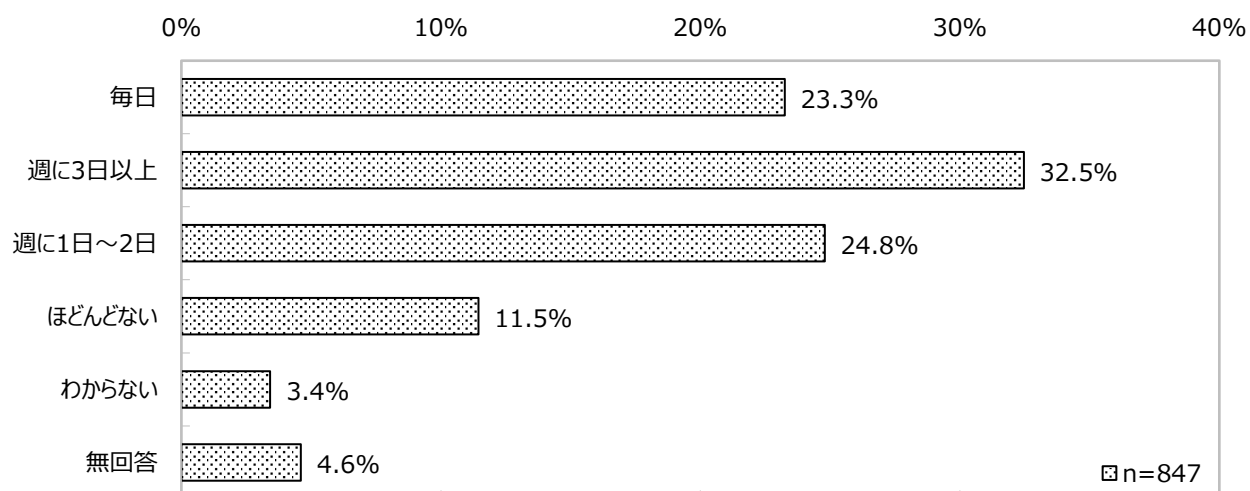


図 3 - (4) - 2 中学2年生の学校の授業以外で体を動かす頻度

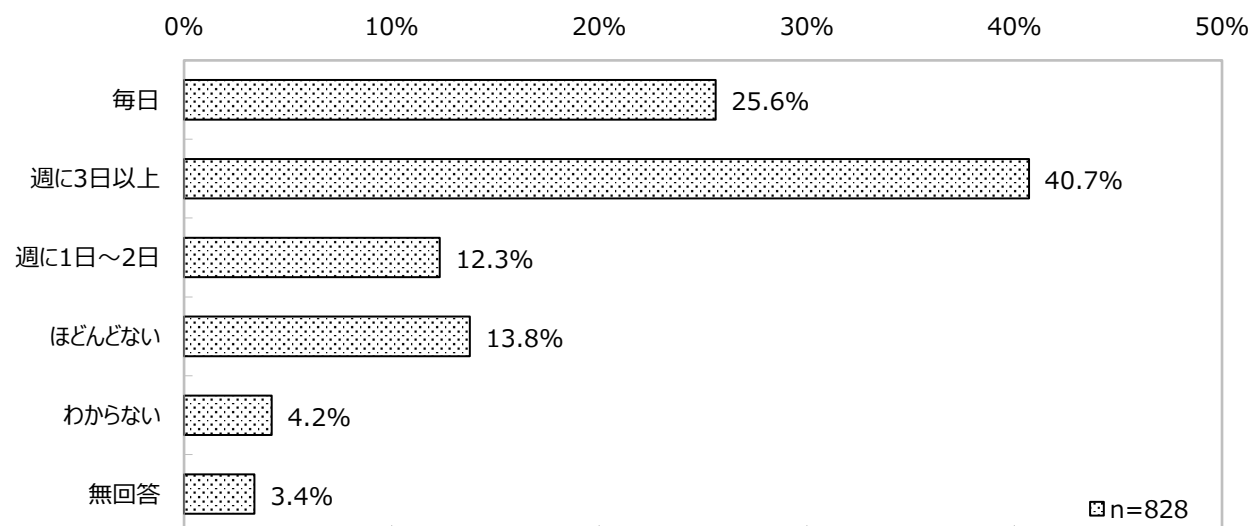
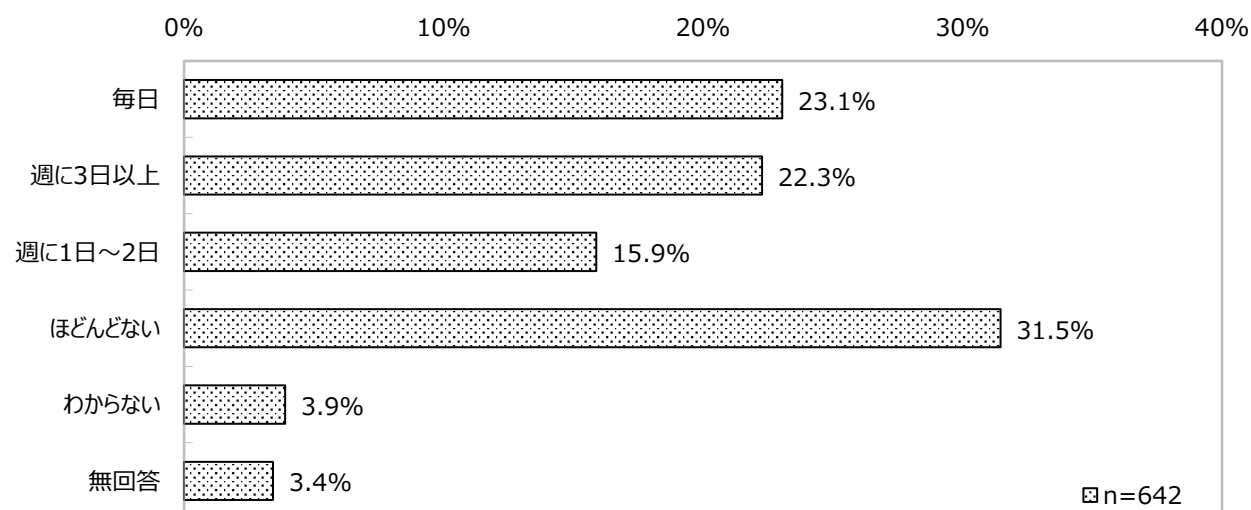


図 3 - (4) - 3 高校2年生世代の学校の授業以外で体を動かす頻度



（５）現在抱えている悩み

ア 小学５年生の現在抱えている悩みは、「なやんでいることはない」が 45.1%と最も多く、次いで「勉強や成績のこと」が 27.7%となっている。

イ 中学２年生の現在抱えている悩みは、「勉強や成績のこと」が 56.4%と最も多く、次いで「進学に関すること」が 42.6%となっている。

ウ 高校２年生世代の現在抱えている悩みは、「勉強や成績のこと」が 55.1%と最も多く、次いで「進学に関すること」が 52.6%となっている。

図３－（５）－１ 小学５年生の現在抱えている悩み（複数回答）

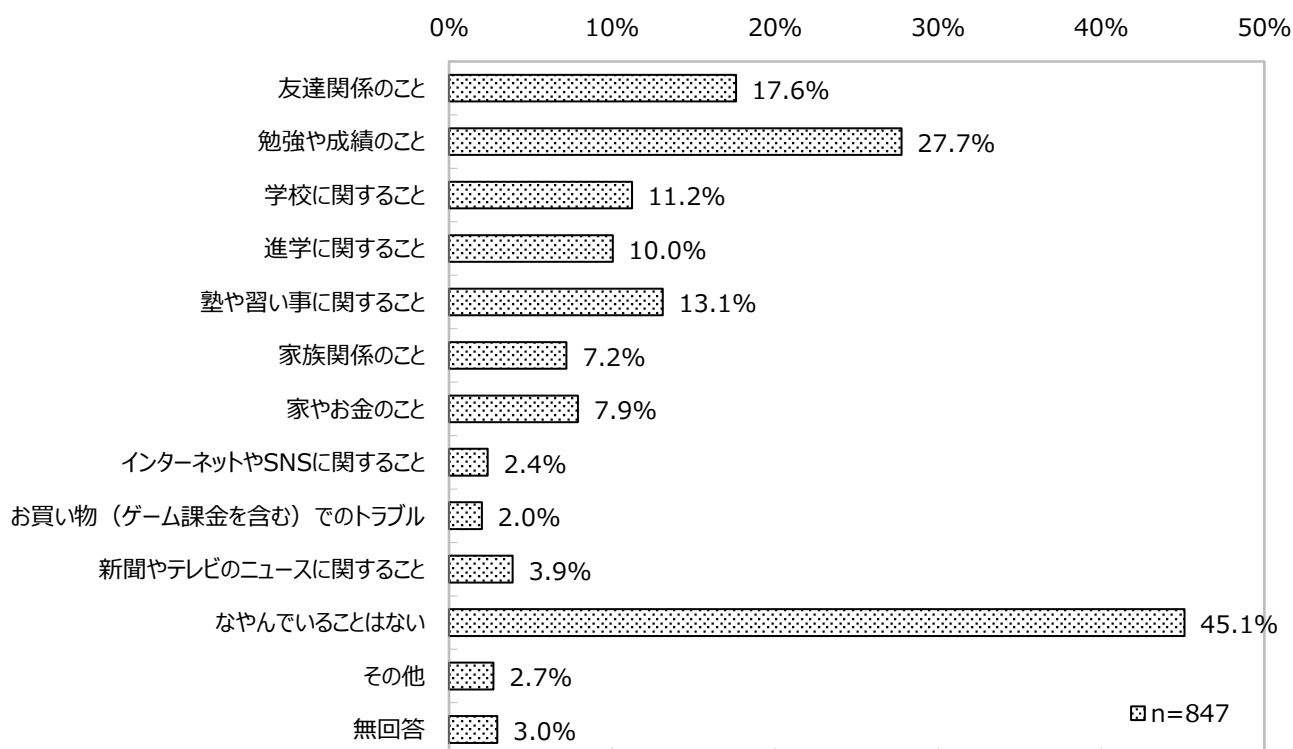


図3－（5）－2 中学2年生の現在抱えている悩み（複数回答）

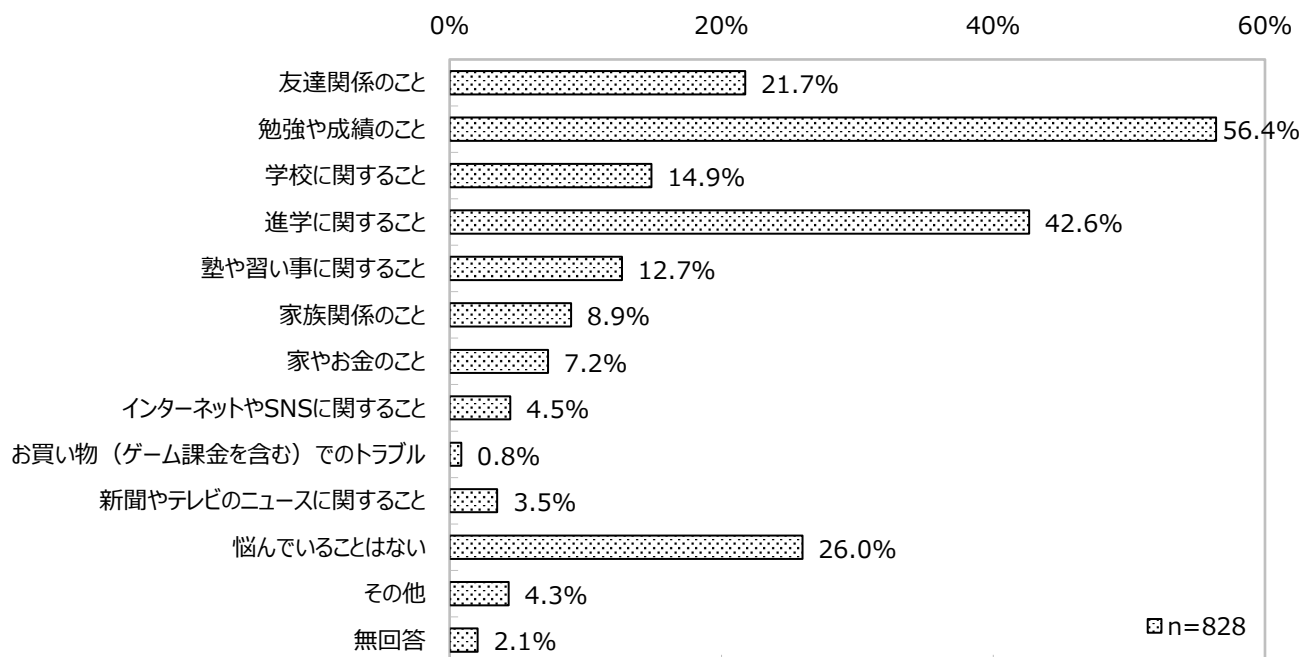
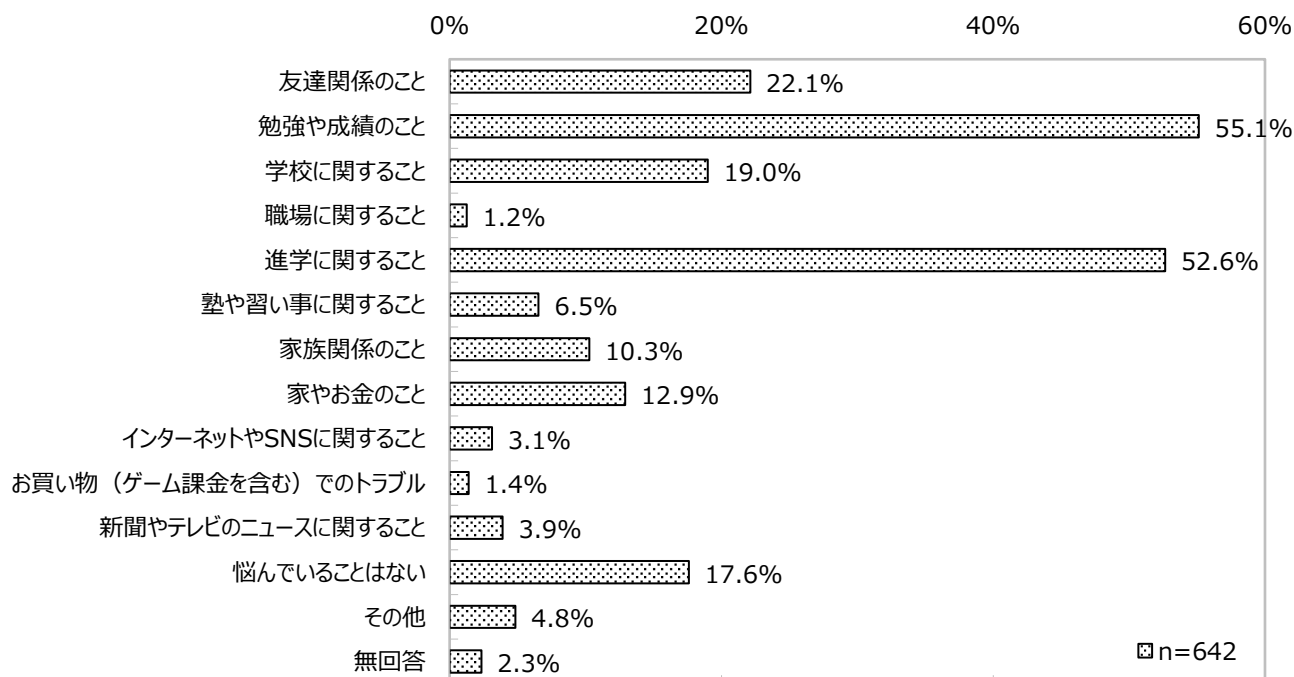


図3－（5）－3 高校2年生世代の現在抱えている悩み（複数回答）



(6) 悩みごとがある場合の相談相手

ア 小学5年生の悩みごとがある場合の相談相手は、「父親、母親(お父さん、お母さん)」が77.1%と最も多く、次いで「学校の友達」が54.9%となっている。

イ 中学2年生の悩みごとがある場合の相談相手は、「父親、母親(お父さん、お母さん)」が64.4%と最も多く、次いで「学校の友達」が61.6%となっている。

ウ 高校2年生世代の悩みごとがある場合の相談相手は、「父親、母親(お父さん、お母さん)」が69.3%と最も多く、次いで「学校の友達」が62.6%となっている。

図3-(6)-1 小学5年生の悩みごとがある場合の相談相手(複数回答)

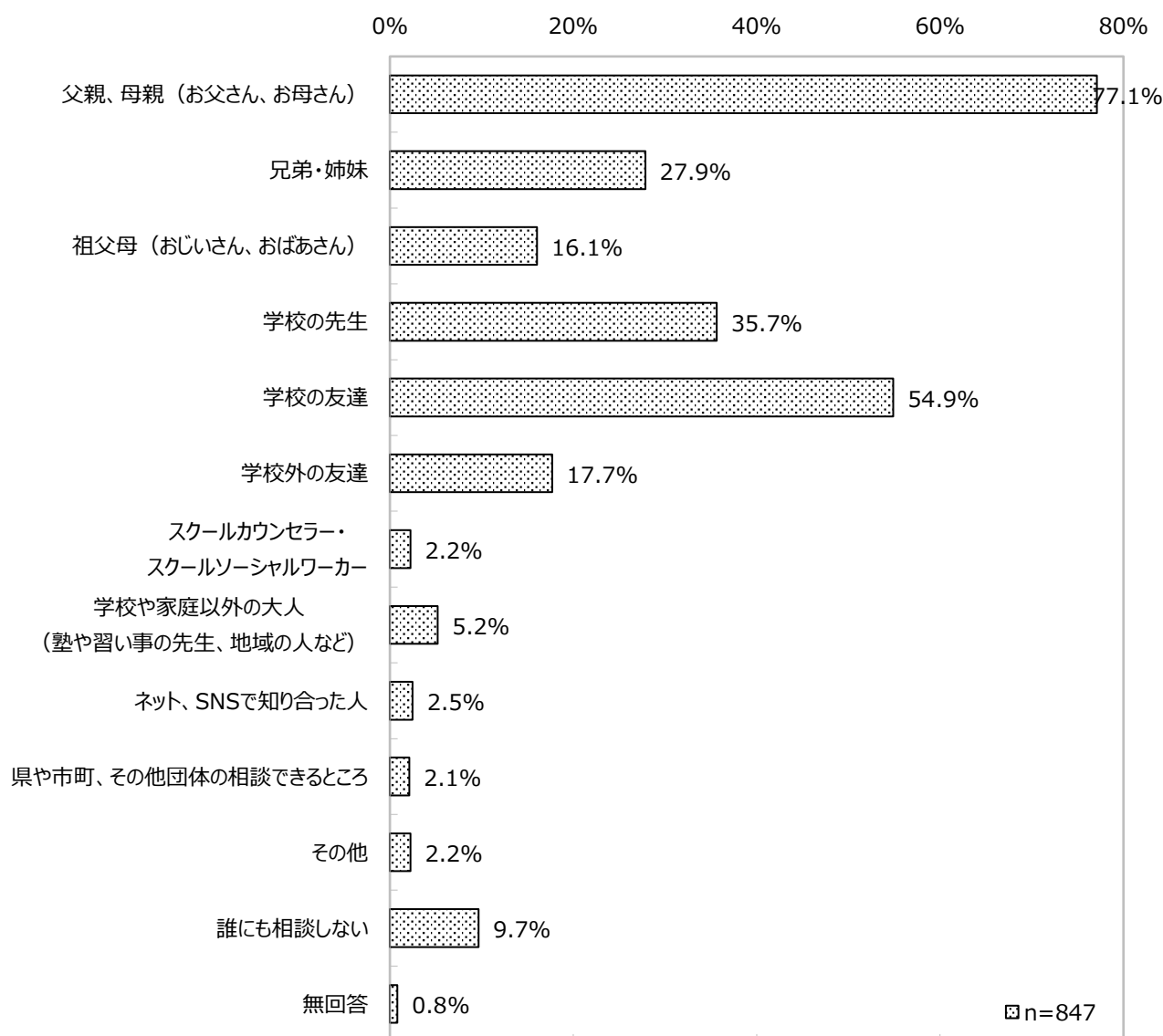


図3－（6）－2 中学2年生の悩みごとがある場合の相談相手（複数回答）

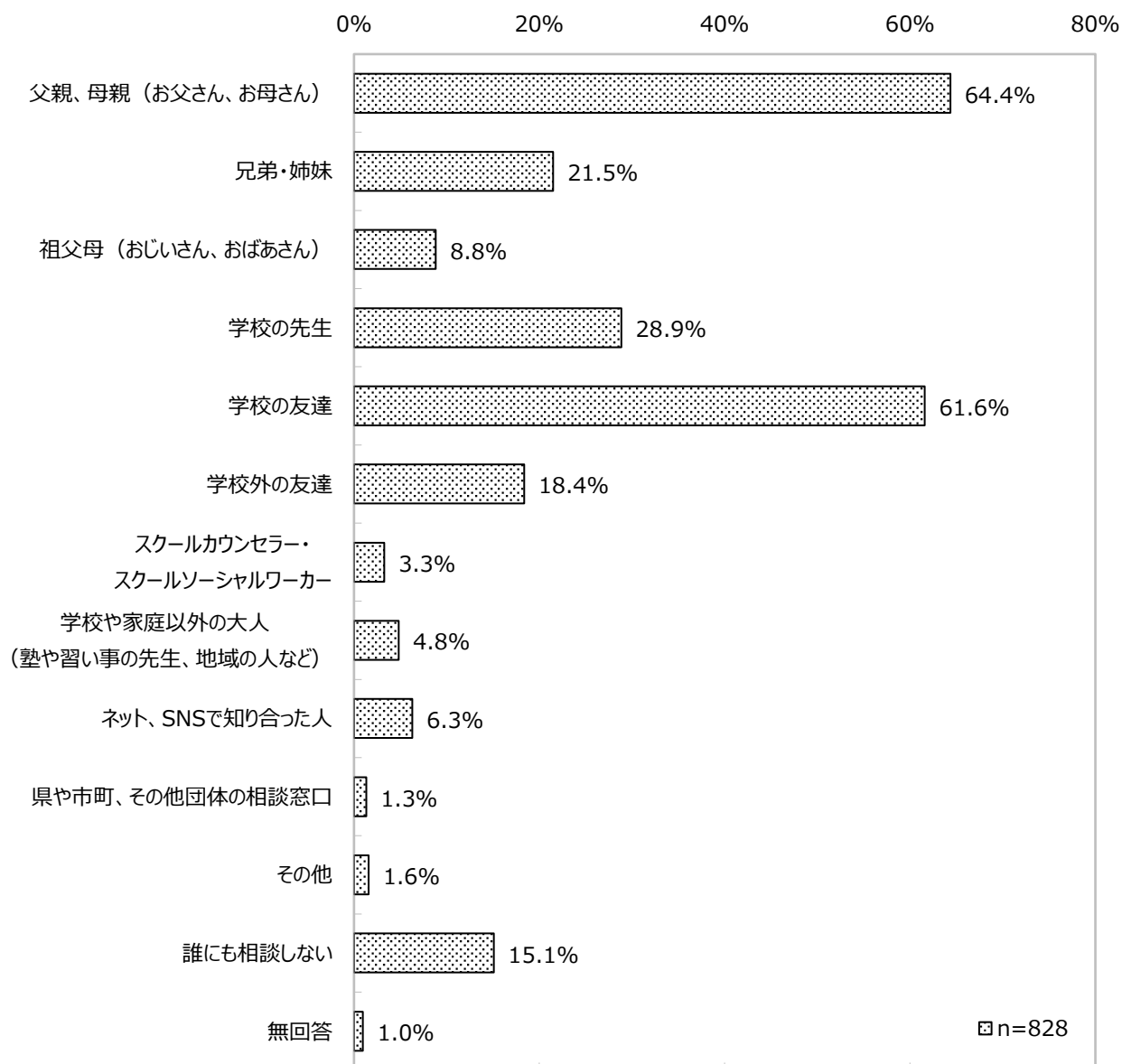
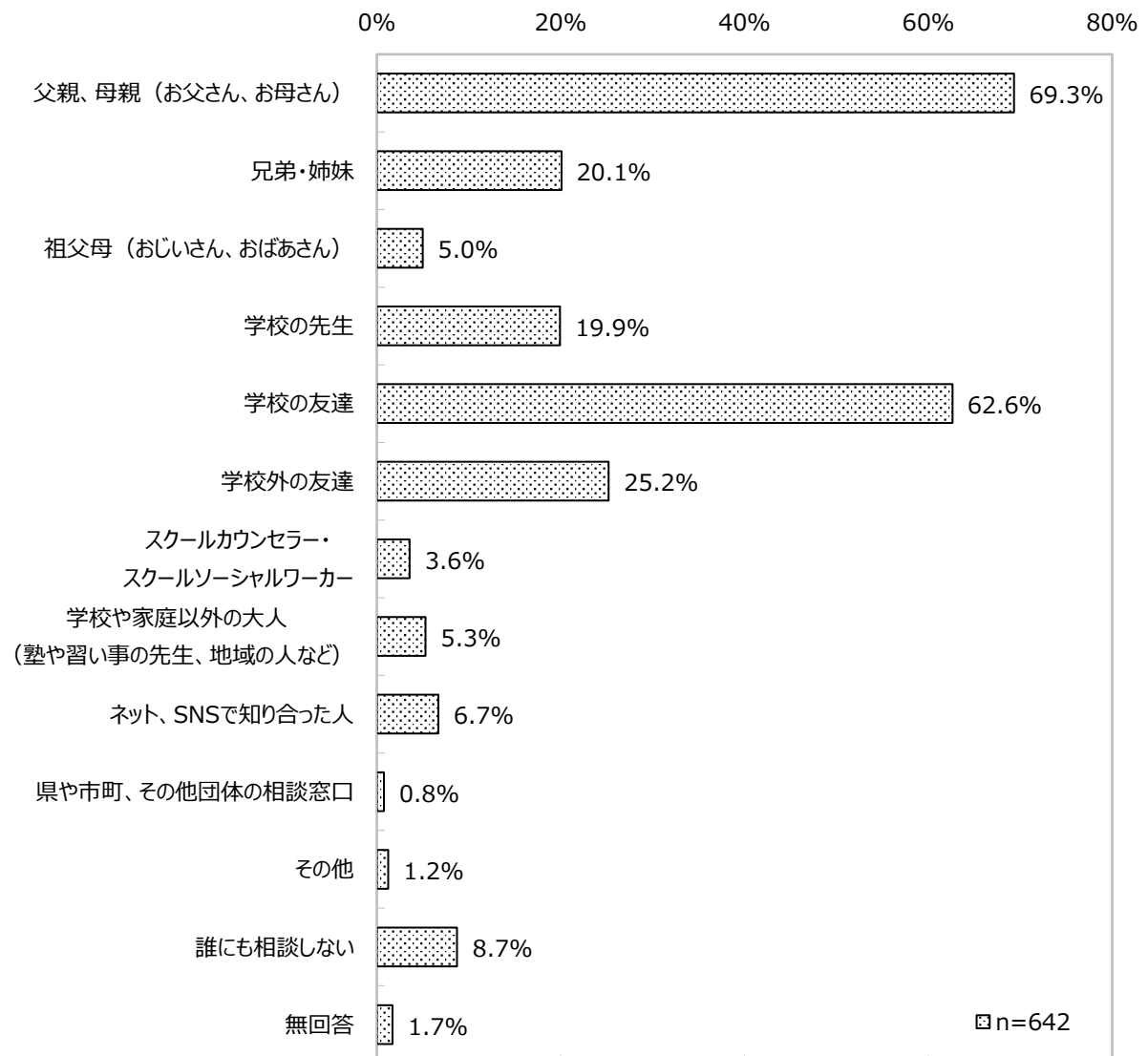


図 3－（6）－3 高校2年生世代の悩みごとがある場合の相談相手（複数回答）



（7）過去 1 年以内のインターネットや SNS 上での経験

- ア 小学 5 年生の過去 1 年以内のインターネットや SNS 上での経験は、「特に困ったことや嫌なことはなかった」が 62.3%と最も多く、次いで「インターネットや SNS を使用したことがない」が 16.5%となっている。
- イ 中学 2 年生の過去 1 年以内のインターネットや SNS 上での経験は、「特に困ったことや嫌なことはなかった」が 57.1%と最も多く、次いで「偽の情報やまちがった情報に出会った」が 24.5%となっている。
- ウ 高校 2 年生世代の過去 1 年以内のインターネットや SNS 上での経験は、「特に困ったことや嫌なことはなかった」が 41.1%と最も多く、次いで「偽の情報やまちがった情報に出会った」が 38.6%となっている。
- エ 「迷惑メールを受け取った（めいわくメールを受け取った）」は、小学 5 年生で 4.7%、中学 2 年生で 19.4%、高校 2 年生世代で 34.0%となっており、年代が上がるに連れて多くなっている。

図3－（7）－1 小学5年生の過去1年以内のインターネットやSNS上での経験
(複数回答)

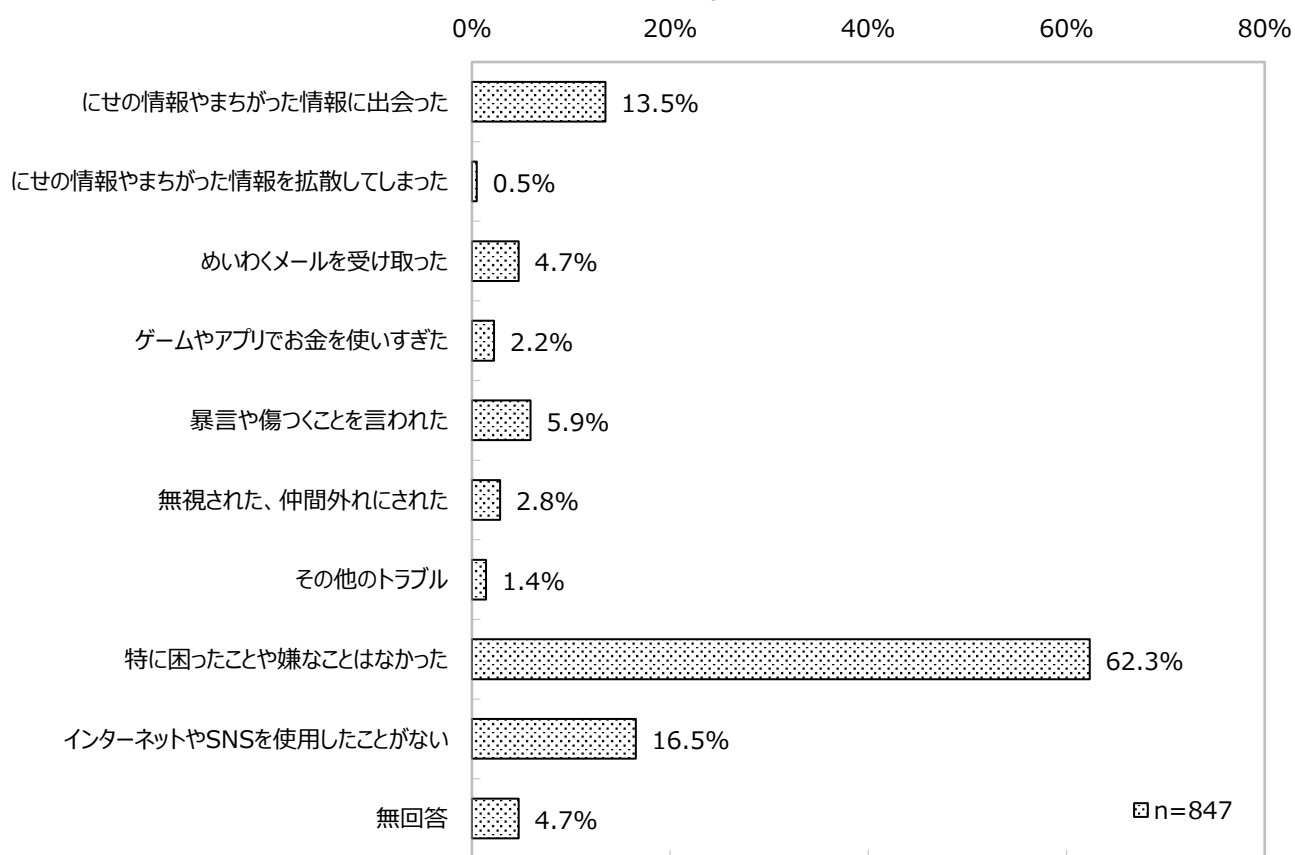


図 3 - (7) - 2 中学2年生の過去1年以内のインターネットやSNS上での経験
(複数回答)

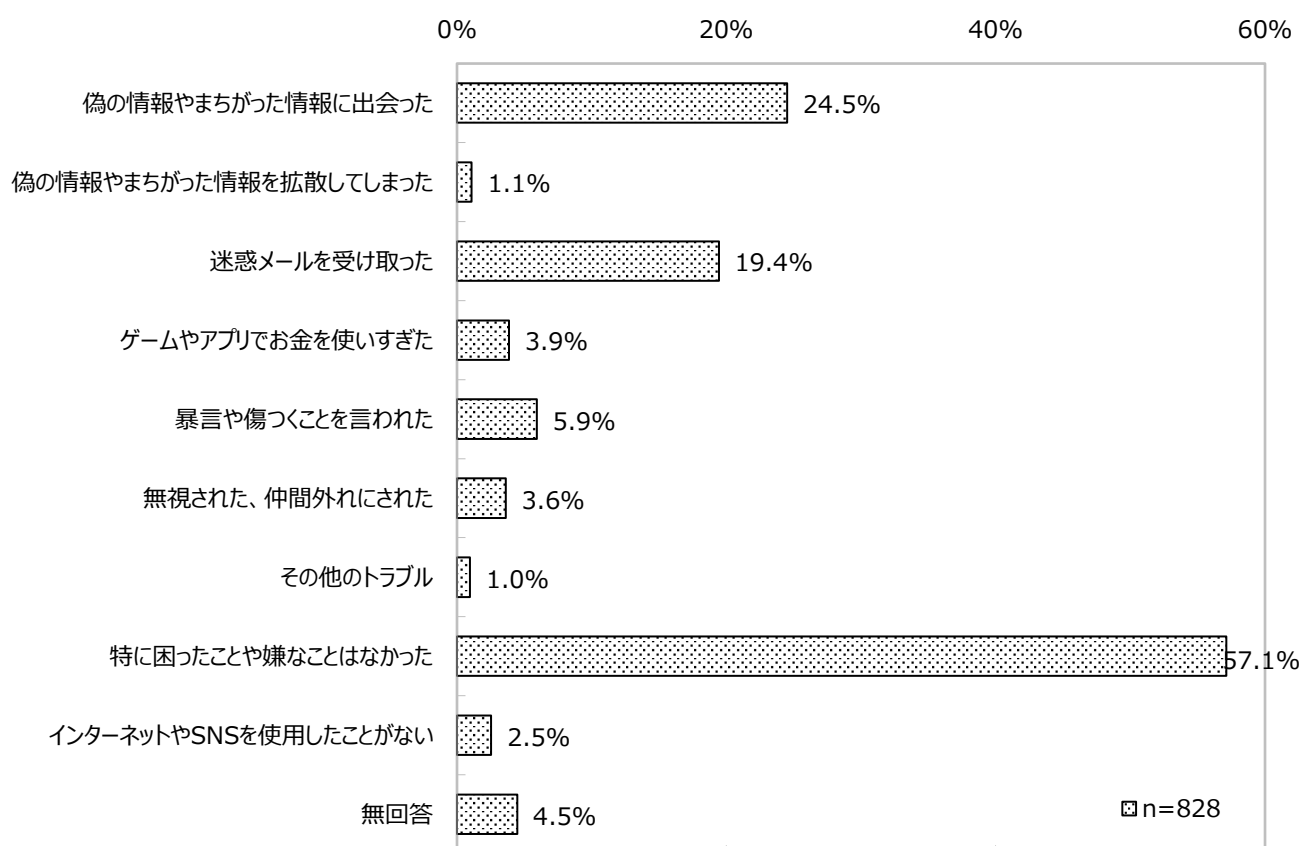
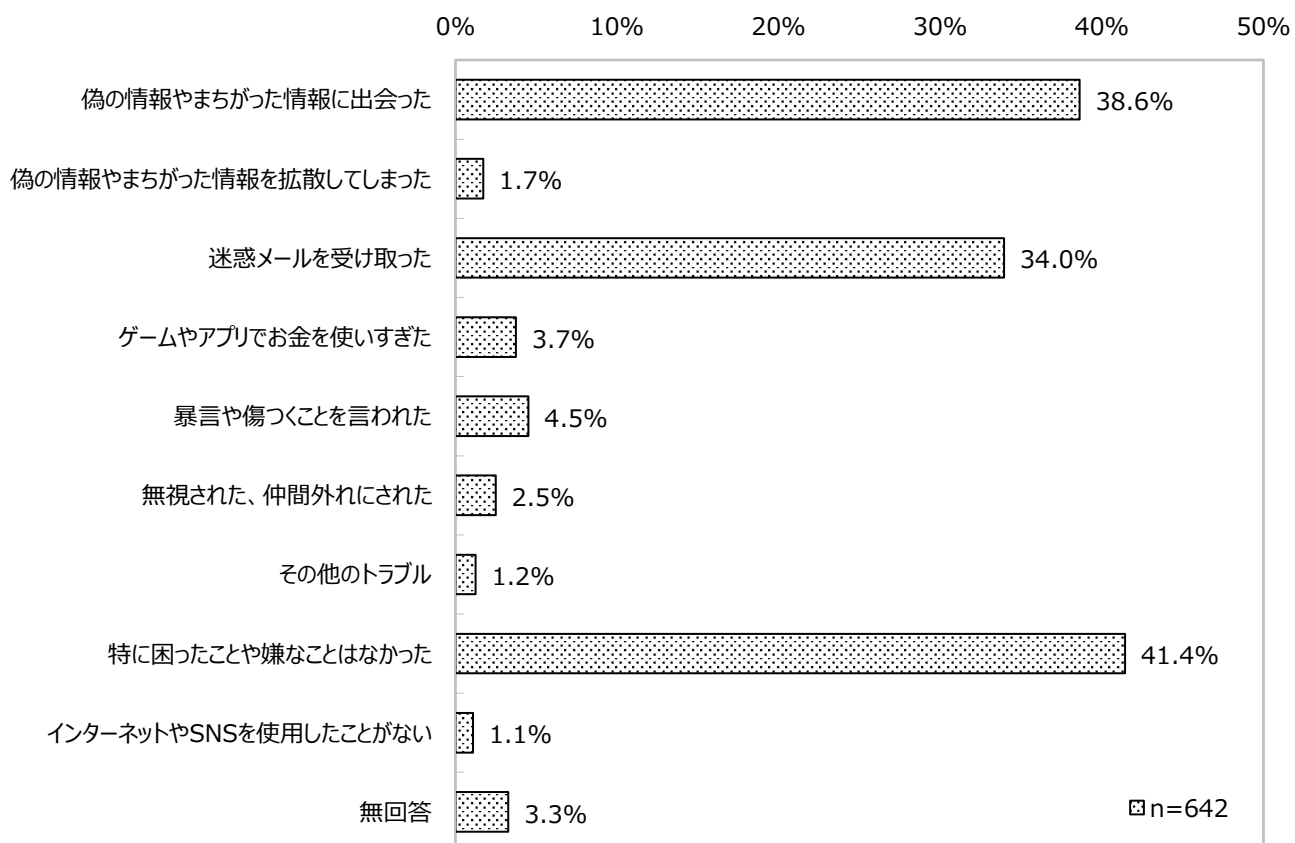


図 3 - (7) - 3 高校2年生世代の過去1年以内のインターネットやSNS上での経験
(複数回答)



(8) ほっとできる・安心できる居場所

ア 小学5年生のほっとできる・安心できる居場所は、「自分の部屋」が58.4%と最も多く、次いで「自分の部屋以外の家の中」が58.3%となっている。

イ 中学2年生のほっとできる・安心できる居場所は、「自分の部屋」が77.9%と最も多く、次いで「自分の部屋以外の家の中」が47.7%となっている。

ウ 高校2年生世代のほっとできる・安心できる居場所は、「自分の部屋」が86.3%と最も多く、次いで「自分の部屋以外の家の中」が44.5%となっている。

図3－(8)－1 小学5年生のほっとできる・安心できる居場所（複数回答）

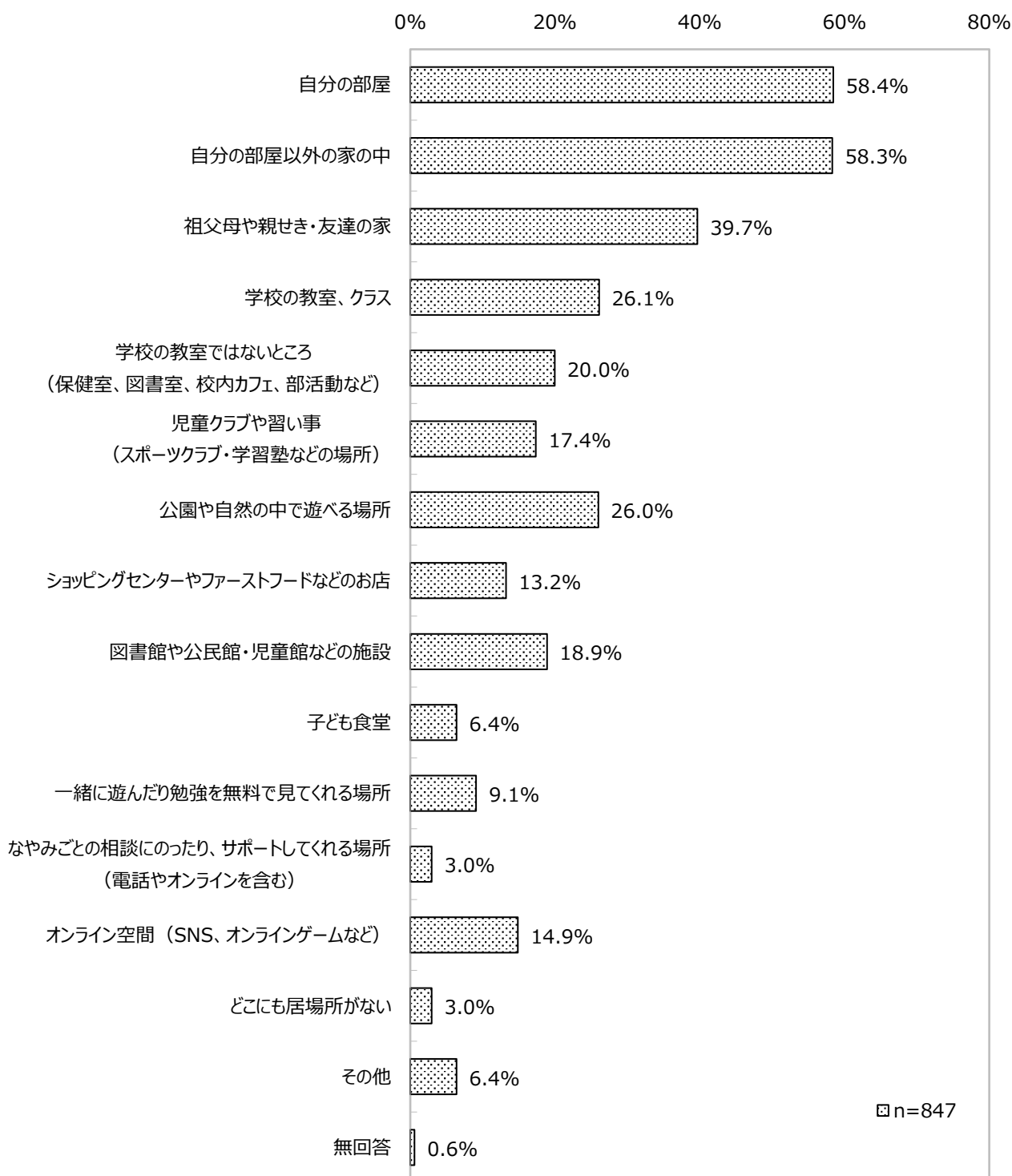


図 3－（８）－２ 中学2年生のほっとできる・安心できる居場所（複数回答）

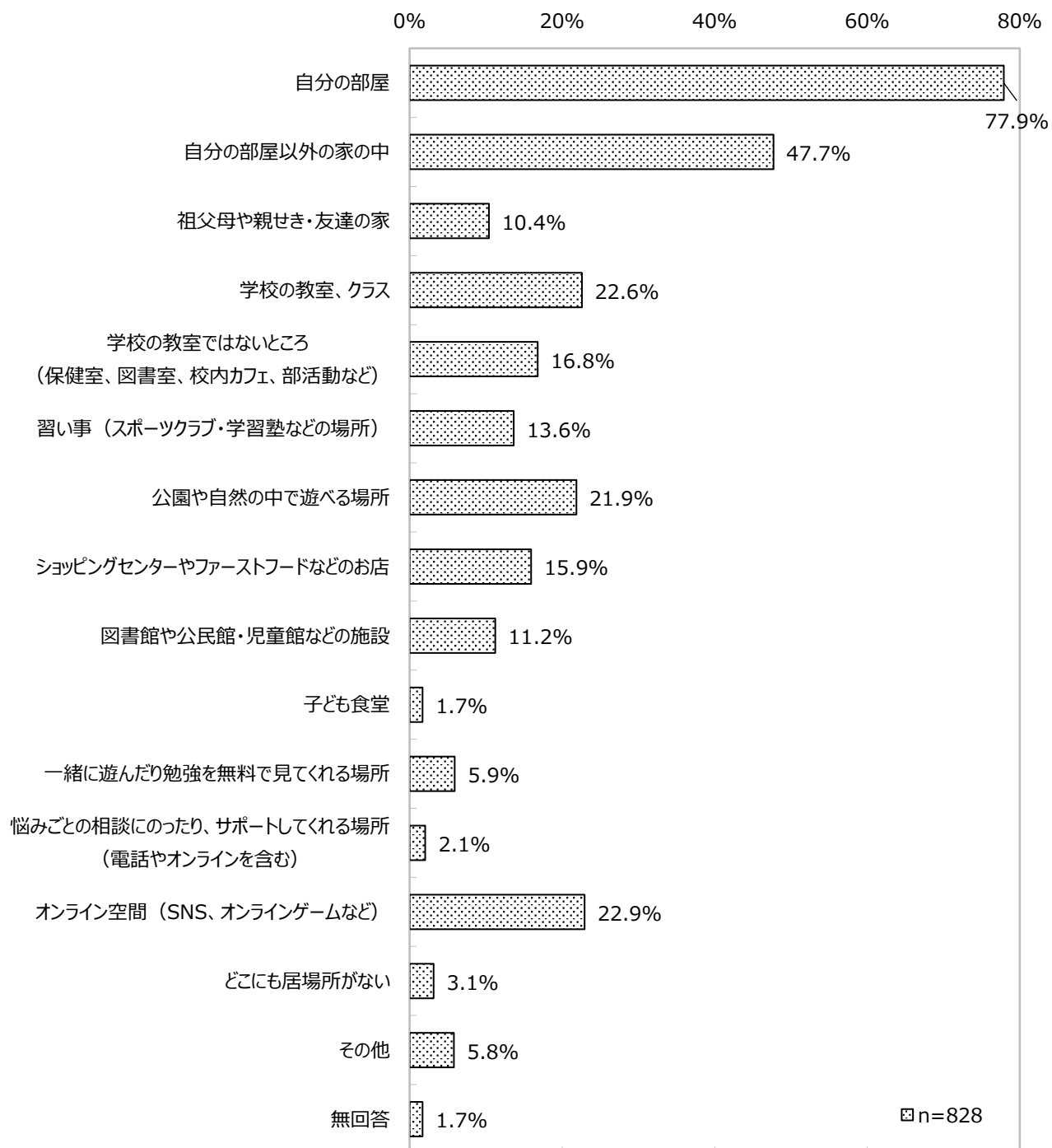
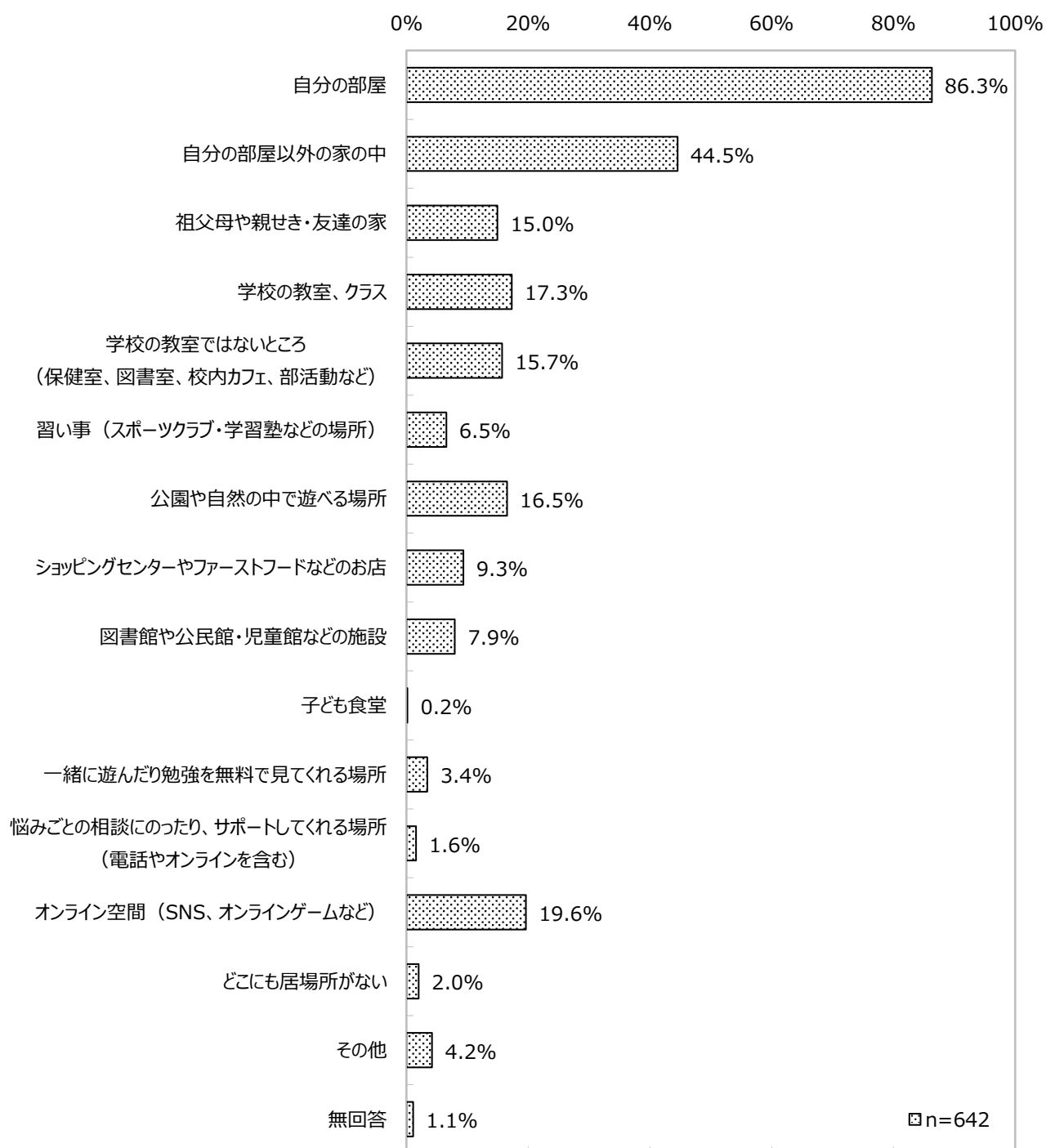


図3－（8）－3 高校2年生の世代のほっとできる・安心できる居場所（複数回答）



(9) 家や学校以外に行ってみたいと思える居場所

ア 小学5年生の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所は、「好きなことをして自由に過ごせる」が63.9%と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」が51.1%となっている。

イ 中学2年生の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所は、「好きなことをして自由に過ごせる」が68.5%と最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が58.3%となっている。

ウ 高校2年生世代の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所は、「好きなことをして自由に過ごせる」が65.3%と最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が59.2%となっている。

図3－(9)－1 小学5年生の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所
(複数回答)

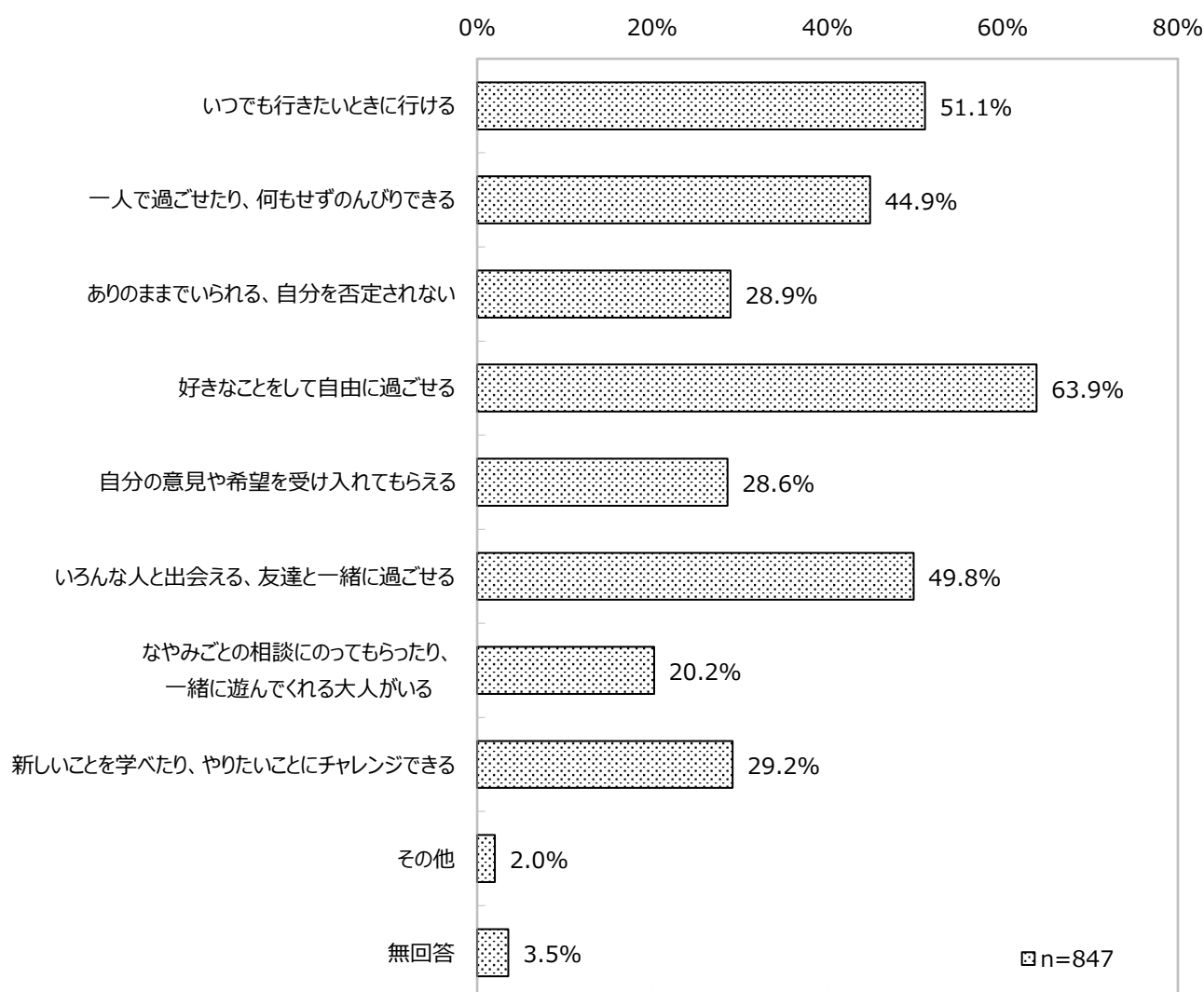


図 3－（９）－２ 中学2年生の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所
（複数回答）

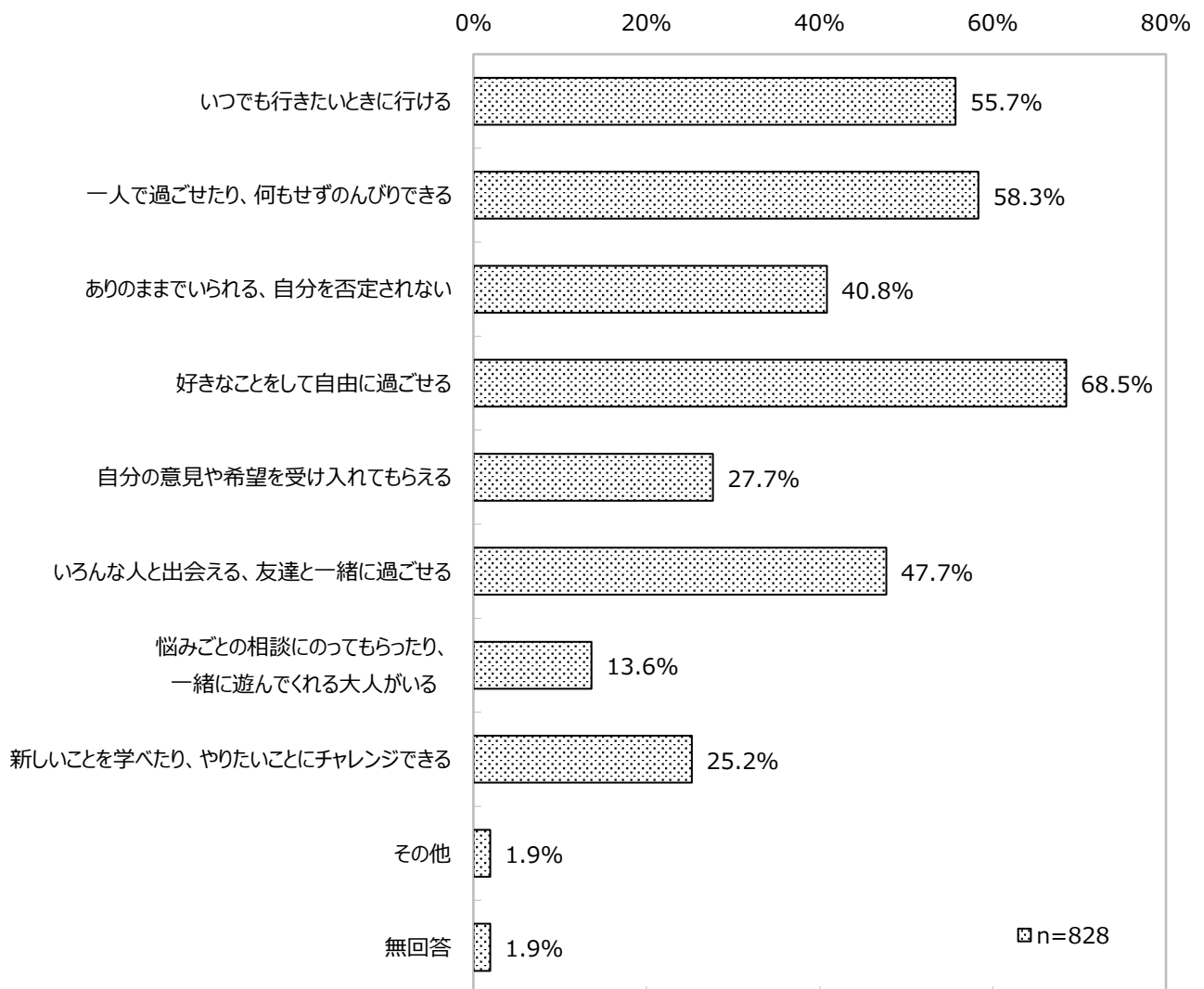
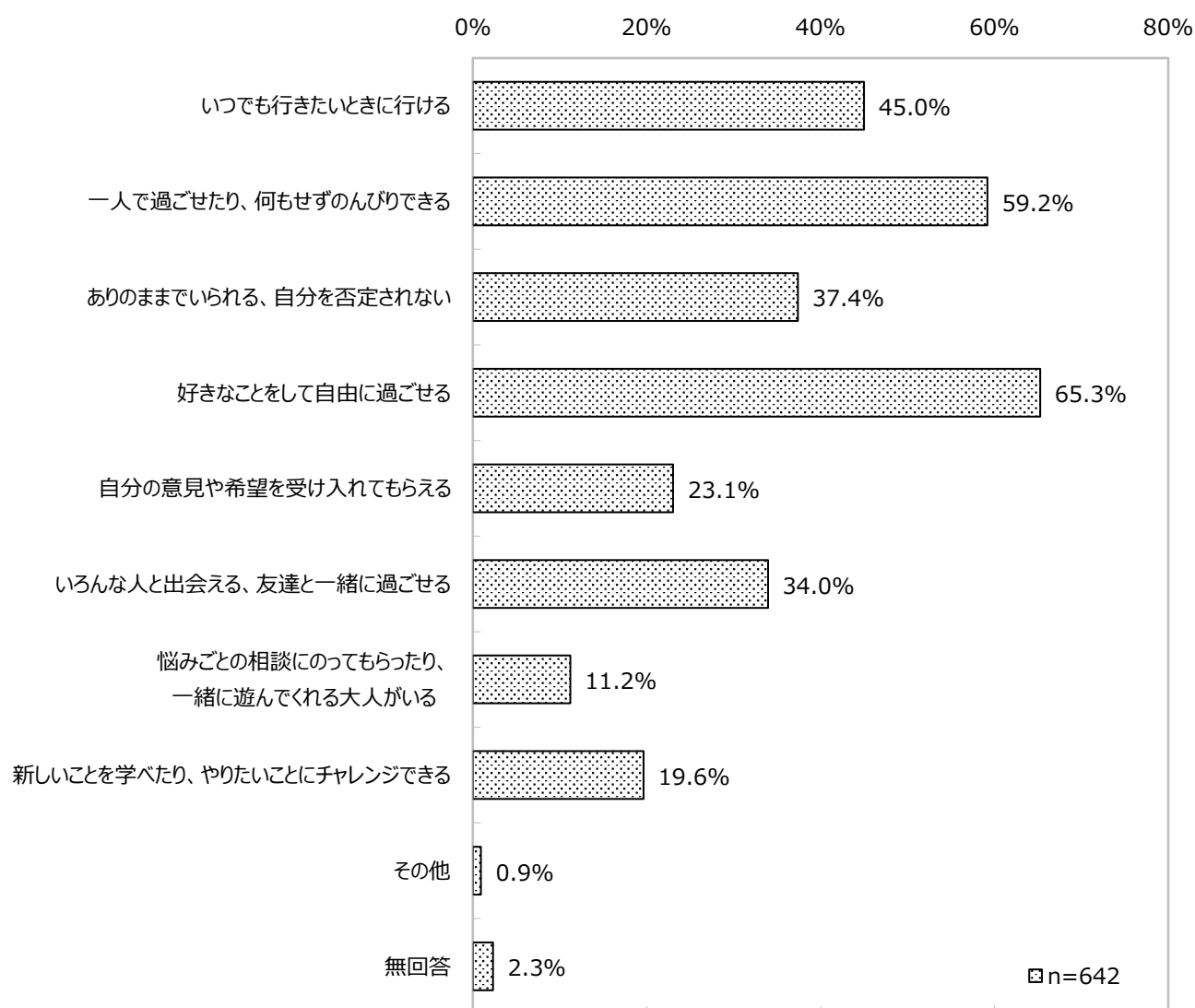


図 3－（9）－3 高校2年生世代の家や学校以外に行ってみたいと思える居場所
(複数回答)



(10) 放課後や休日の過ごし方

ア 小学5年生の放課後や休日の過ごし方は、「家族と家で過ごすこと」が49.5%と最も多く、次いで「友達と一緒に遊ぶこと」が42.4%となっている。

イ 中学2年生の放課後や休日の過ごし方は、「部活動」が60.0%と最も多く、次いで「動画サイトやSNSを見ること」が51.3%となっている。

ウ 高校2年生世代の放課後や休日の過ごし方は、「部活動」が53.3%と最も多く、次いで「動画サイトやSNSを見ること」が53.1%となっている。

図3－(10)－1 小学5年生の放課後や休日の過ごし方（3つまで回答）

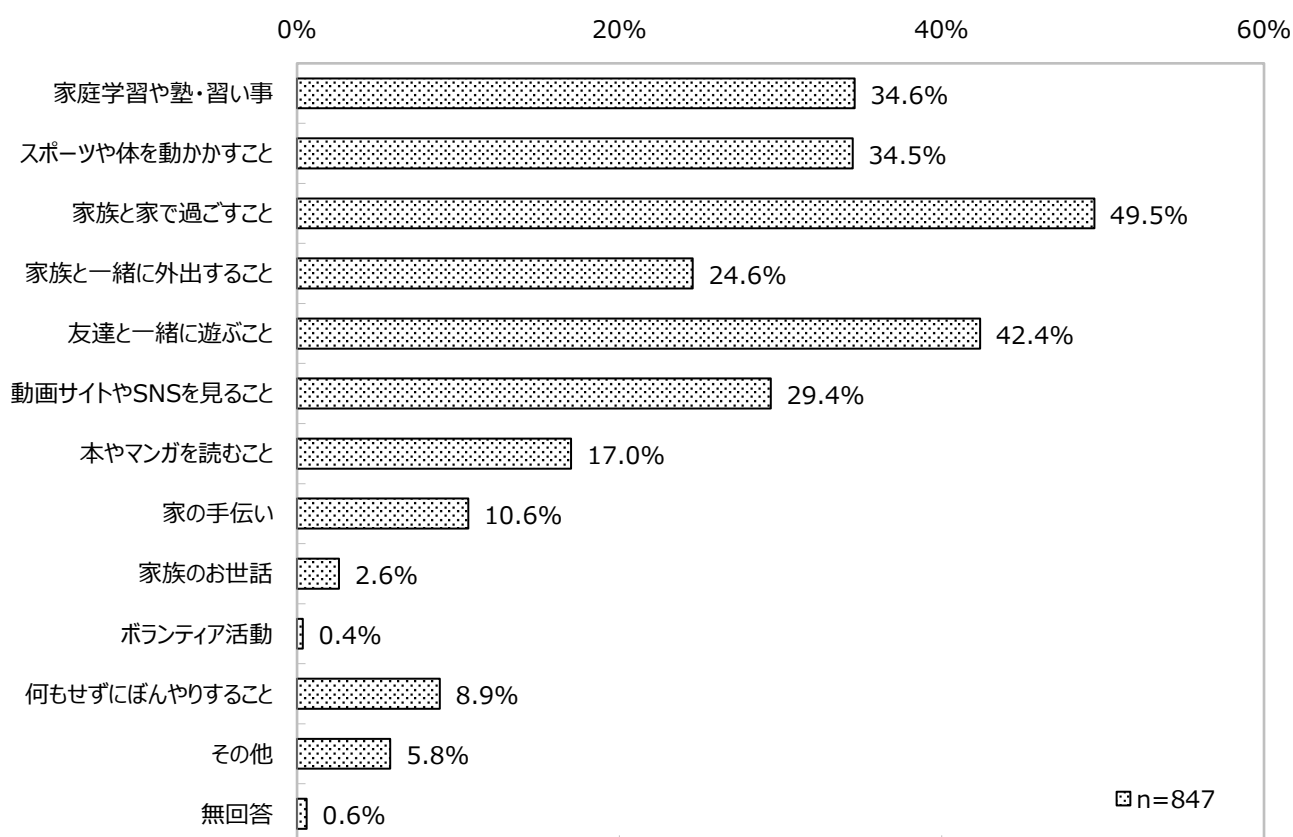


図 3 - (10) - 2 中学2年生の放課後や休日の過ごし方（3つまで回答）

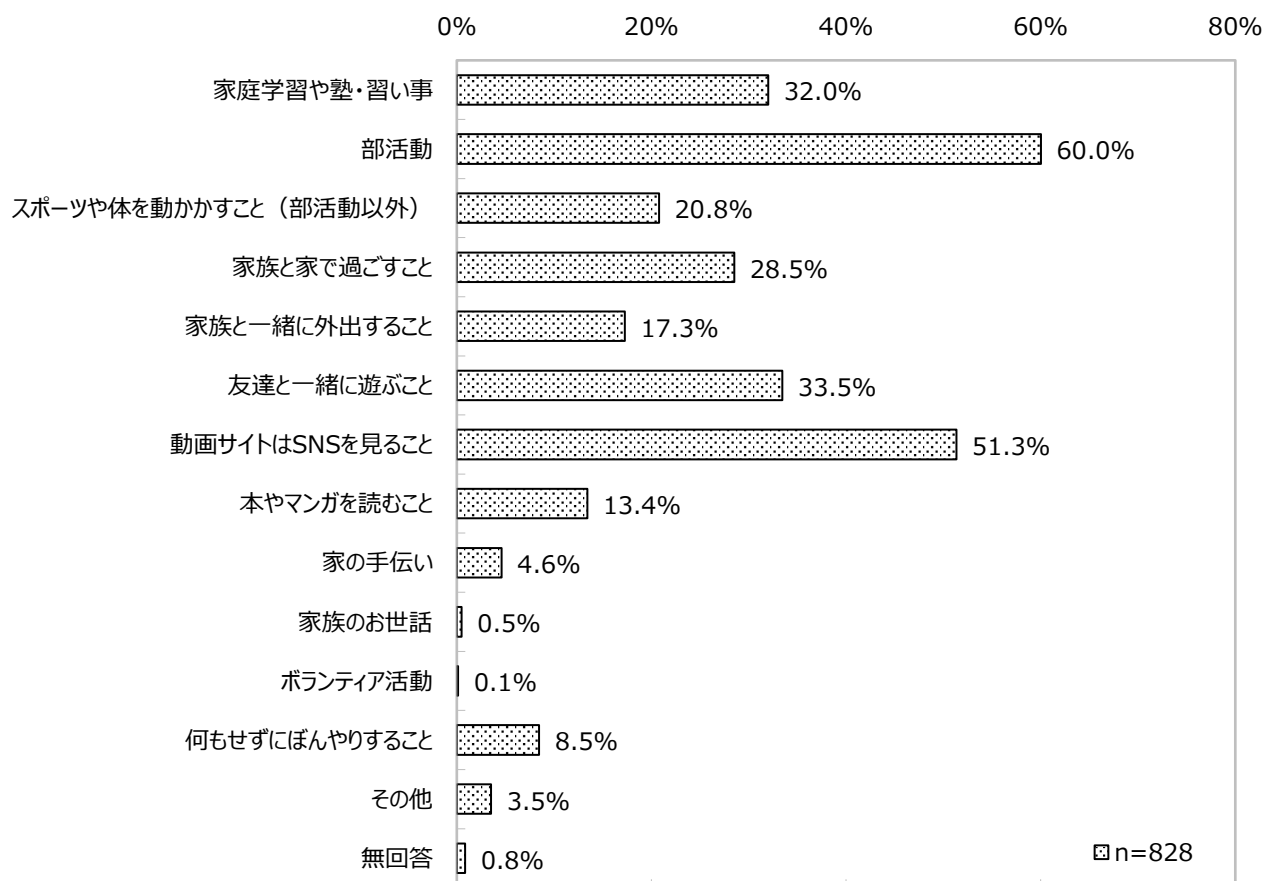
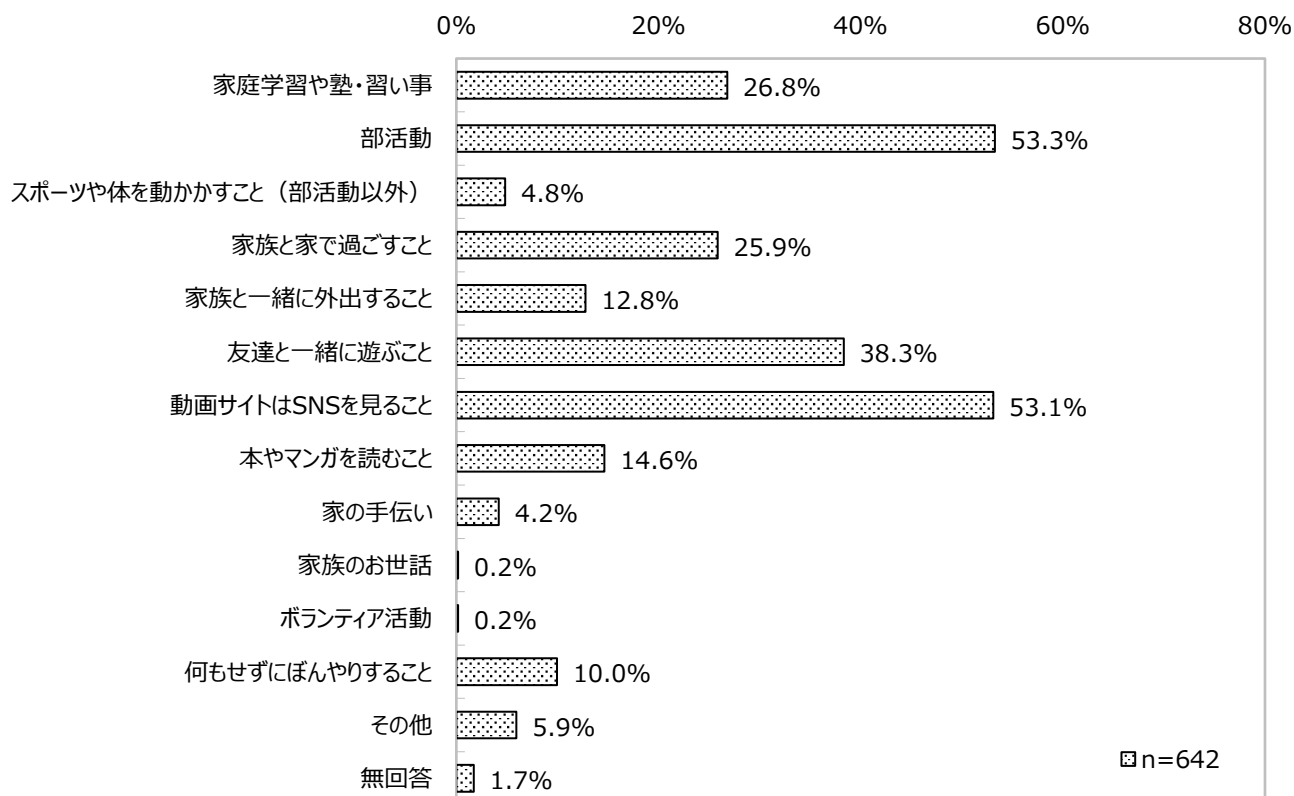


図 3 - (10) - 3 高校2年生世代の放課後や休日の過ごし方（3つまで回答）



(11) 家庭での親・家族との交流

ア 小学5年生では、「学校や職場から帰ると、家には大人がいる」で「あてはまる」が50.3%、「家族と一緒にご飯を食べることが多い」で「あてはまる」が85.6%、「親(保護者)との関係は良好である」で「あてはまる」が79.9%、「親(保護者)との会話は足りている」で「あてはまる」が75.7%となっている。

イ 中学2年生では、「学校や職場から帰ると、家には大人がいる」で「あてはまる」が44.1%、「家族と一緒にご飯を食べることが多い」で「あてはまる」が73.4%、「親(保護者)との関係は良好である」で「あてはまる」が71.1%、「親(保護者)との会話は足りている」で「あてはまる」が71.9%となっている。

ウ 高校2年生世代では、「学校や職場から帰ると、家には大人がいる」で「あてはまる」が63.1%、「家族と一緒にご飯を食べることが多い」で「あてはまる」が59.8%、「親(保護者)との関係は良好である」で「あてはまる」が71.5%、「親(保護者)との会話は足りている」で「あてはまる」が65.3%となっている。

図3-(11)-1 小学5年生の家庭での親・家族との交流

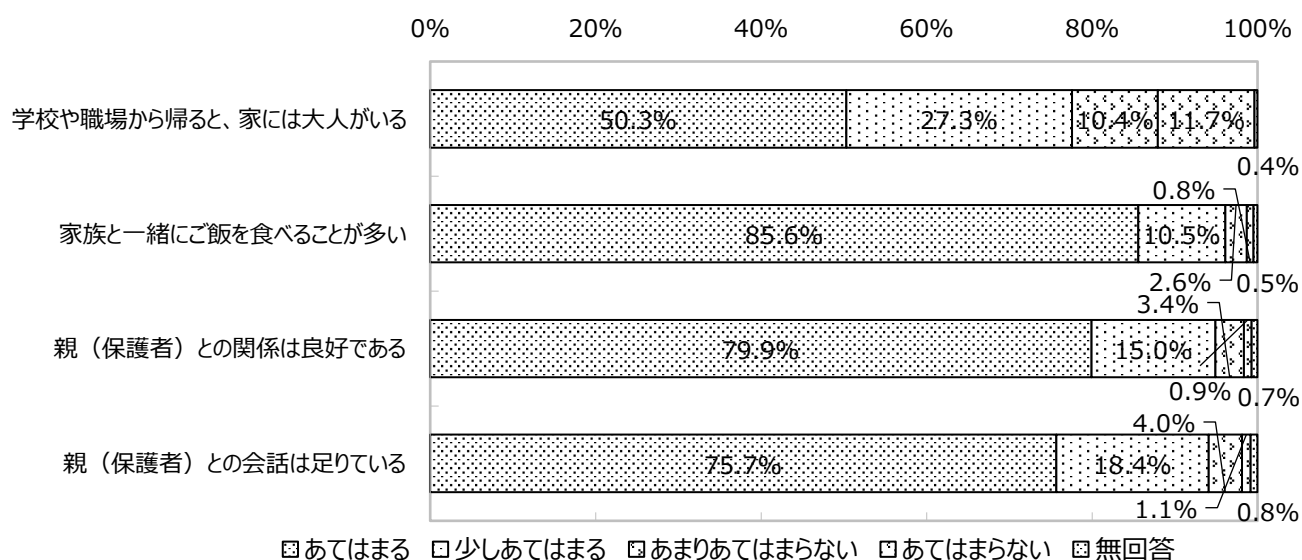


図 3－（１１）－２ 中学2年生の家庭での親・家族との交流

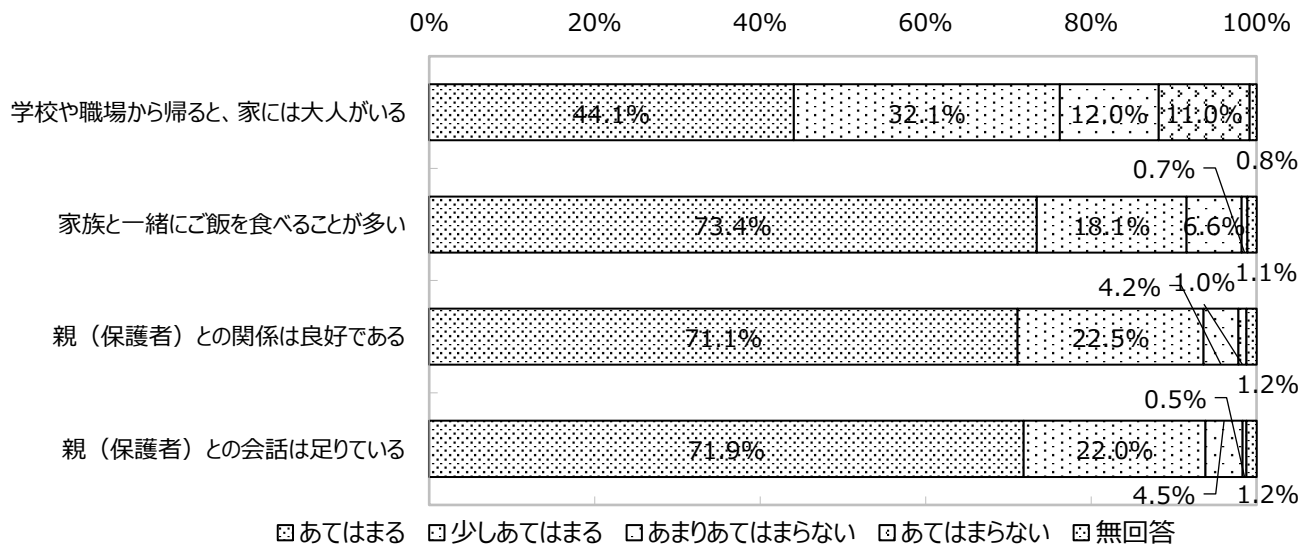
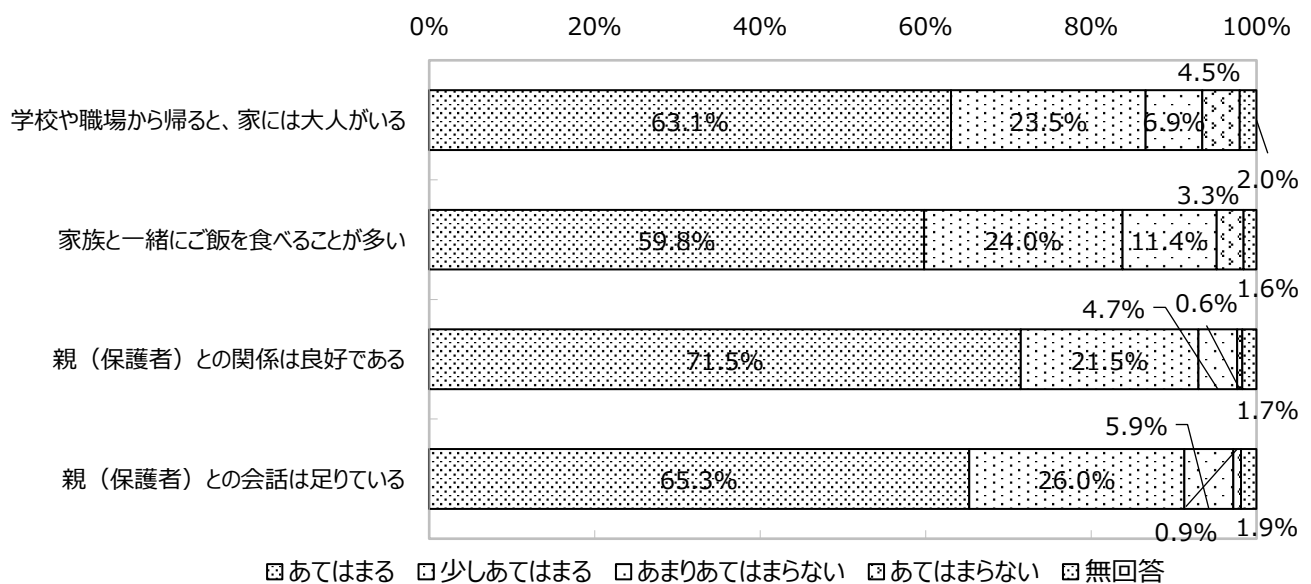


図 3－（１１）－３ 高校2年生世代の家庭での親・家族との交流



(12) 学校生活であてはまること

ア 小学5年生では、「自分の意見を学級等で出しやすい」で「少しあてはまる」が41.1%、自分や仲間の意見や行動で、学級や学校をより良く変えられる」で「少しあてはまる」が42.0%と最も多く、「学校で学んでいることは、自分の将来や人生に役立つ」で「あてはまる」が55.6%、「友達との関係は良好である」で「あてはまる」が73.8%、「学校の先生との関係は良好である」で「あてはまる」が53.5%、「学校でのコンピュータやタブレットなどのICTを使うことは、勉強の役に立っている」で「あてはまる」が59.6%、「学校は、障害のある人もない人も学びやすい環境になっている」で「あてはまる」が55.0%と最も多くなっている。

イ 中学2年生では、「自分の意見を学級等で出しやすい」で「少しあてはまる」が45.2%、自分や仲間の意見や行動で、学級や学校をより良く変えられる」で「少しあてはまる」が44.2%、「学校で学んでいることは、自分の将来や人生に役立つ」で「少しあてはまる」が44.9%、学校は、障害のある人もない人も学びやすい環境になっている」で「少しあてはまる」が44.7%と最も多く、「友達との関係は良好である」で「あてはまる」が59.8%、「学校の先生との関係は良好である」で「あてはまる」が50.6%、「学校でのコンピュータやタブレットなどのICTを使うことは、勉強の役に立っている」で「あてはまる」が47.0%と最も多くなっている。

ウ 高校2年生世代では、「自分の意見を学級等で出しやすい」で「少しあてはまる」が42.8%、自分や仲間の意見や行動で、学級や学校をより良く変えられる」で「少しあてはまる」が40.2%、「学校で学んでいることは、自分の将来や人生に役立つ」で「少しあてはまる」が46.0%、学校は、障害のある人もない人も学びやすい環境になっている」で「少しあてはまる」が42.5%と最も多く、「友達との関係は良好である」で「あてはまる」が59.7%、「学校の先生との関係は良好である」で「あてはまる」が47.2%、「学校でのコンピュータやタブレットなどのICTを使うことは、勉強の役に立っている」で「あてはまる」が48.5%と最も多くなっている。

図3－（12）－1 小学5年生の学校生活であてはまること

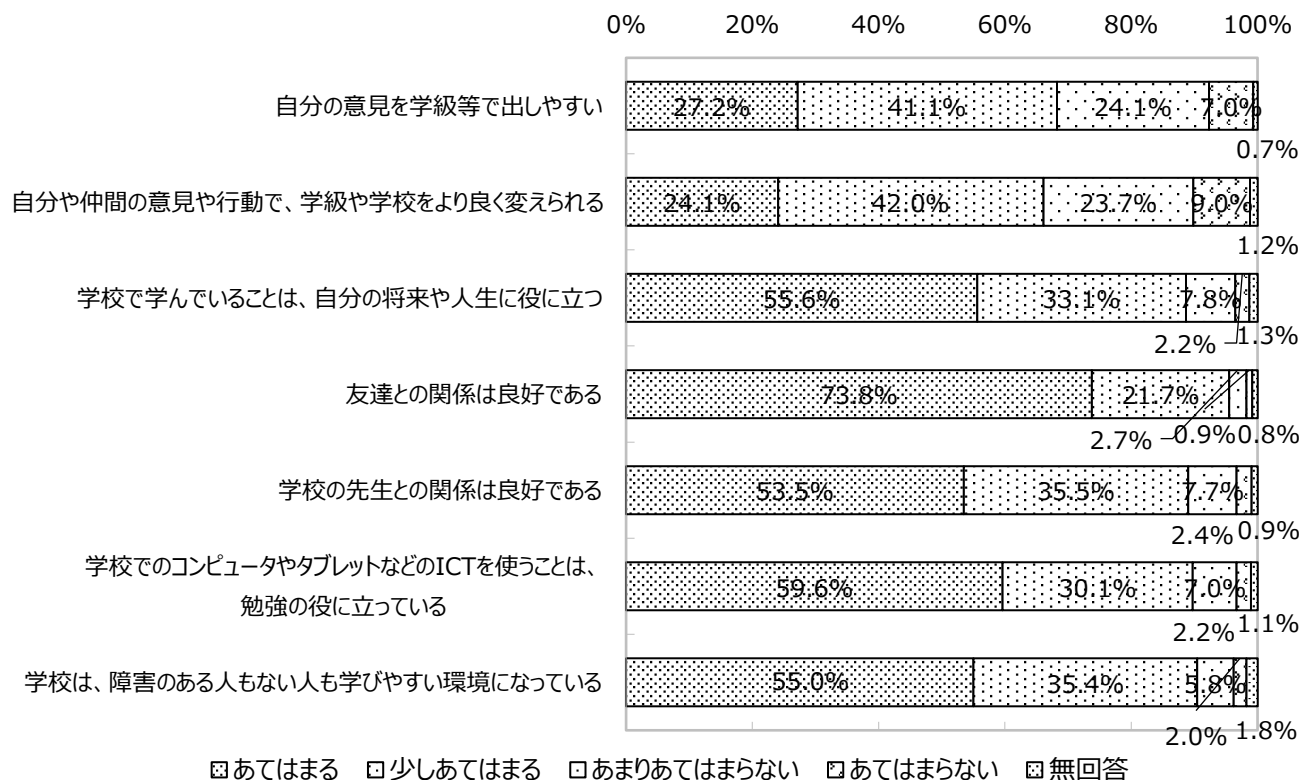


図3－（12）－2 中学2年生の学校生活であてはまること

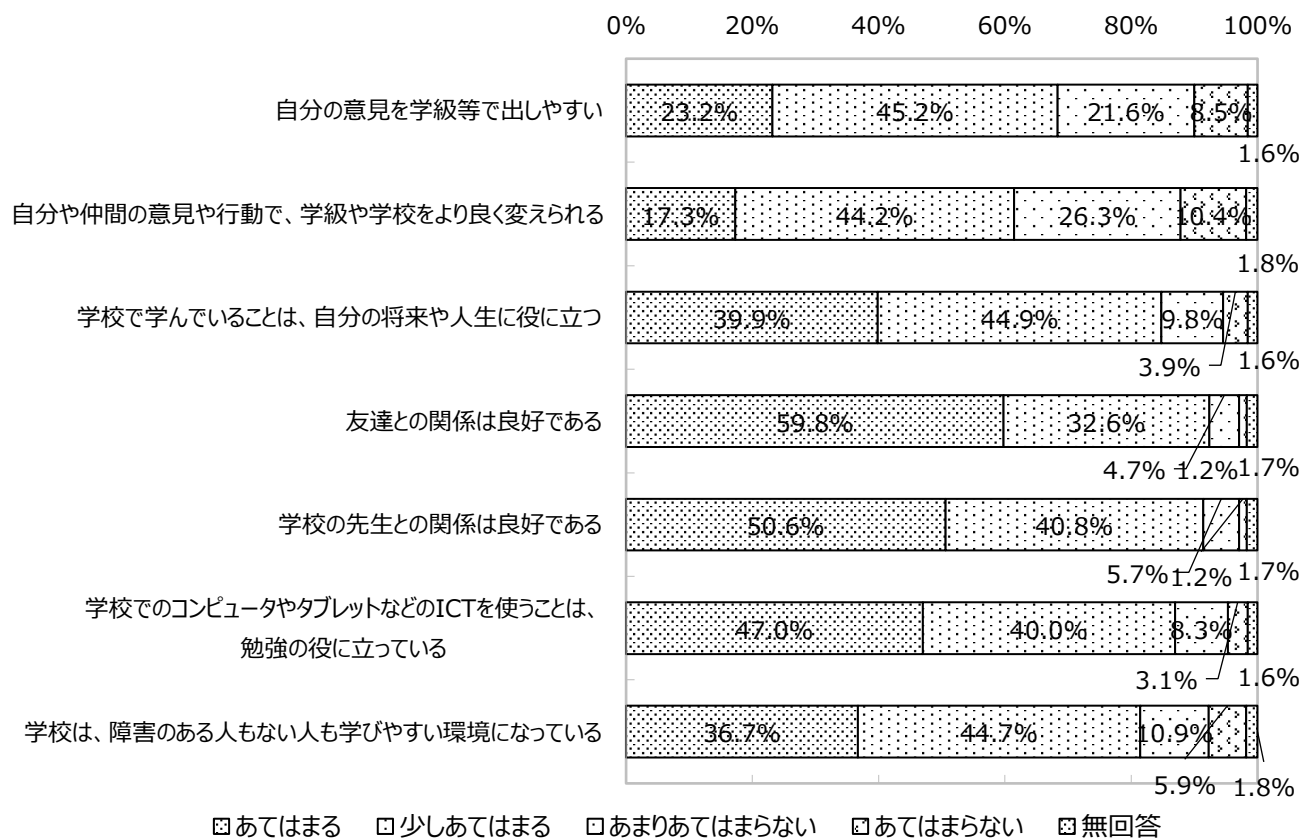
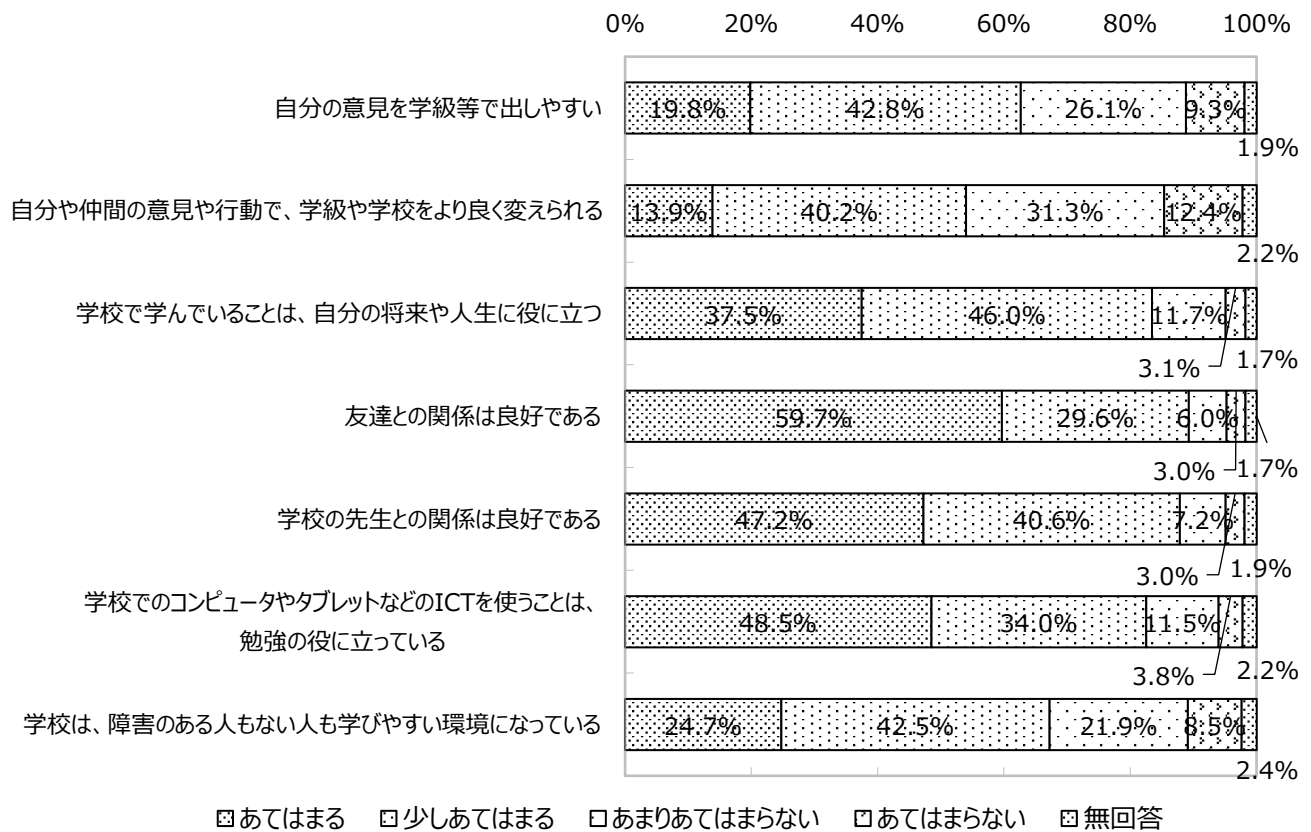


図3－（12）－3 高校2年生世代の学校生活であてはまること



（13）将来の希望進学先

ア 小学5年生の将来の希望進学先は、「まだわからない」が35.8%と最も多く、次いで「大学」が30.1%となっている。

イ 中学2年生の将来の希望進学先は、「大学」が44.3%と最も多く、次いで「まだわからない」が21.0%、「高校」が20.3%となっている。

ウ 高校2年生世代の将来の希望進学先は、「大学」が63.7%と最も多く、次いで「短期大学・専門学校」が10.7%となっている。

図3－(13)－1 小学5年生の将来の希望進学先

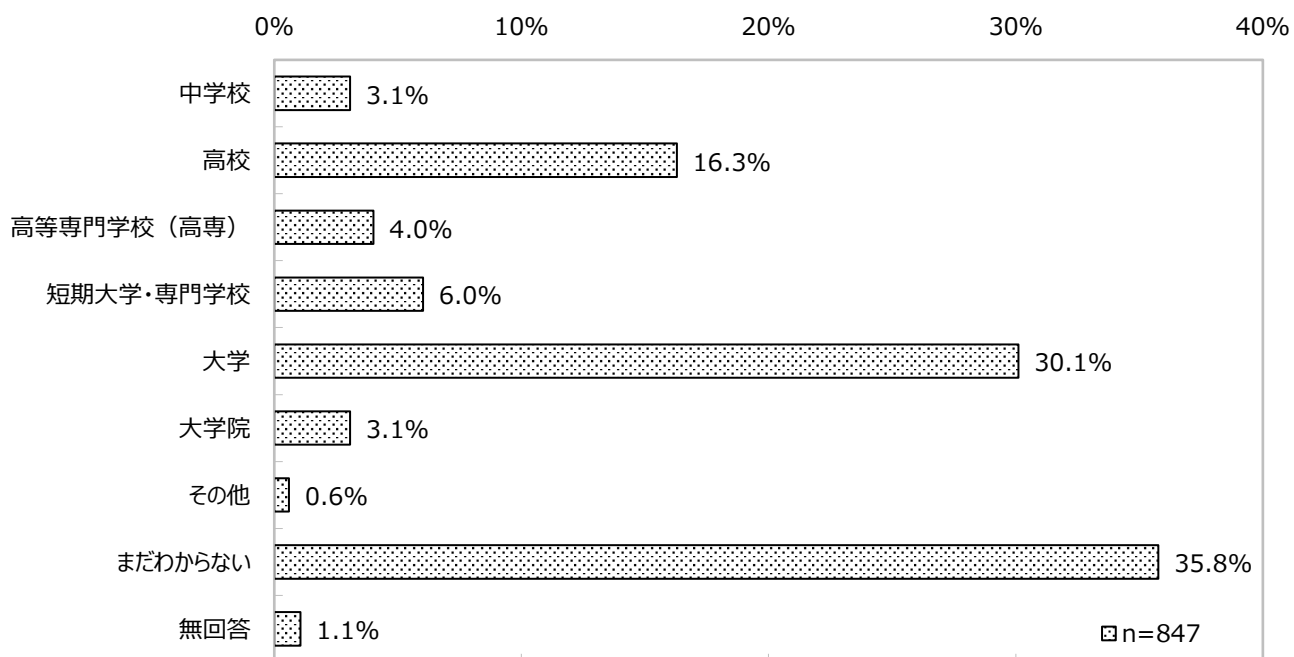


図3－(13)－2 中学2年生の将来の希望進学先

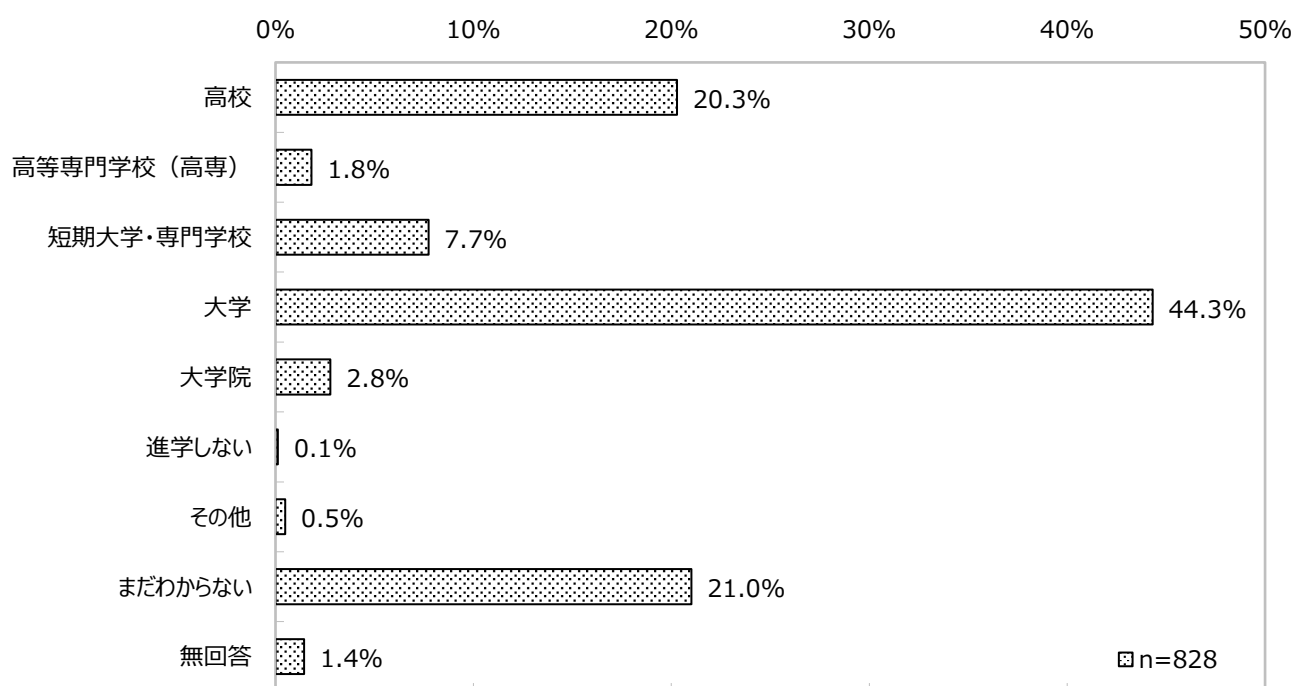
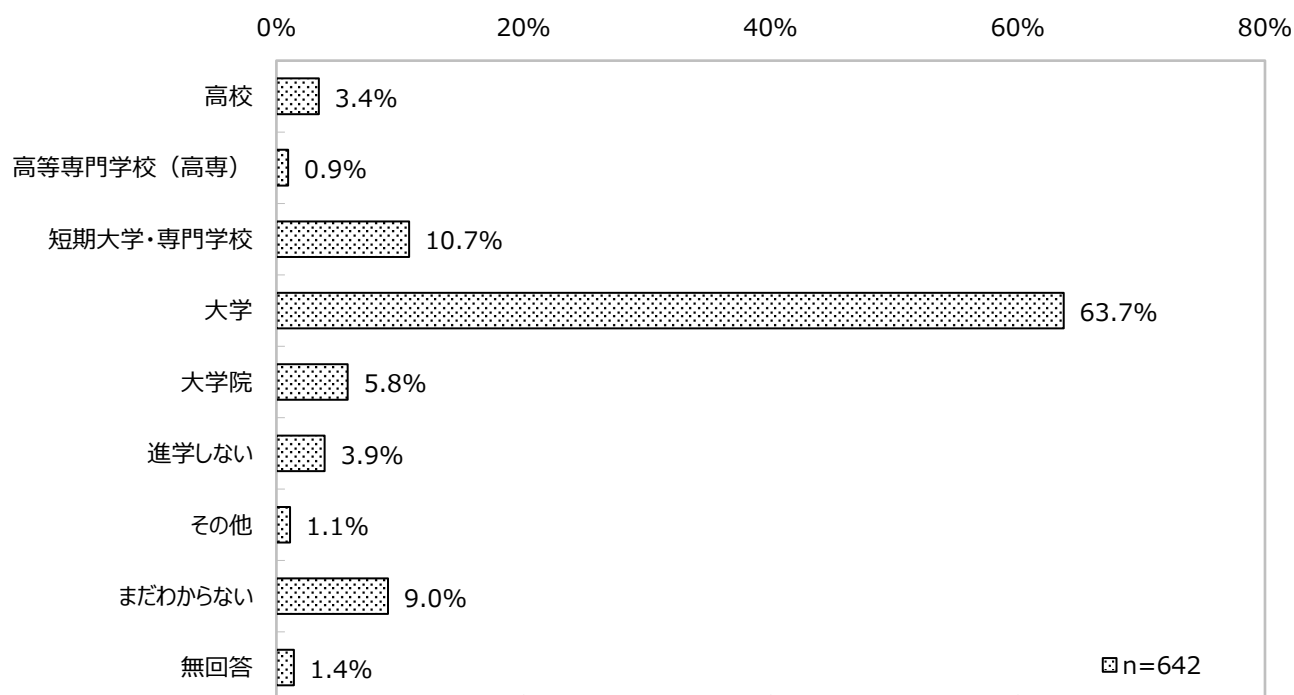


図3－（13）－3 高校2年生世代の将来の希望進学先



（14）将来の希望進学先を阻害し得る問題点

ア 小学5年生の将来の希望進学先を阻害し得る問題点は、「自分の成績の問題」が41.7%と最も多く、次いで「まだわからない」が25.4%となっている。

イ 中学2年生の将来の希望進学先を阻害し得る問題点は、「自分の成績の問題」が65.1%と最も多く、次いで「家庭のお金の問題」が24.8%となっている。

ウ 高校2年生世代の将来の希望進学先を阻害し得る問題点は、「自分の成績の問題」が61.0%と最も多く、次いで「家庭のお金の問題」が35.8%となっている。

※（13）で「高校」「高等専門学校（高専）」「短期大学・専門学校」「大学」「大学院」「進学しない」「その他」を選んだ者が集計の対象。（小学5年生は「中学校」も集計の対象。）

図 3 - (1 4) - 1 小学5年生の将来の希望進学先を阻害し得る問題点

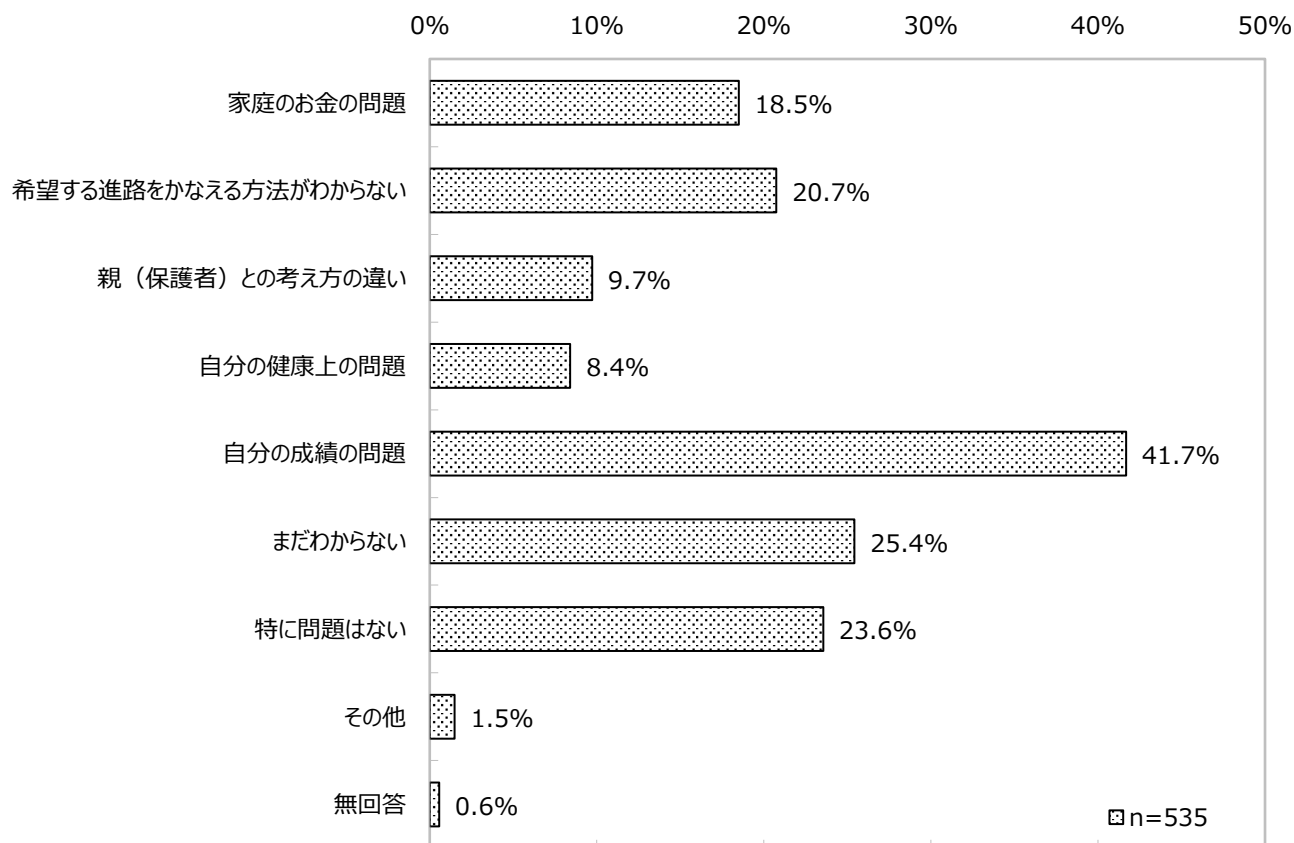


図 3 - (1 4) - 2 中学2年生の将来の希望進学先を阻害し得る問題点

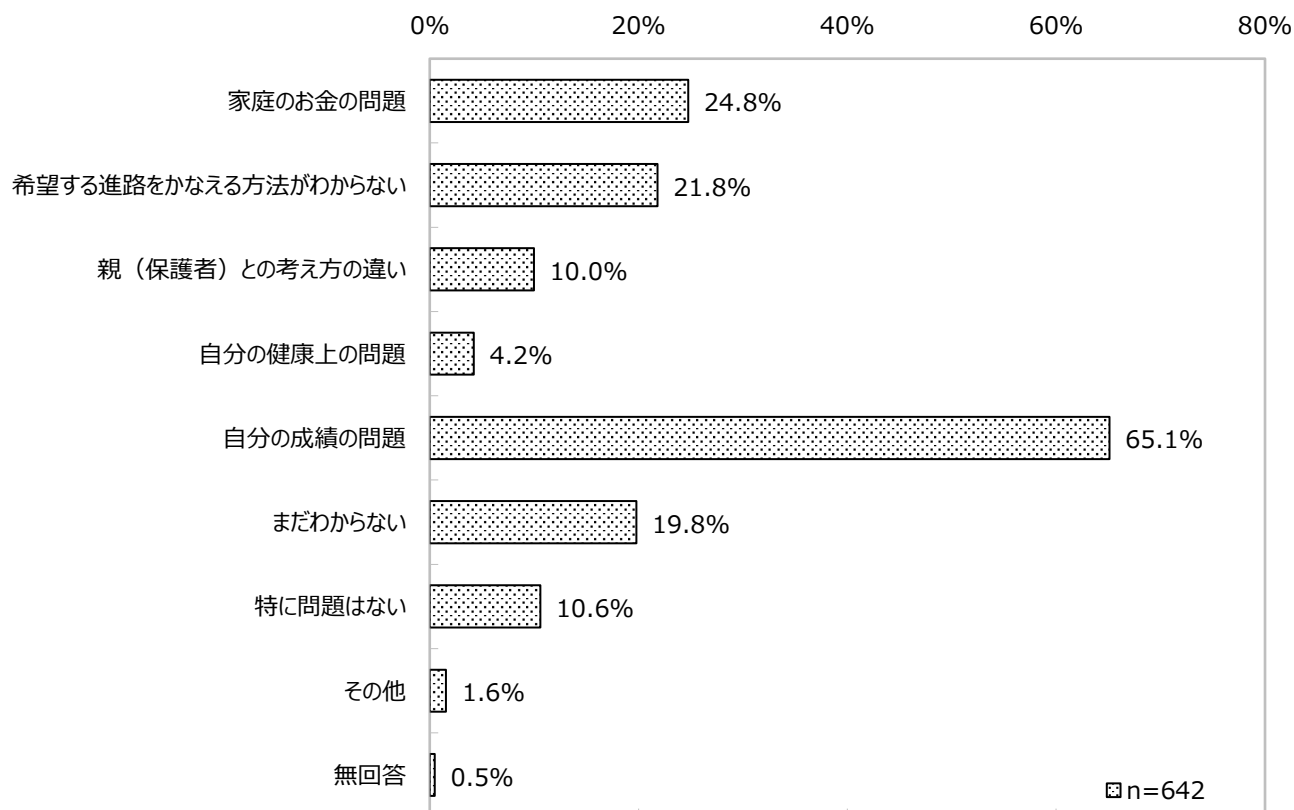
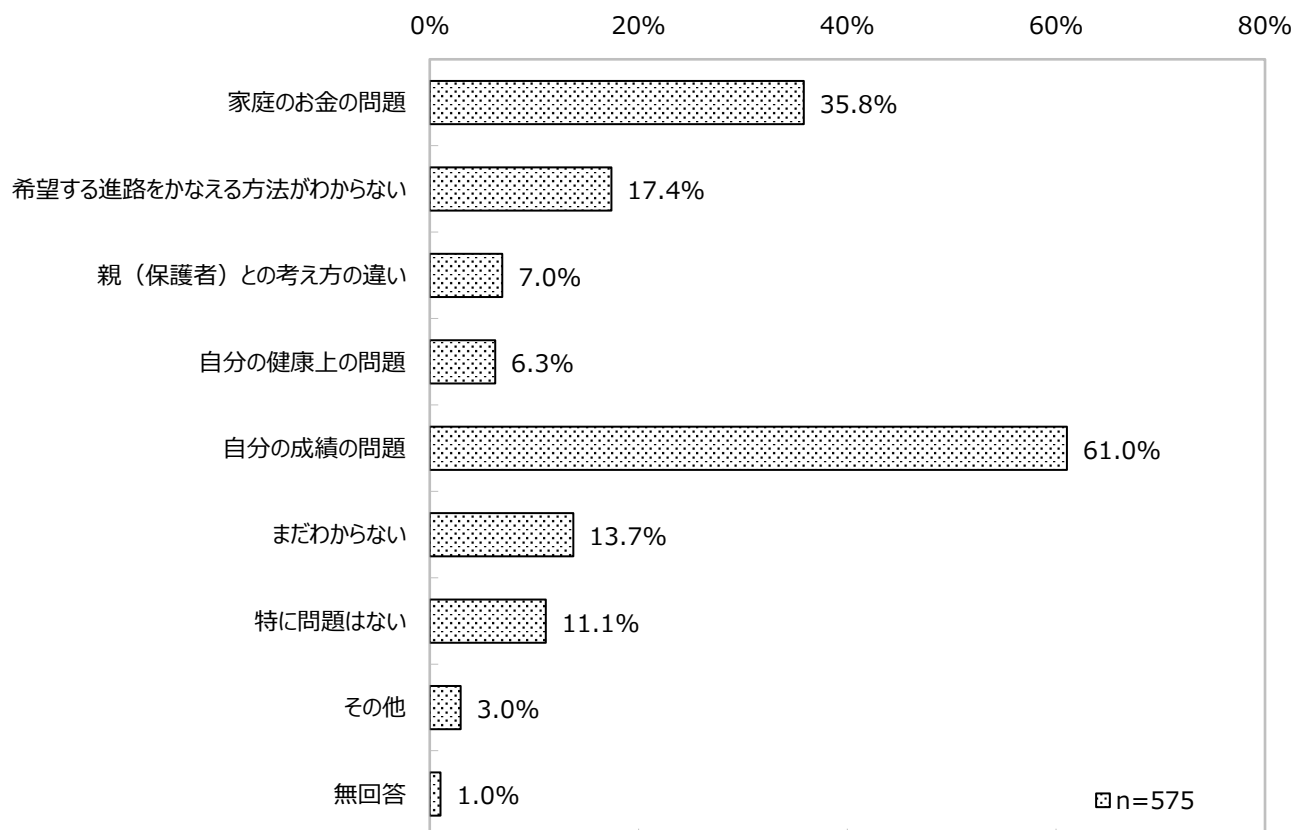


図 3－（14）－3 高校2年生世代の将来の希望進学先を阻害し得る問題点



（15）希望する20年後の将来像

ア 小学5年生の希望する20年後の将来像は、「お金に困らず生活している」が70.1%と最も多く、次いで「健康である」が61.5%となっている。

イ 中学2年生の希望する20年後の将来像は、「お金に困らず生活している」が71.4%と最も多く、次いで「自分のしたい仕事ができている」が58.3%となっている。

ウ 高校2年生世代の希望する20年後の将来像は、「お金に困らず生活している」が70.7%と最も多く、次いで「自分のしたい仕事ができている」が50.6%となっている。

図3－（15）－1 小学5年生の希望する20年後の来像（5つまで回答）

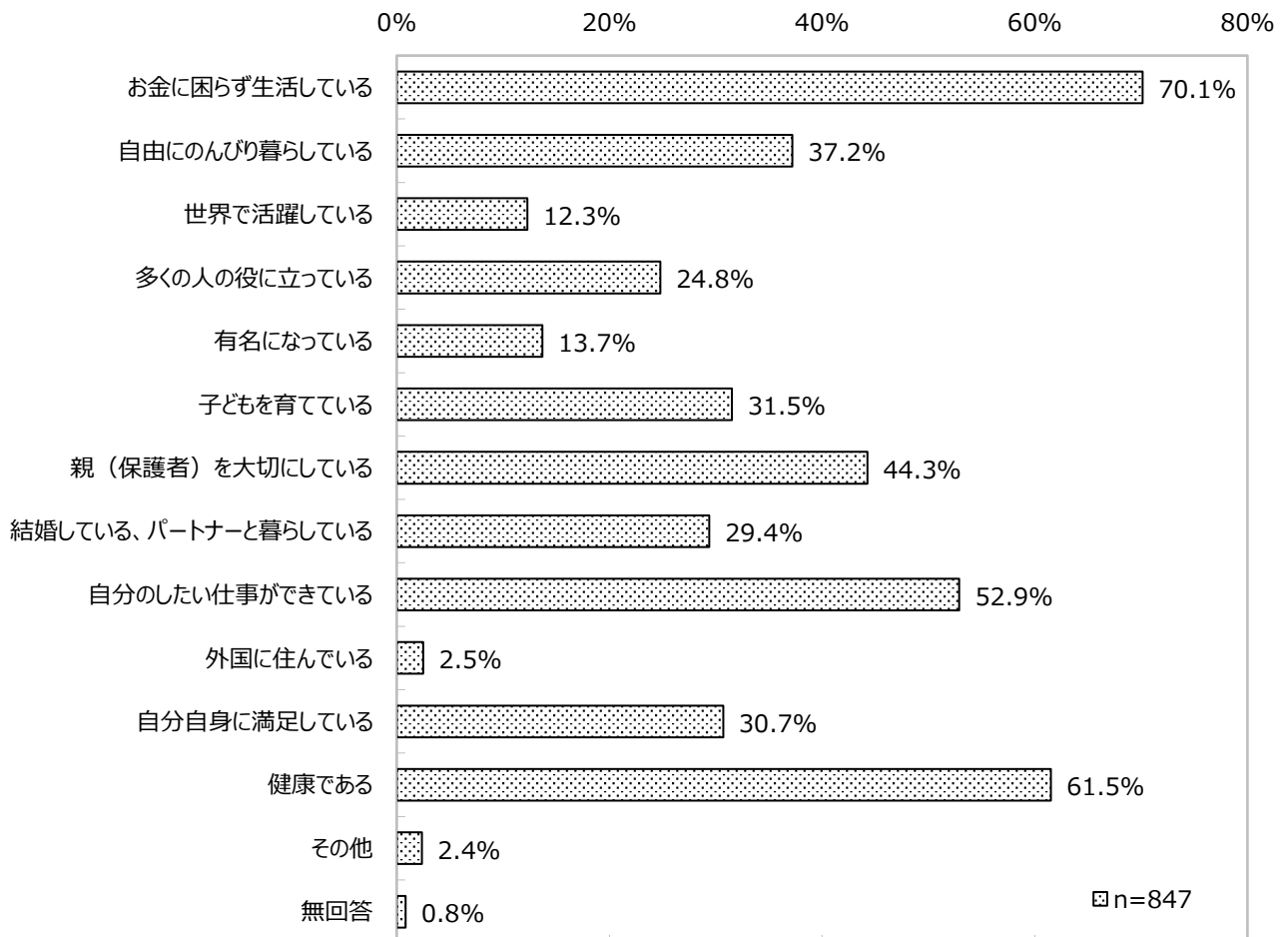


図3－（15）－2 中学2年生の希望する20年後の来像（5つまで回答）

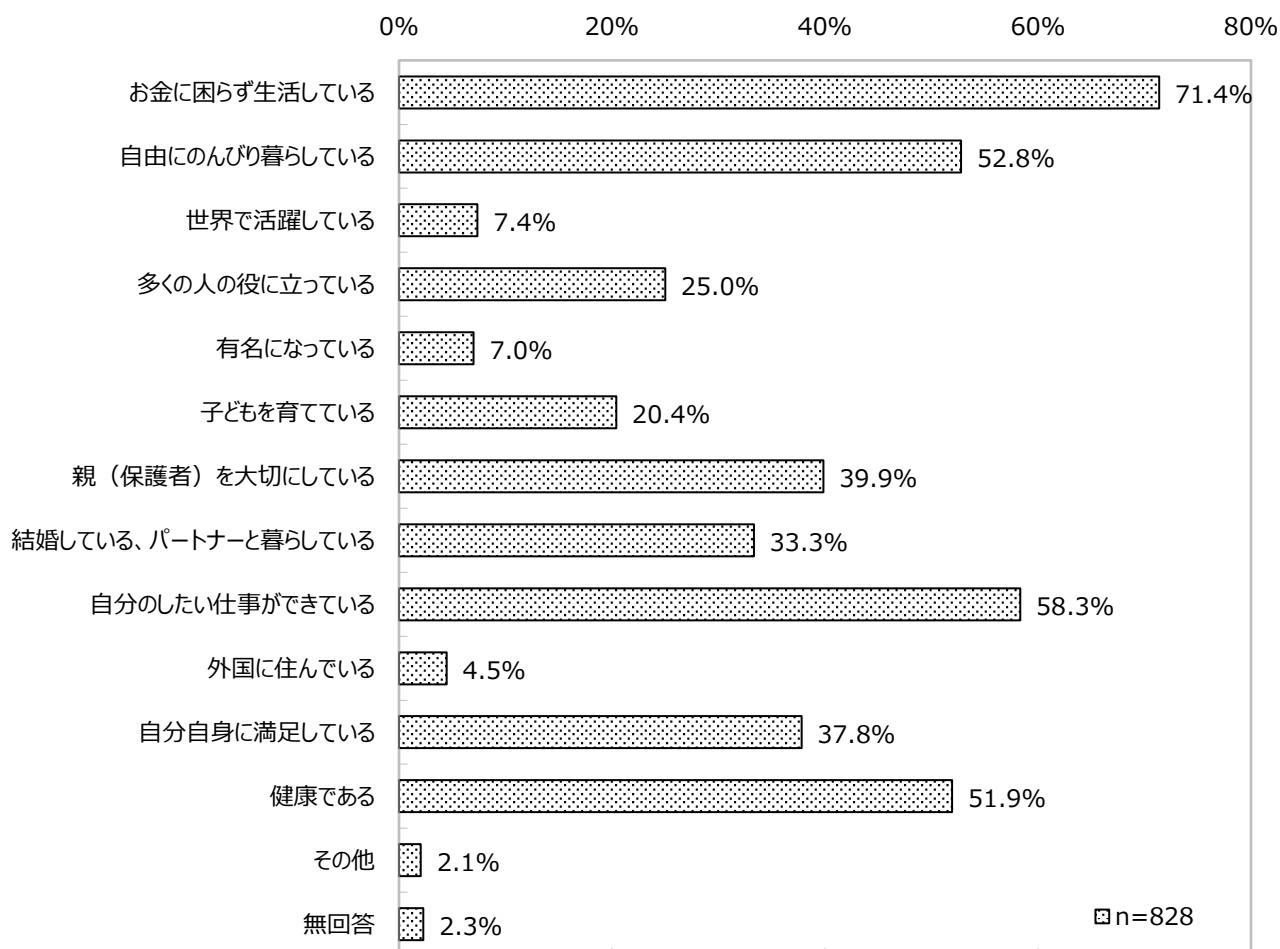
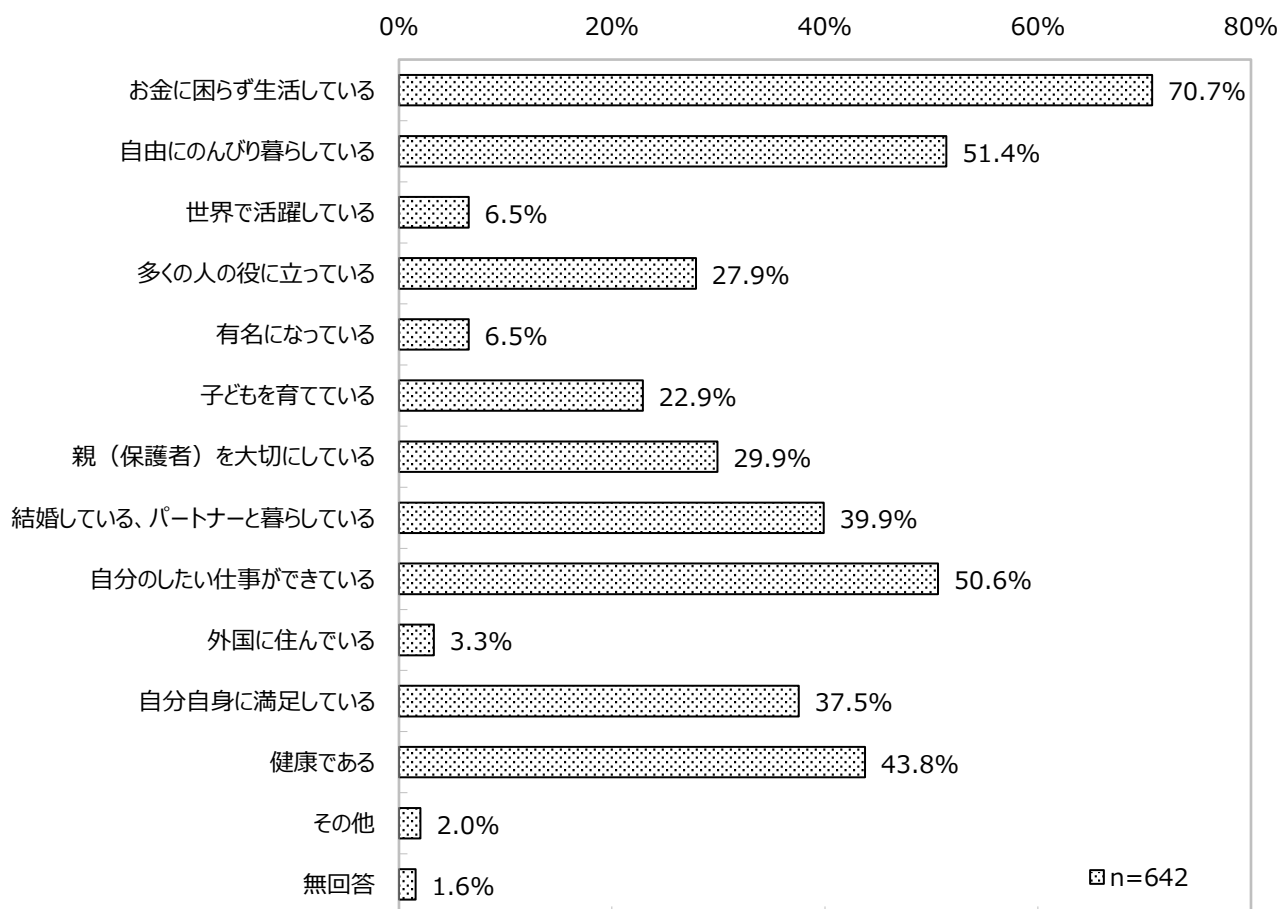


図3－（15）－3 高校2年生世代の希望する20年後の来像（5つまで回答）



（16）将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について

ア 小学5年生の将来家庭を持った場合の「仕事」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が49.0%と最も多く、次いで「わからない」が19.0%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が40.2%、「女性」が59.7%となっており、「主に男性が担う方が良い」で「男性」が22.5%、「女性」が5.2%となっている。

イ 中学2年生の将来家庭を持った場合の「仕事」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が58.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が担う方が良い」が14.6%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が46.4%、「女性」が71.3%となっており、「主に男性が担う方が良い」で「男性」が15.6%、「女性」が1.5%となっている。

ウ 高校2年生世代の将来家庭を持った場合の「仕事」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が67.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が担う方が良い」が16.5%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が56.3%、「女性」が77.8%となっており、「主に男性が担う方が良い」で「男性」が8.6%、「女性」が1.2%となっている。

図 3 - (1 6) - 1 小学5年生の将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について

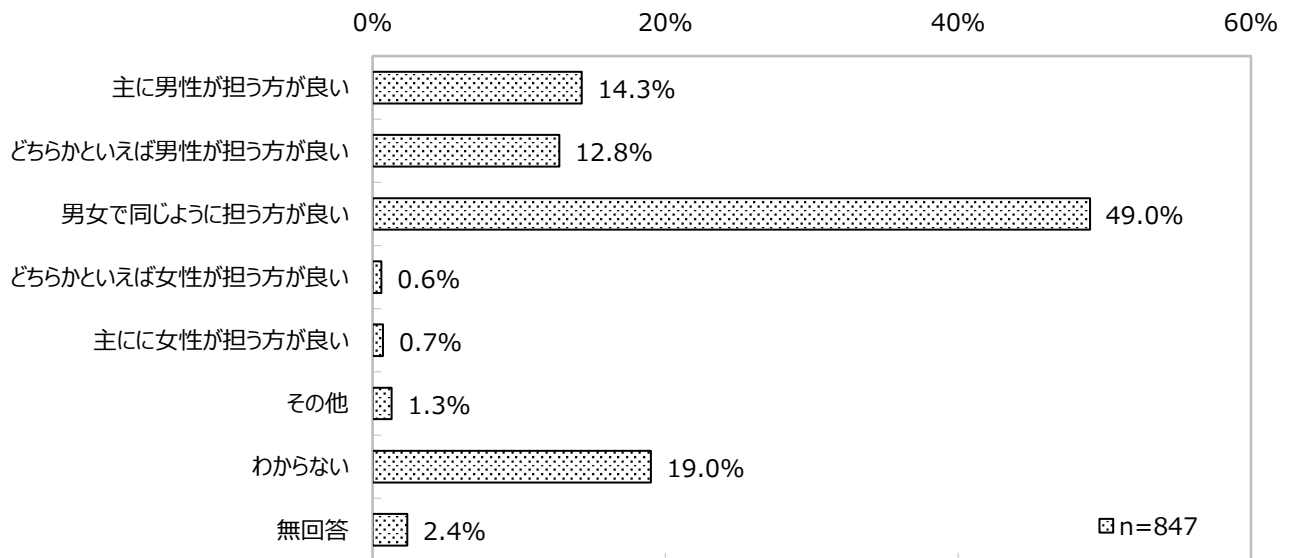


図 3 - (1 6) - 2 小学5年生の性別別にみた将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について

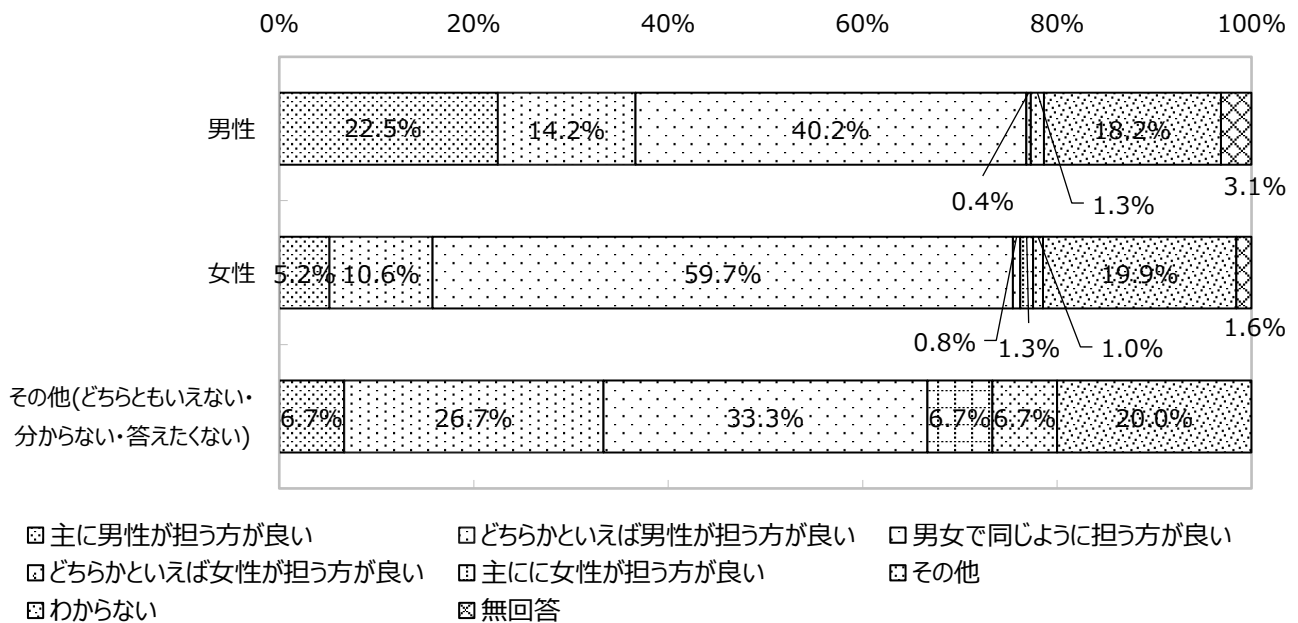


図3－(16)－3 中学2年生の将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について

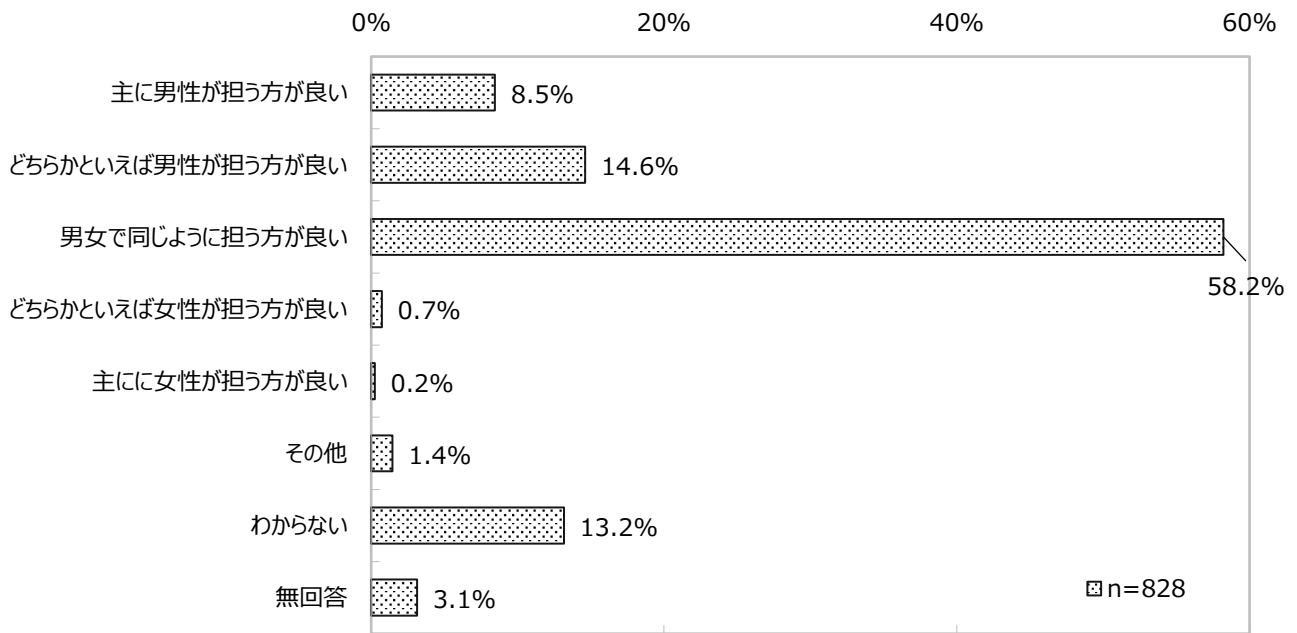


図3－(16)－4 中学2年生の性別別にみた将来家庭を持った場合の「仕事」の役割について

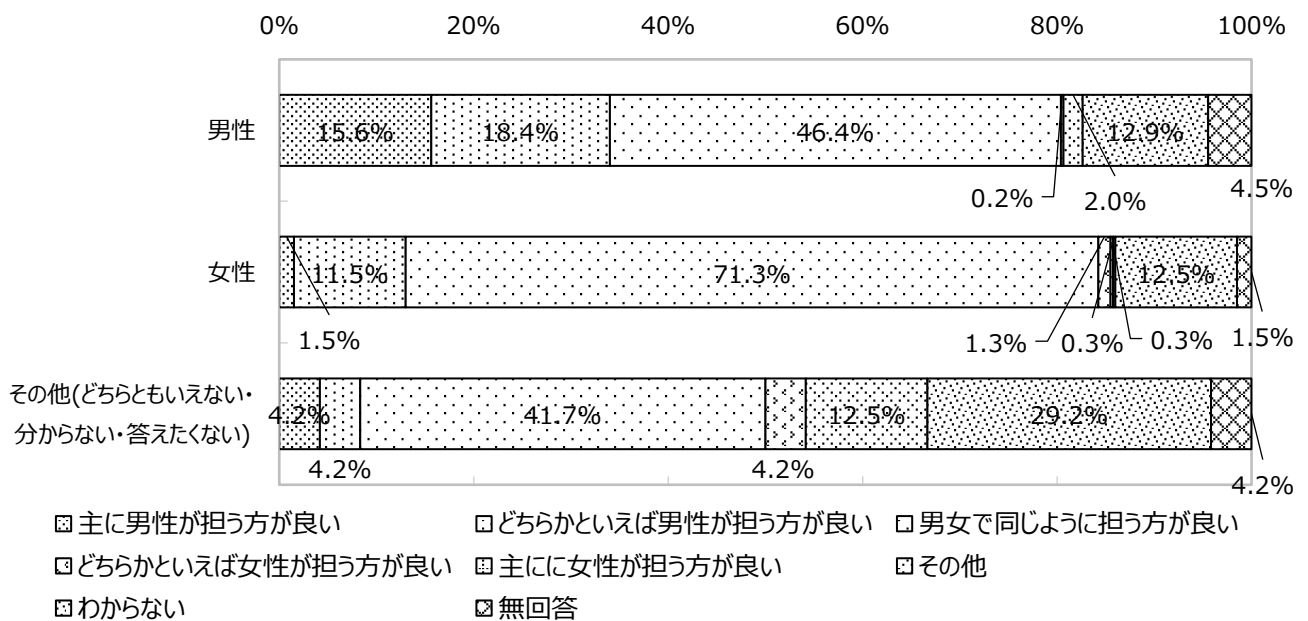


図 3 - (1 6) - 5 高校2年生世代の将来家庭を持った場合の
「仕事」の役割について

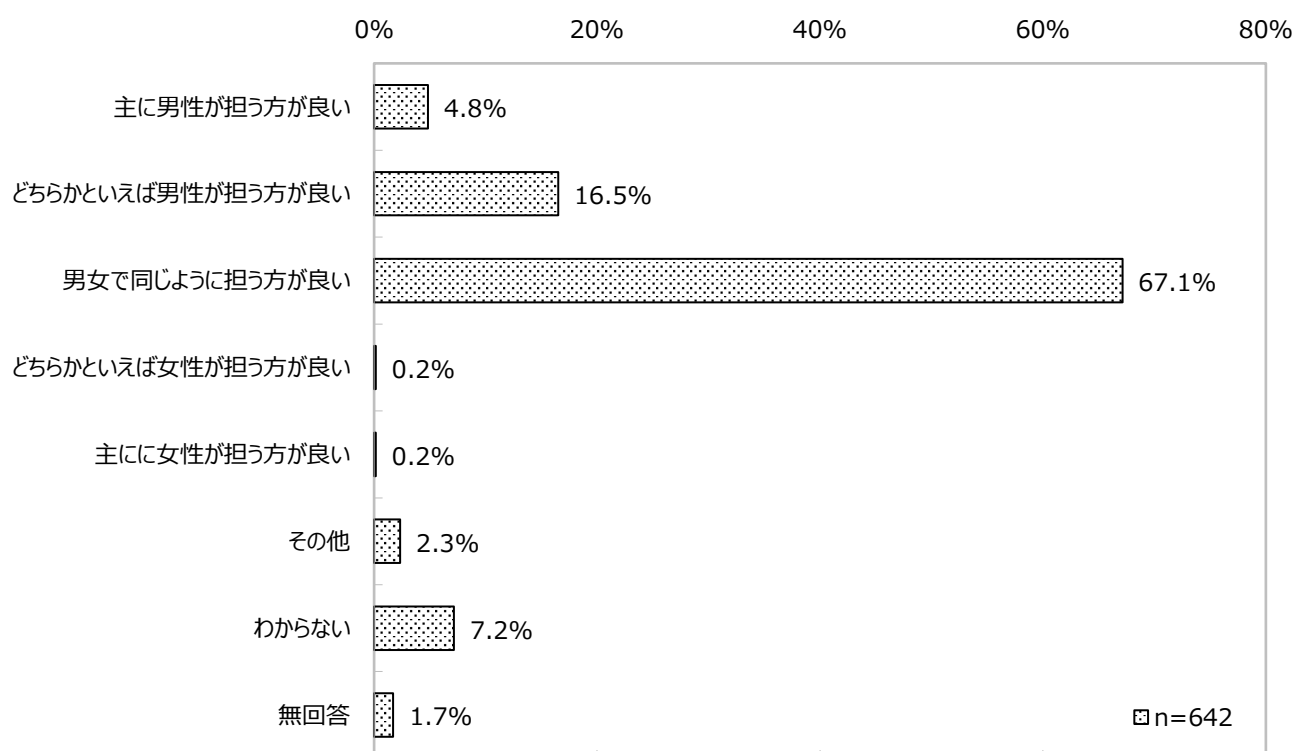
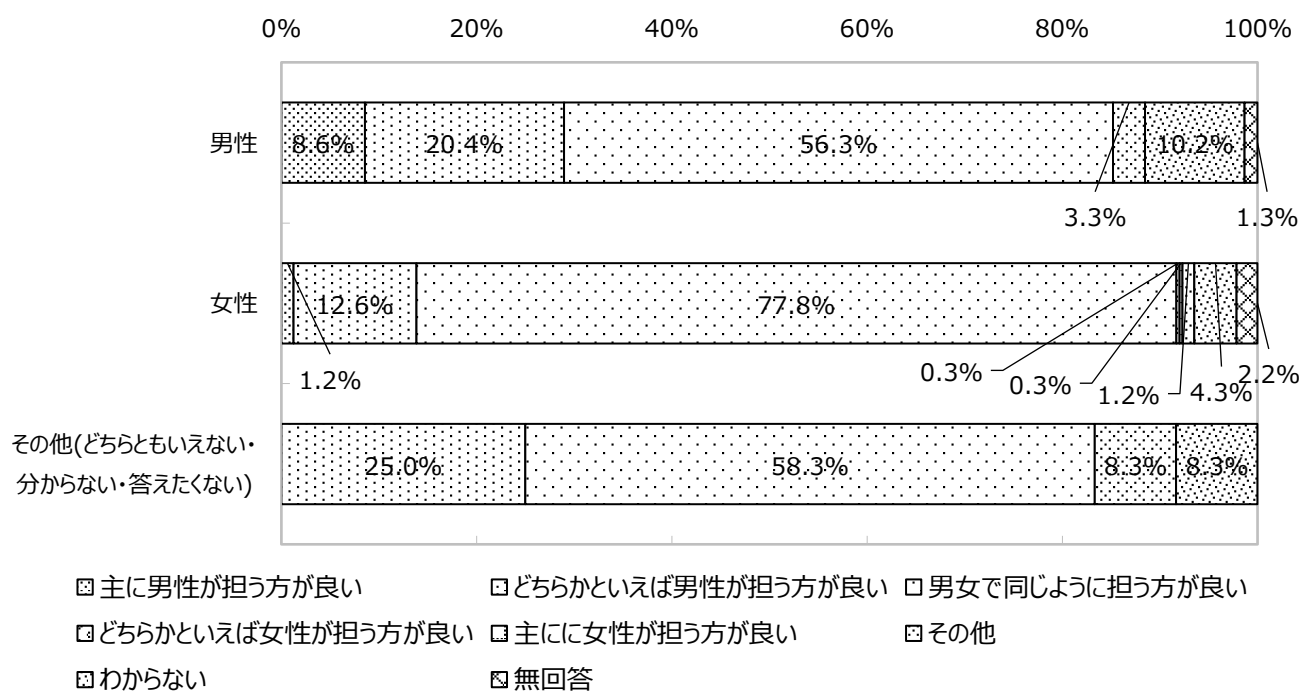


図 3 - (1 6) - 6 高校2年生世代の性別別にみた将来家庭を持った場合の
「仕事」の役割について



(17) 将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割について

ア 小学5年生の将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が57.6%と最も多く、次いで「わからない」が17.9%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が52.6%、「女性」が63.3%となっており、「どちらかといえば女性が担う方が良い」で「男性」が8.1%、「女性」が9.8%となっている。

イ 中学2年生の将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が67.0%と最も多く、次いで「わからない」が12.8%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が60.8%、「女性」が74.5%となっており、「どちらかといえば女性が担う方が良い」で「男性」が8.7%、「女性」が7.8%となっている。

ウ 高校2年生世代の将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割については、「男女で同じように担う方が良い」が76.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が担う方が良い」が9.8%となっている。

性別別でみると、「男女で同じように担う方が良い」で「男性」が71.7%、「女性」が80.6%となっており、「主に女性が担う方が良い」で「男性」が10.9%、「女性」が8.9%となっている。

図3－(17)－1 小学5年生の将来家庭を持った場合の「家事・育児・介護」の役割について

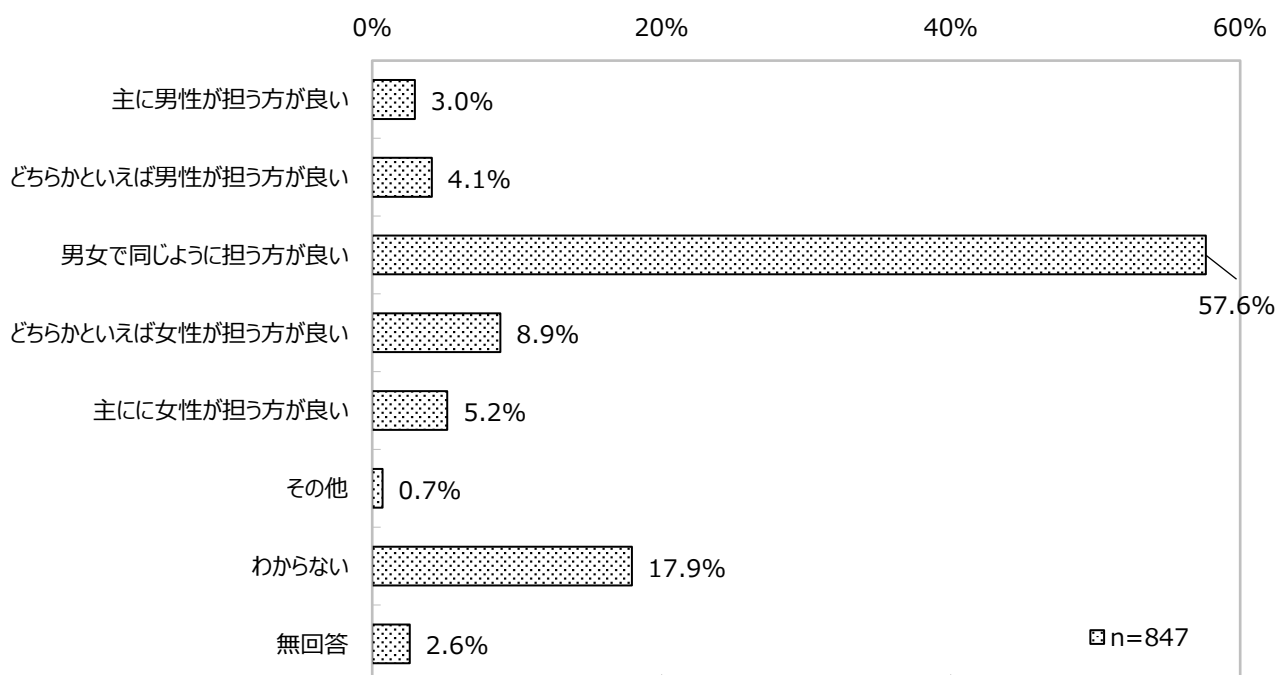


図3－（17）－2 小学5年生の性別別にみた将来家庭を持った場合の
「家事・育児・介護」の役割について

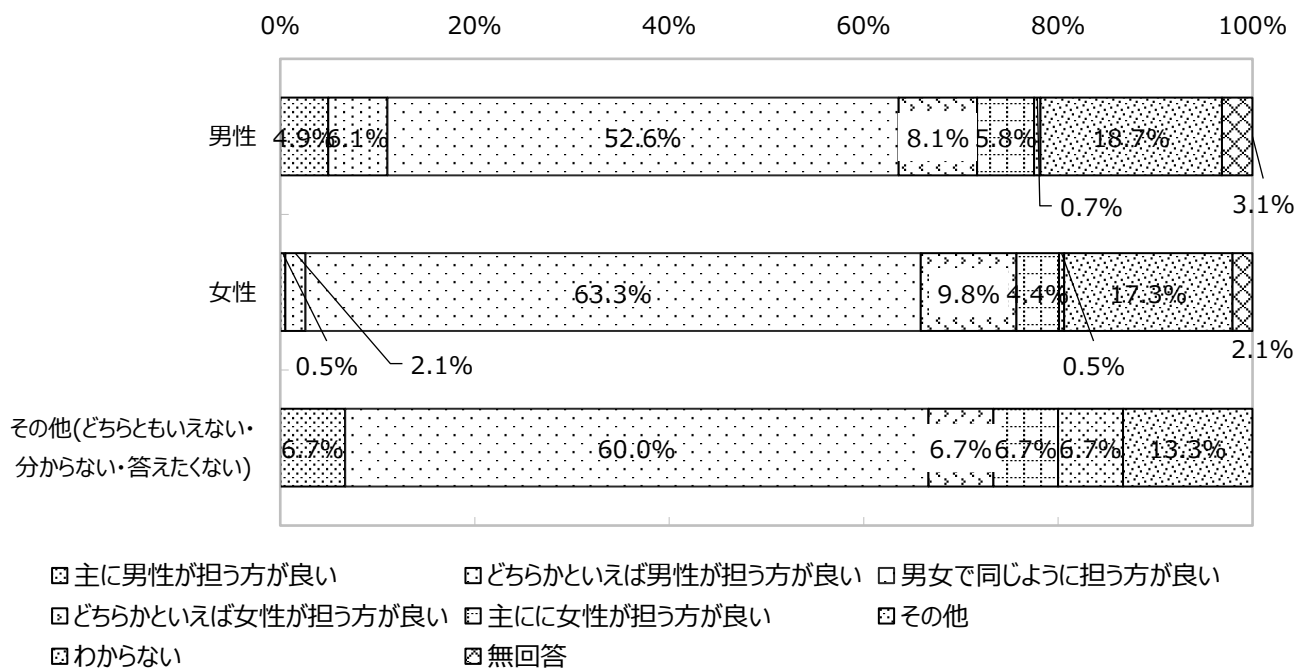


図3－（17）－3 中学2年生の将来家庭を持った場合の
「家事・育児・介護」の役割について

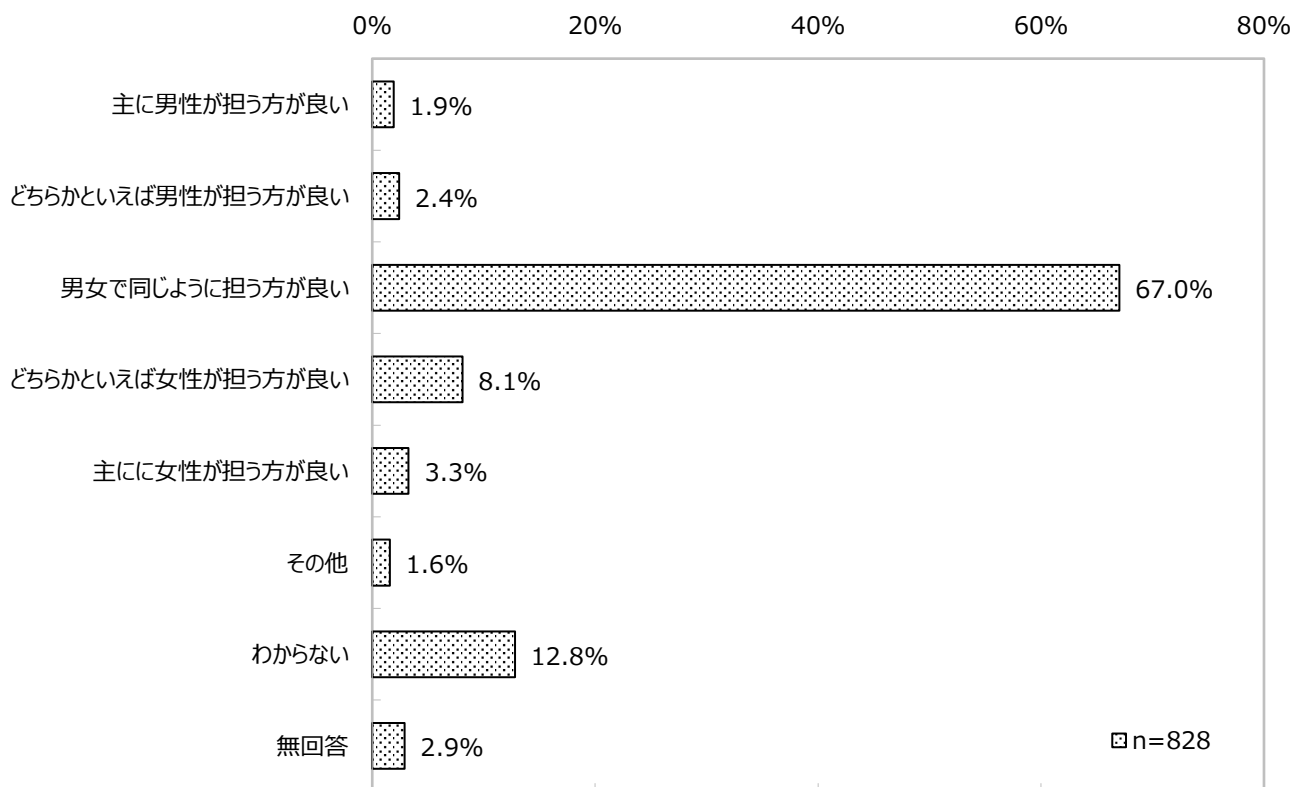


図3－（17）－4 中学2年生の性別別にみた将来家庭を持った場合の
「家事・育児・介護」の役割について

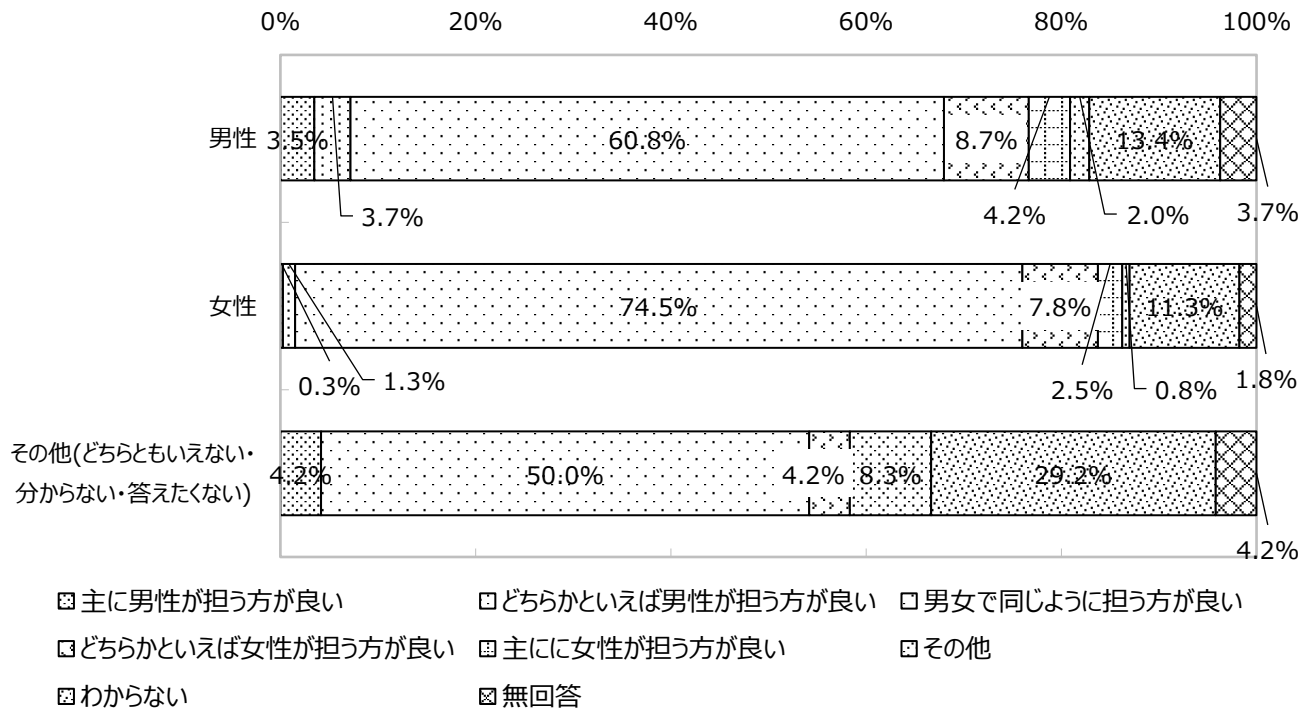


図3－（17）－5 高校2年生世代の将来家庭を持った場合の
「家事・育児・介護」の役割について

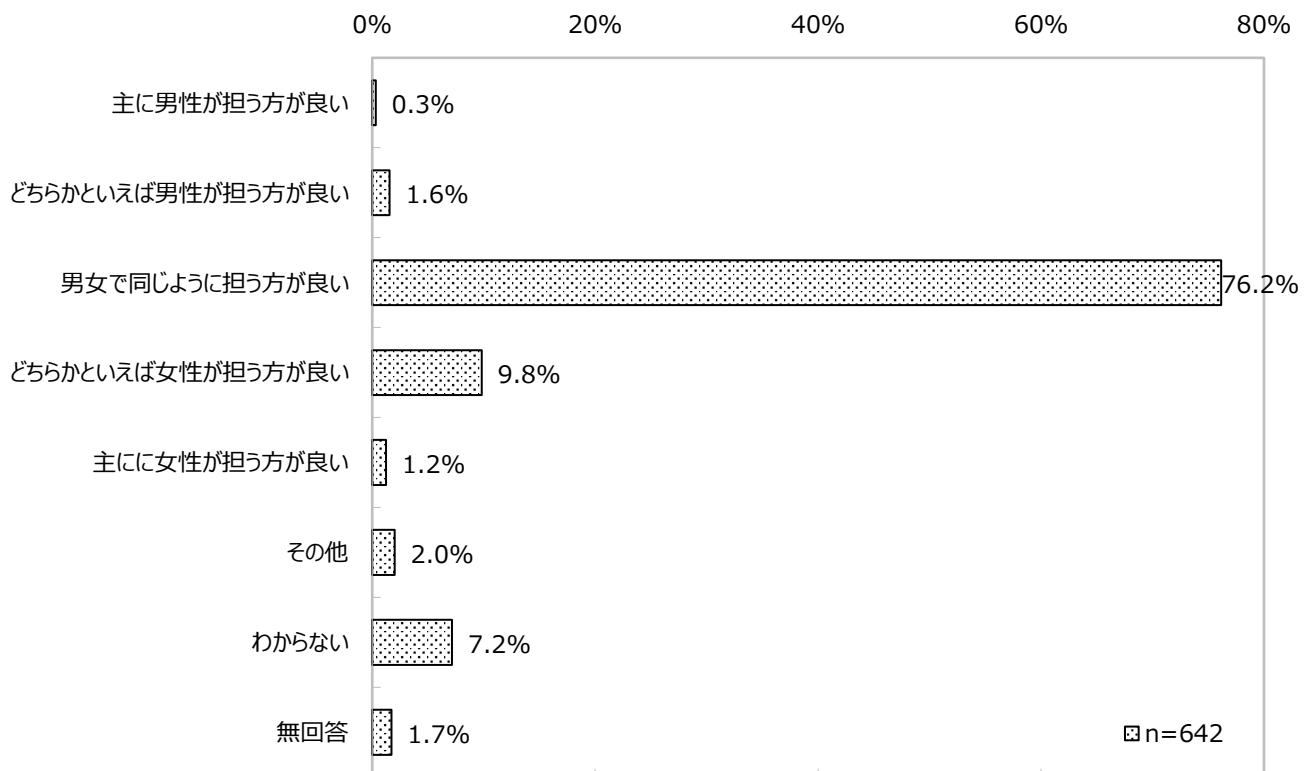
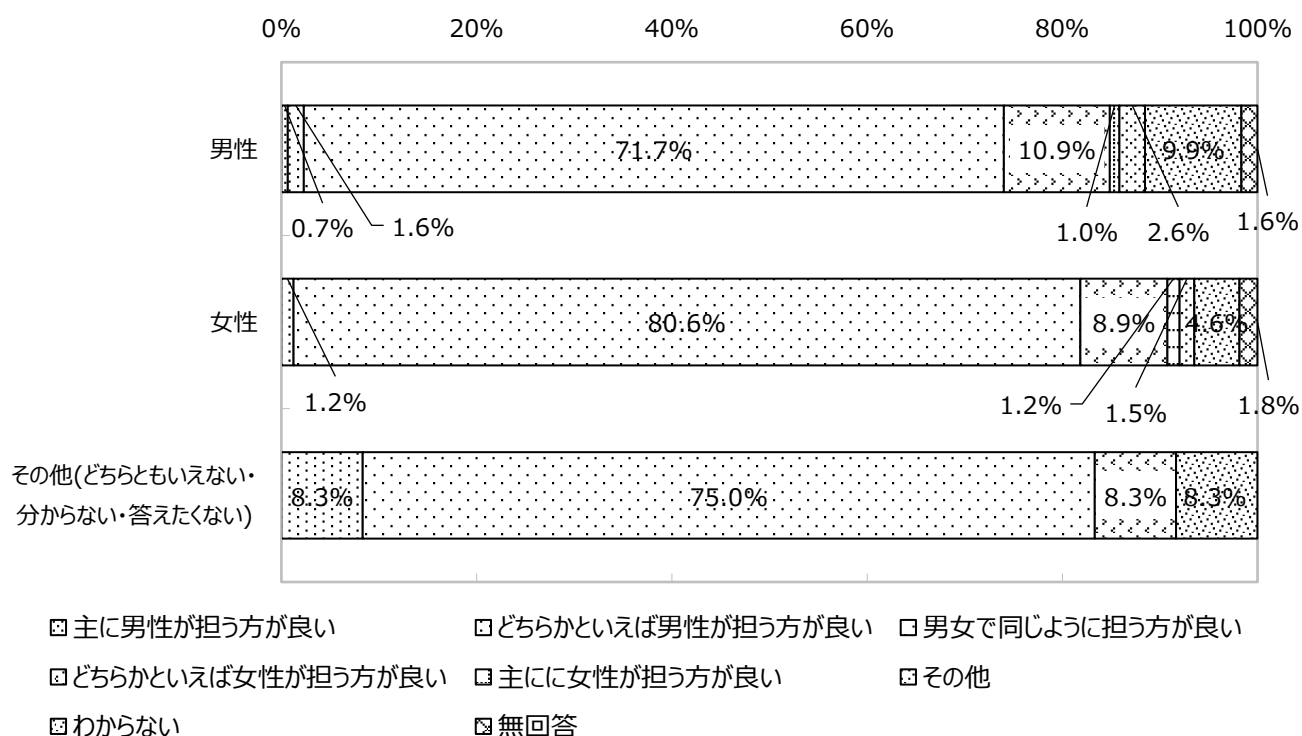


図3－（17）－6 高校2年生世代の性別別にみた将来家庭を持った場合の
「家事・育児・介護」の役割について



（18）滋賀県に対する好感度

ア 小学5年生の滋賀県に対する好感度は、「好き」が72.1%と最も多く、次いで「少し好き」が20.9%となっている。

イ 中学2年生の滋賀県に対する好感度は、「好き」が51.2%と最も多く、次いで「少し好き」が35.9%となっている。

イ 高校2年生世代の滋賀県に対する好感度は、「好き」が54.5%と最も多く、次いで「少し好き」が35.8%となっている。

図3－（18）－1 小学5年生の滋賀県に対する好感度

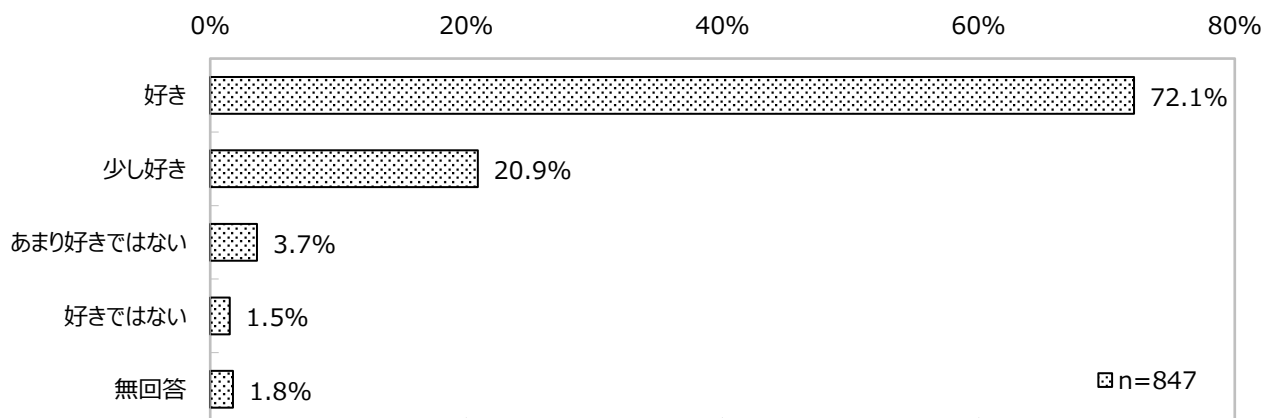


図3－（18）－2 中学2年生の滋賀県に対する好感度

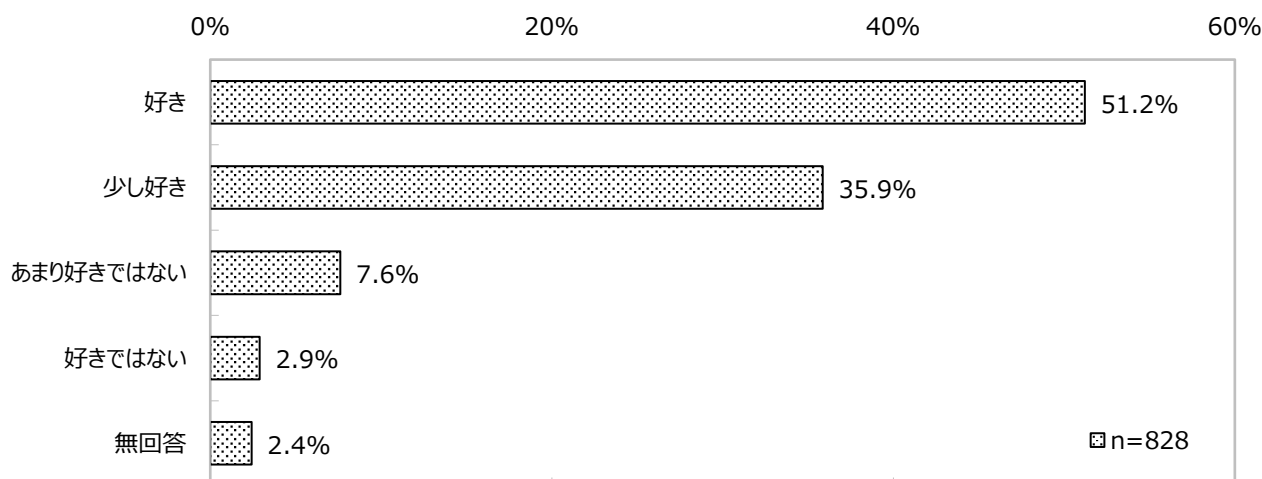
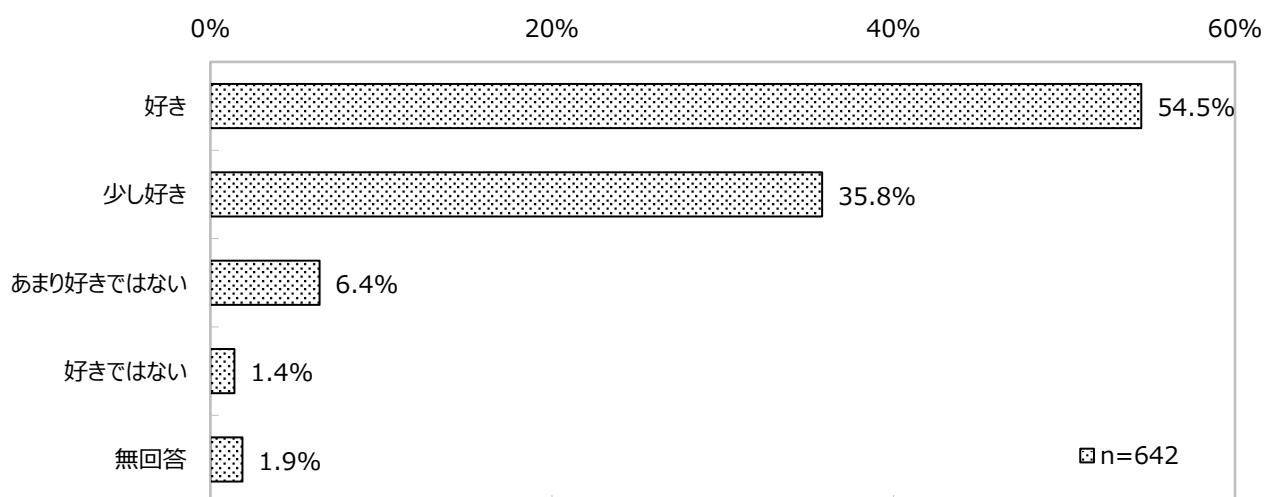


図3－（18）－3 高校2年生世代の滋賀県に対する好感度



（19）住まいの地域で力を入れてほしいこと

- ア 小学5年生の住まいの地域で力を入れてほしいことは、「みんなが健康でいる」が53.6%と最も多く、次いで「びわ湖や山などの自然を大切にする」が40.5%となっている。
- イ 中学2年生の住まいの地域で力を入れてほしいことは、「みんなが健康でいる」が37.3%と最も多く、次いで「電車やバスなどの交通の便をよくする」が29.5%となっている。
- ウ 高校2年生世代の住まいの地域で力を入れてほしいことは、「公共交通の活性化」が29.1%と最も多く、次いで「観光振興」が26.0%となっている。

図3－(19)－1 小学5年生の住まいの地域で力を入れてほしいこと
(5つまで回答)

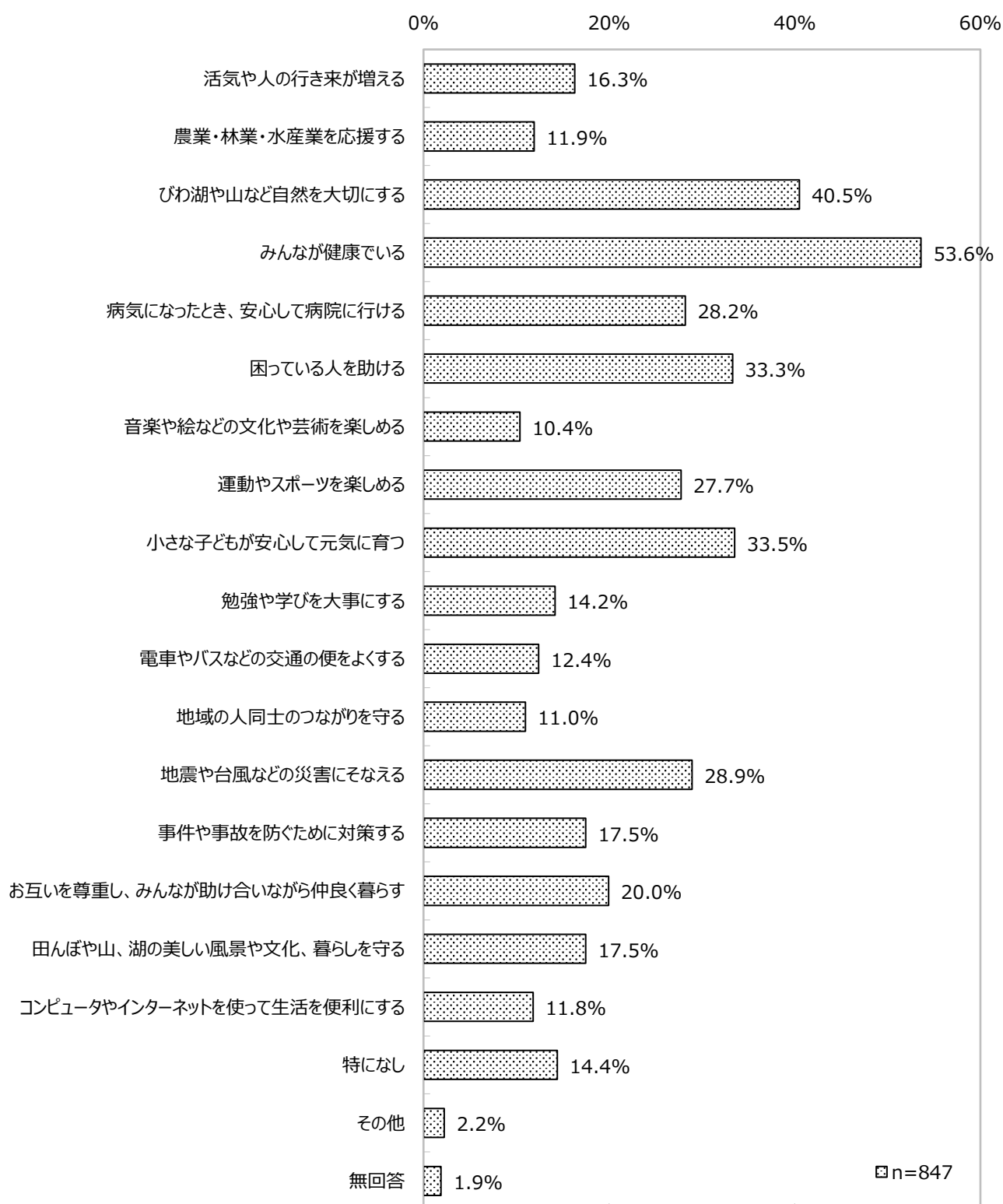


図3－(19)－2 中学2年生の住まいの地域で力を入れてほしいこと
(5つまで回答)

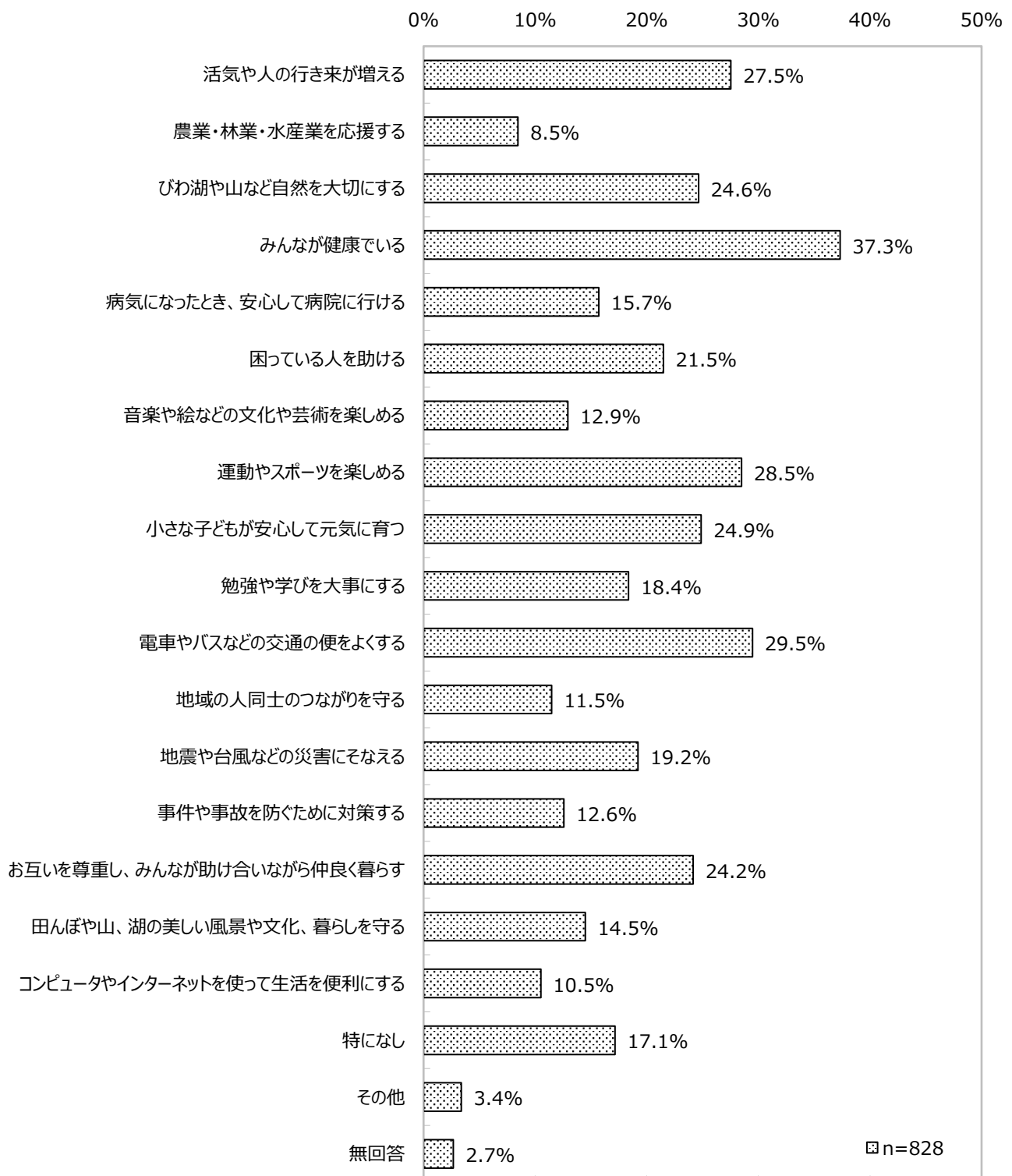
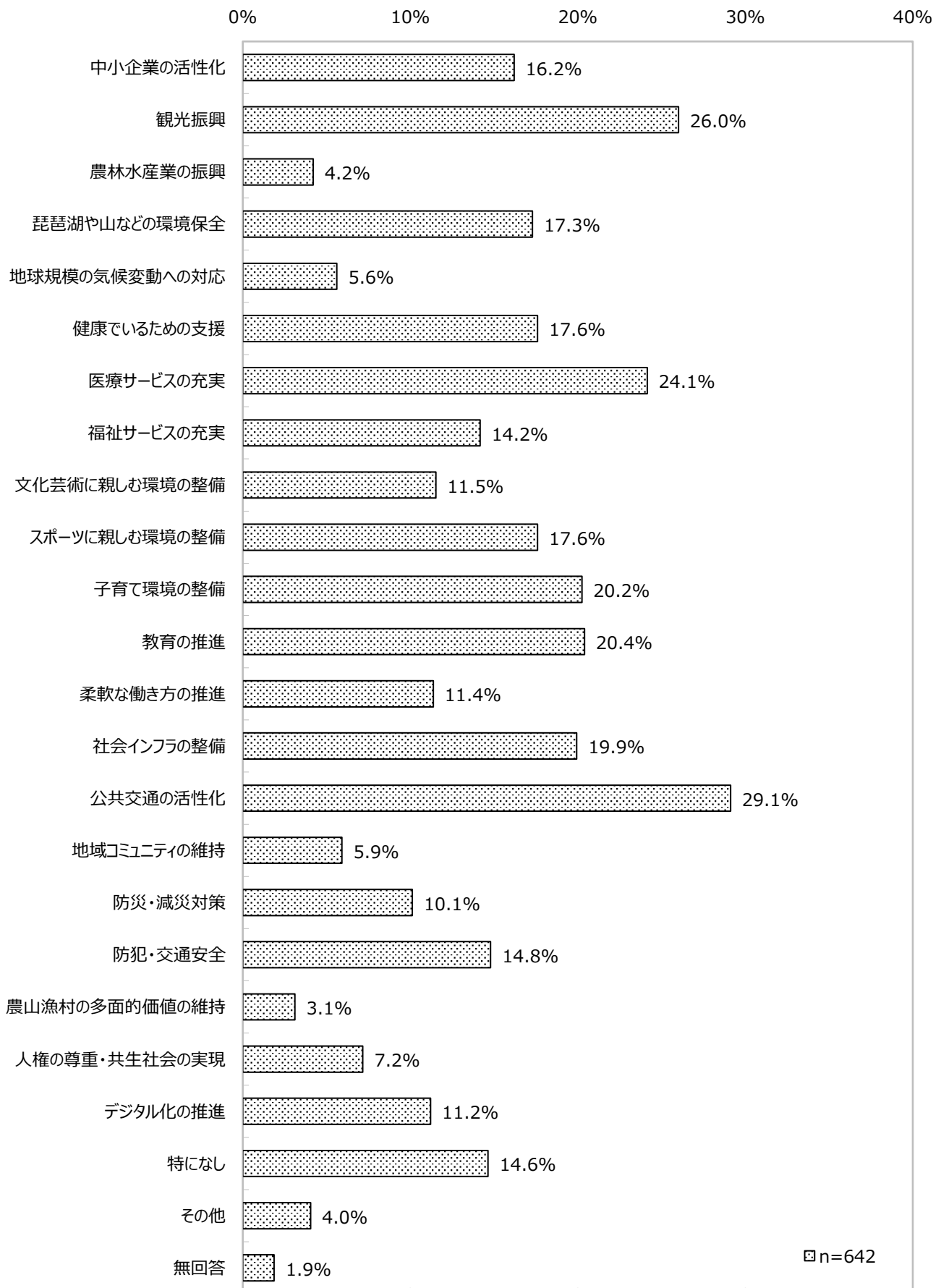


図3－（19）－3 高校2年生世代の住まいの地域で力を入れてほしいこと
（5つまで回答）



(20) 普段の情報入手先

ア 小学5年生の普段の情報入手先は、「テレビ」が77.3%と最も多く、次いで「家族や友達」が68.4%となっている。

イ 中学2年生の普段の情報入手先は、「テレビ」が75.4%と最も多く、次いで「動画サイト (YouTube、TikTok など)」が71.5%となっている。

ウ 高校2年生世代の普段の情報入手先は、「SNS(X、Instagram など)」が82.6%と最も多く、次いで「動画サイト (YouTube、TikTok など)」が71.7%となっている。

図3－(20)－1 小学5年生の普段の情報入手先（複数回答）

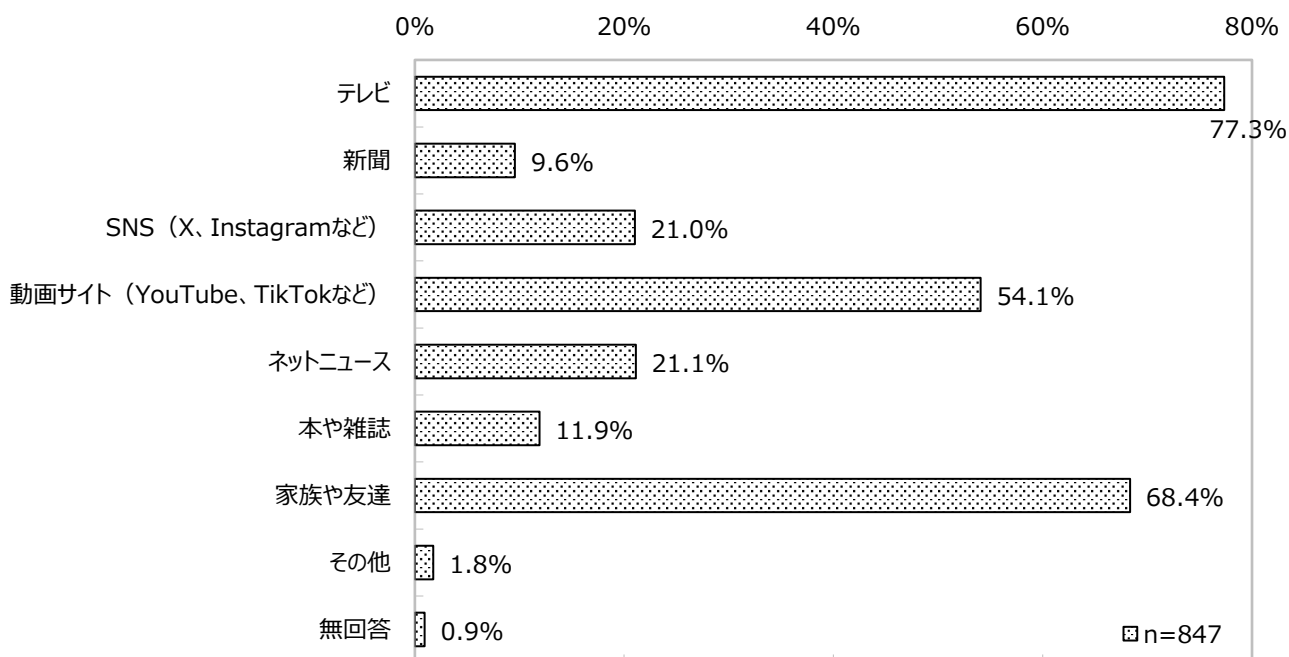


図3－(20)－2 中学2年生の普段の情報入手先（複数回答）

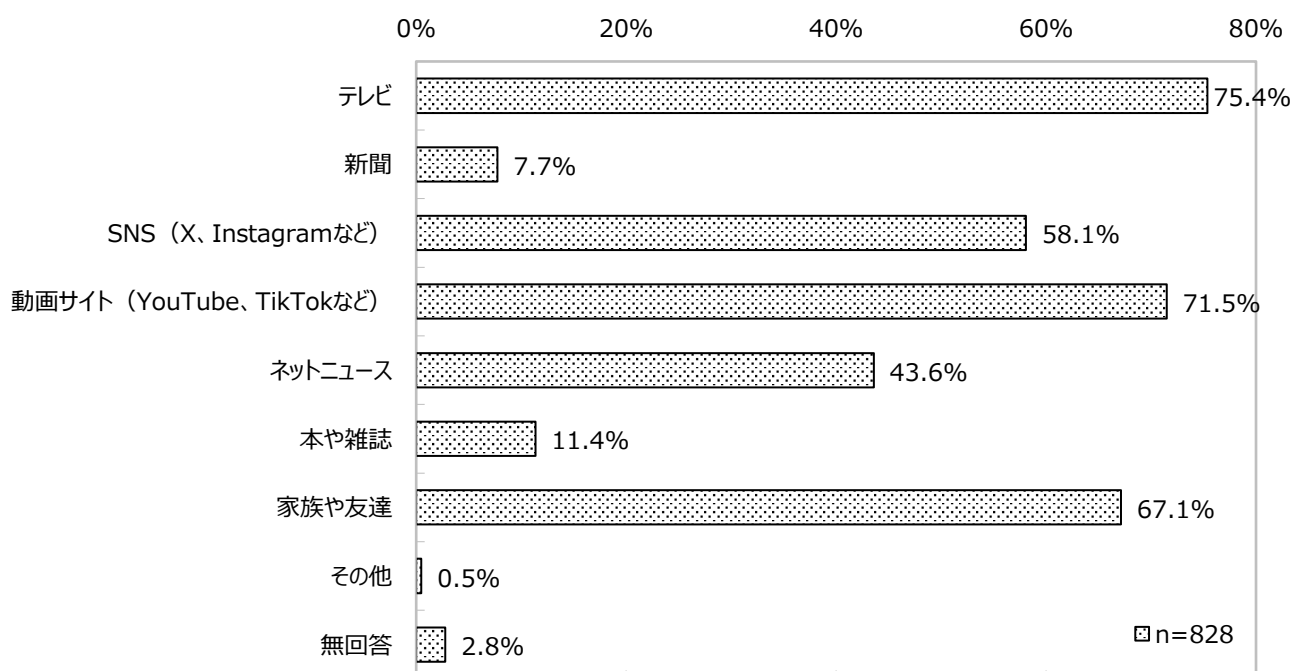
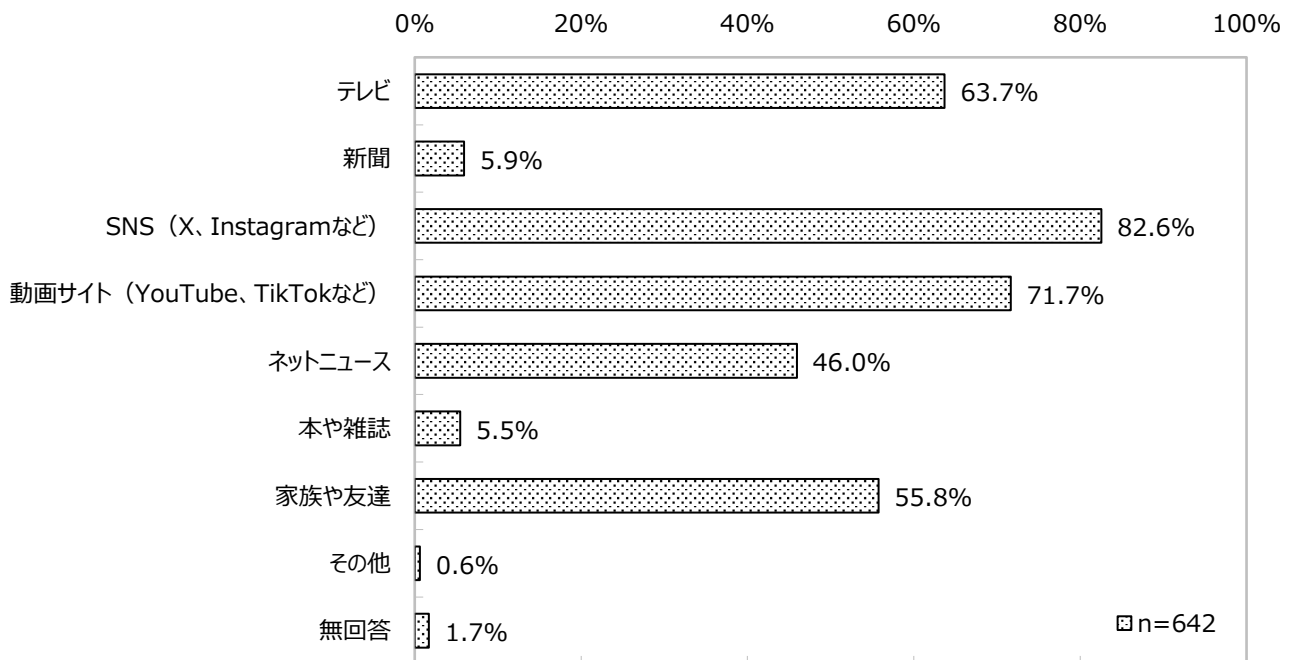


図3－(20)－3 高校2年生世代の普段の情報入手先（複数回答）



(21) 情報収集の手段として最も使うアプリ

ア 小学5年生の情報収集の手段として最も使うアプリは、「YouTube」が53.4%と最も多く、次いで「TikTok」が14.1%となっている。

イ 中学2年生の情報収集の手段として最も使うアプリは、「YouTube」が31.5%と最も多く、次いで「TikTok」が28.4%となっている。

ウ 高校2年生世代の情報収集の手段として最も使うアプリは、「YouTube」が25.4%と最も多く、次いで「TikTok」が19.8%となっている。

エ 高校2年生世代では「X」が17.5%となっており、小学5年生、中学2年生の各世代と比較して使用頻度が多くなっている。

※(20) 普段の情報入手先で、「SNS(X、Instagramなど)」、「動画サイト(YouTube、TikTokなど)」、「ネットニュース」のいずれかを選んだ者が集計の対象。

図3－(21)－1 小学5年生の情報収集の手段として最も使うアプリ

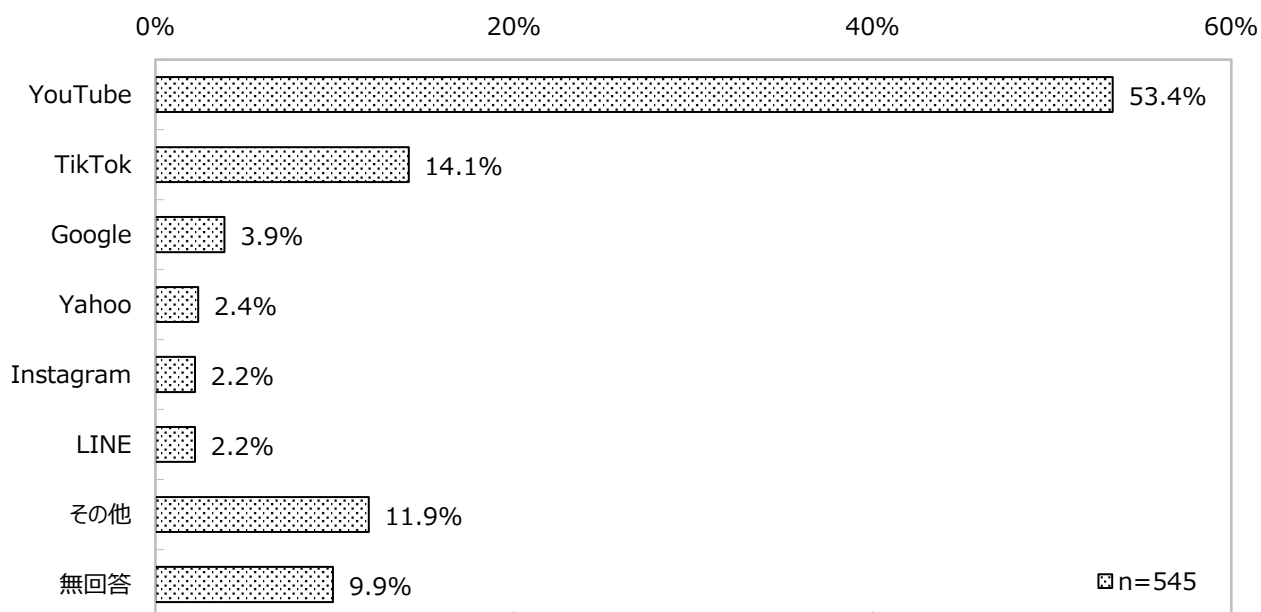


図3－(21)－2 中学2年生の情報収集の手段として最も使うアプリ

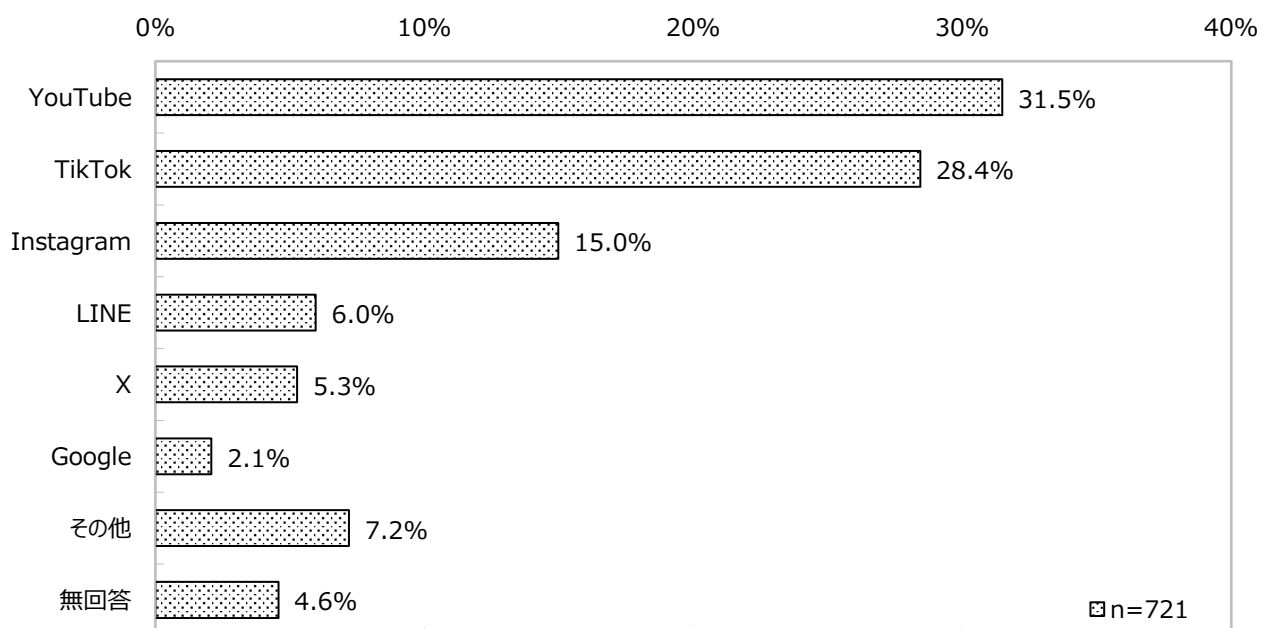
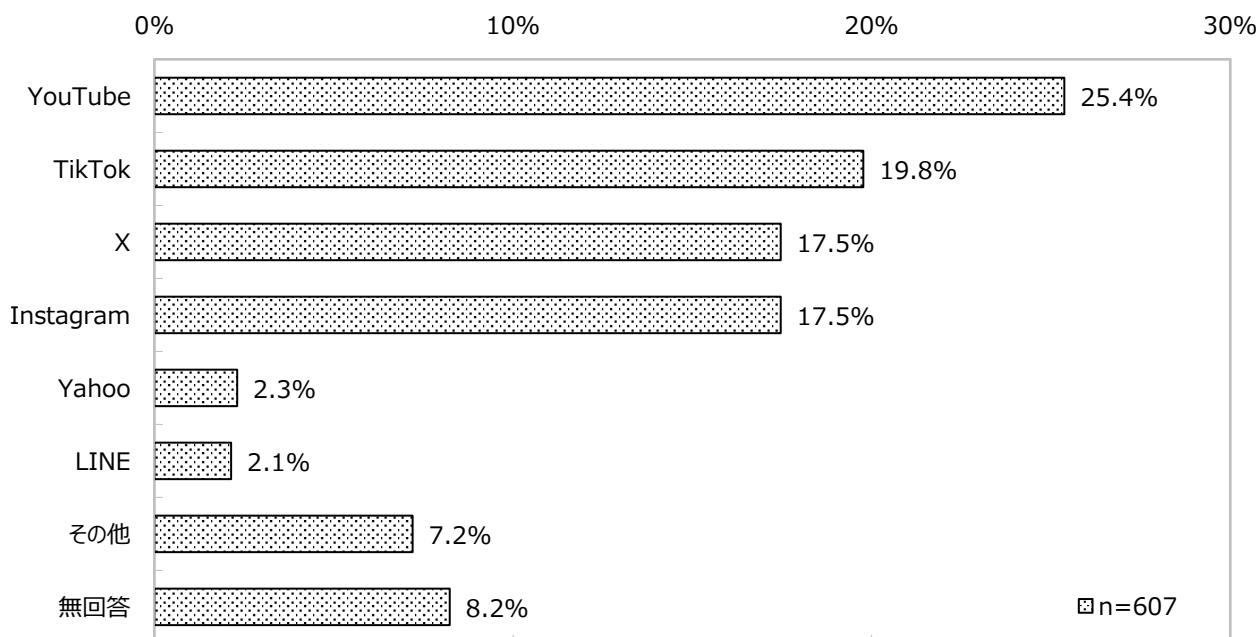


図3－（21）－3 高校2年生世代の情報収集の手段として最も使うアプリ



（22）滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法

ア 小学5年生の滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法は、「同じ世代の子どもたちと一緒に話し合ってから伝える」が46.5%と最も多く、次いで「決められたテーマについてのアンケートに回答する」が36.5%となっている。

イ 中学2年生の滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法は、「インターネットやSNSから自由に意見を送る」が57.1%と最も多く、次いで「同じ世代の子どもたちと一緒に話し合ってから伝える」が43.1%となっている。

ウ 高校2年生世代の滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法は、「インターネットやSNSから自由に意見を送る」が69.5%と最も多く、次いで「決められたテーマについてのアンケートに回答する」が41.1%となっている。

図 3 - (2 2) - 1 小学5年生の滋賀県が施策を進めていく上で意見をしやすい方法

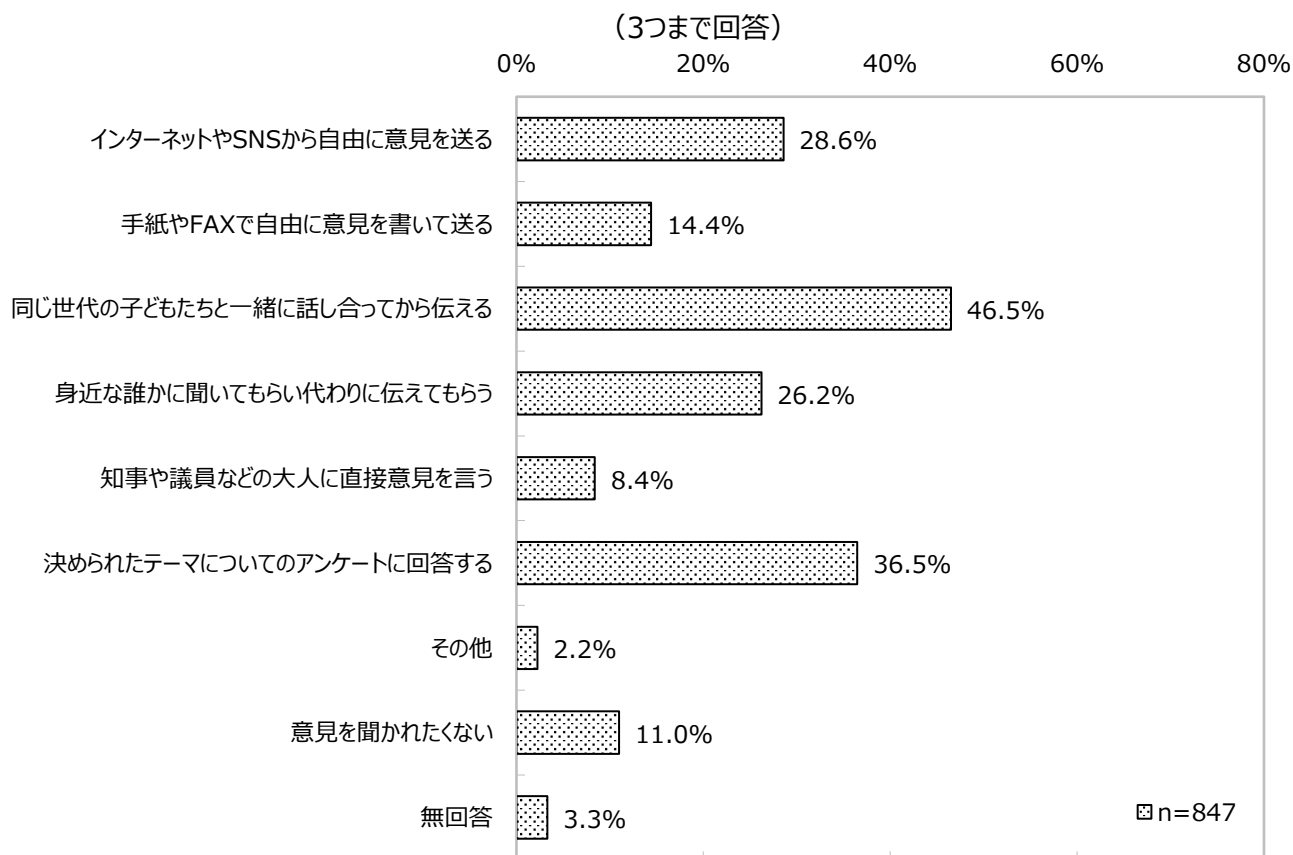


図 3 - (2 2) - 2 中学2年生の滋賀県が施策を進めていく上で
意見をしやすい方法 (3つまで回答)

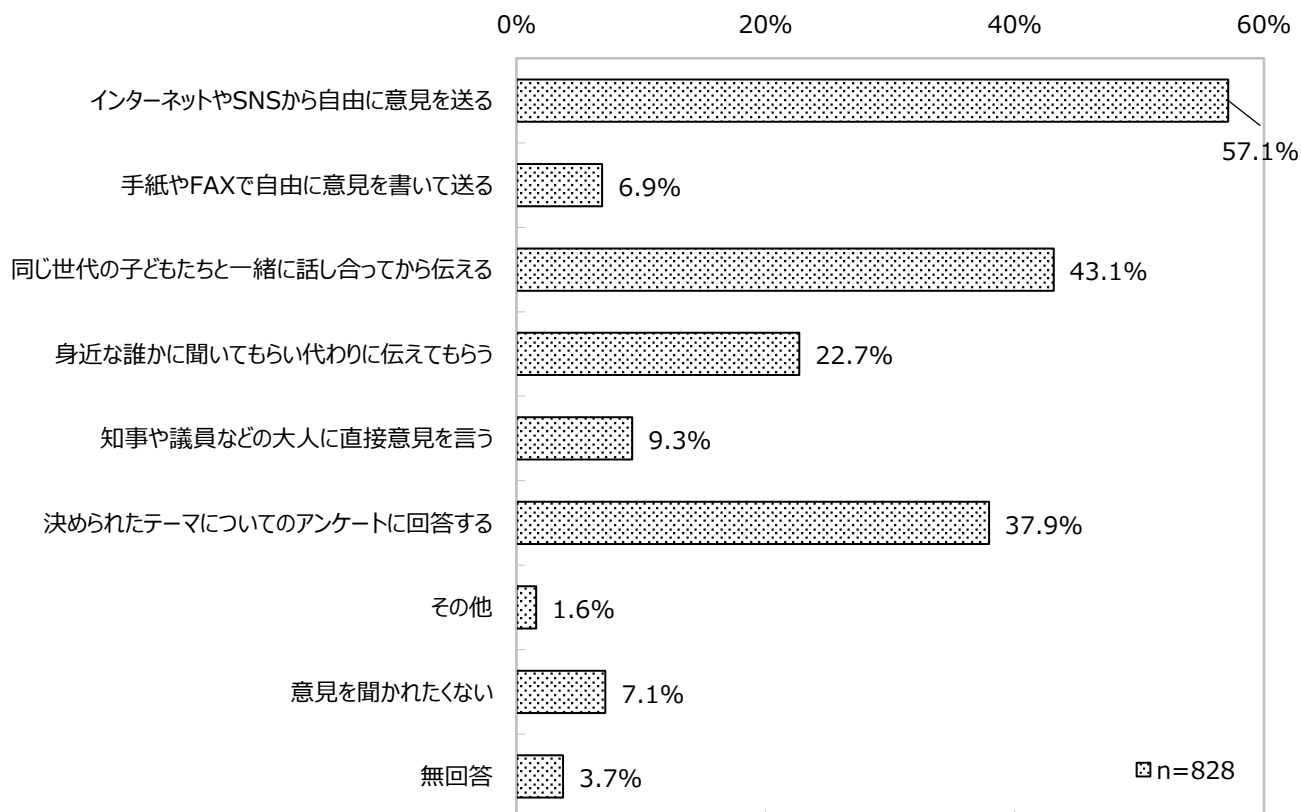
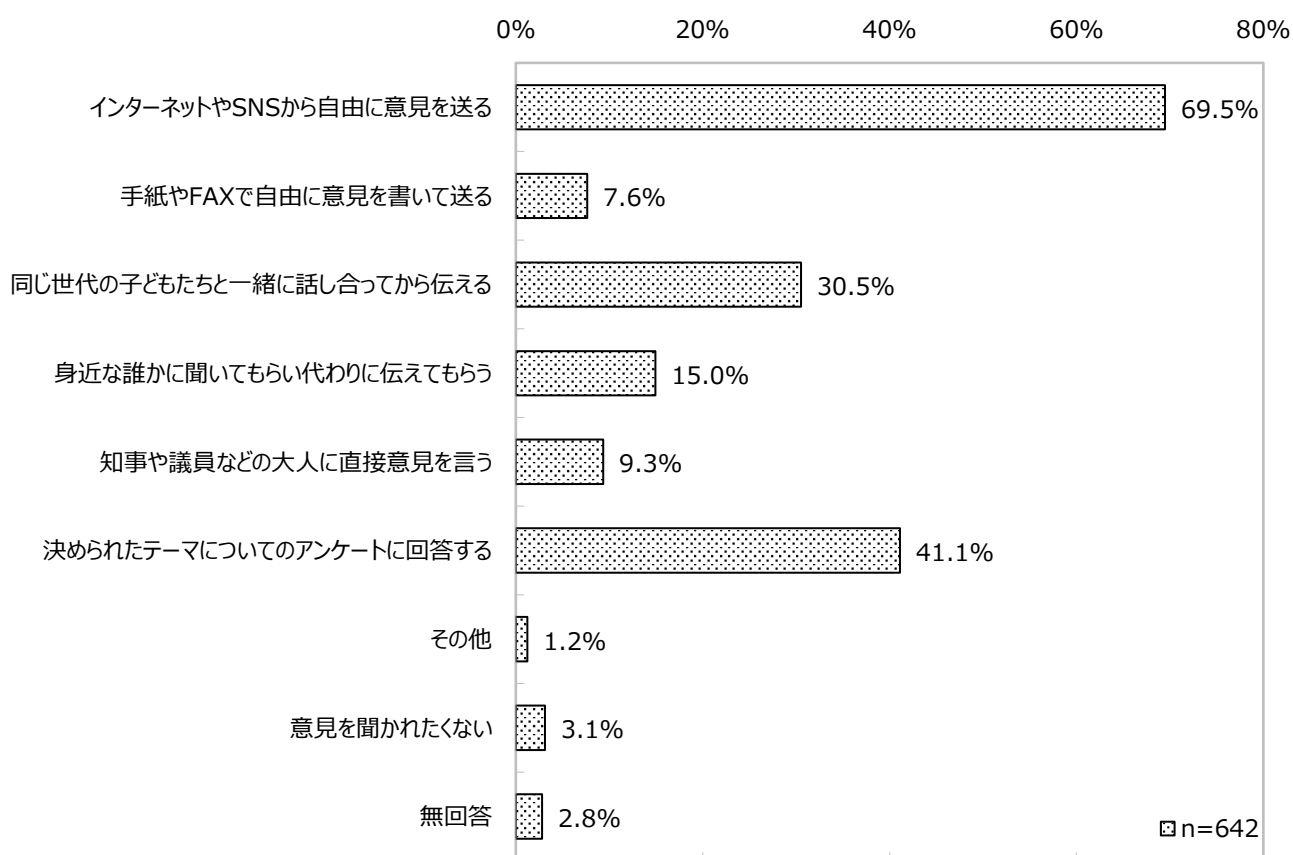


図3－（22）－3 高校2年生世代の滋賀県が施策を進めていく上で
意見をしやすい方法（3つまで回答）



（23）「滋賀県子ども基本条例」の認知度

- ア 小学5年生の「滋賀県子ども基本条例」の認知度は、「全く知らない」が67.1%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が14.3%となっている。
- イ 中学2年生の「滋賀県子ども基本条例」の認知度は、「全く知らない」が65.5%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が19.1%となっている。
- ウ 高校2年生世代の「滋賀県子ども基本条例」の認知度は、「全く知らない」が69.0%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が21.3%となっている。

図3－(23)－1 小学5年生の「滋賀県子ども基本条例」の認知度

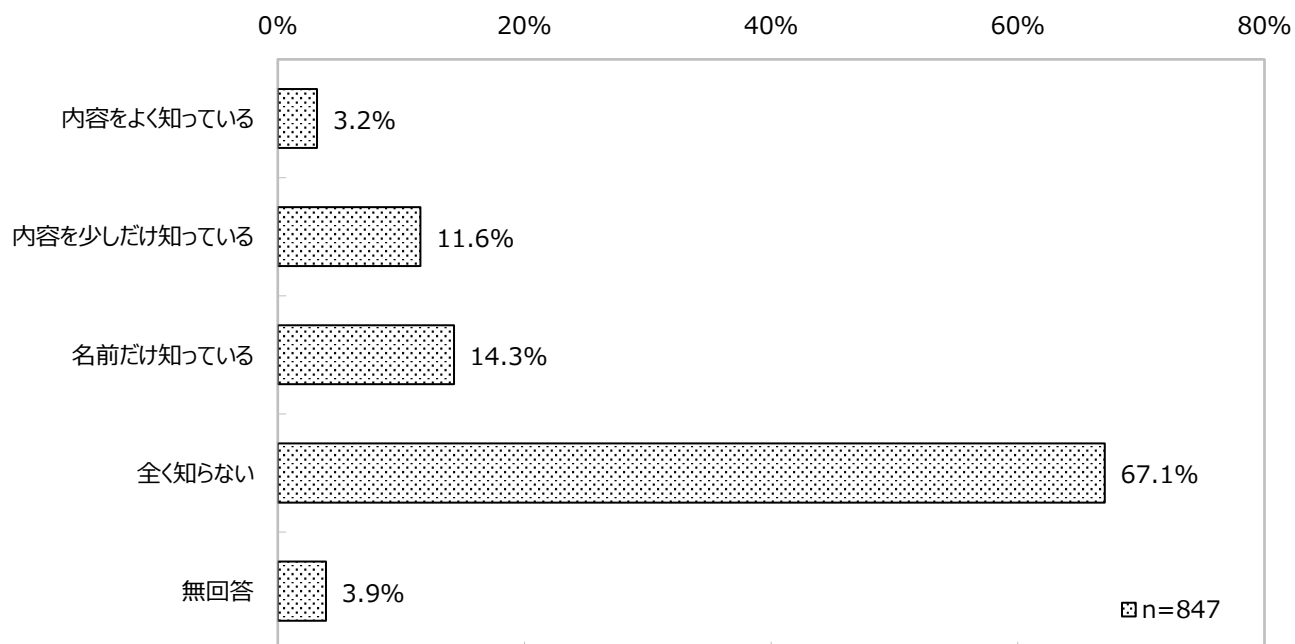


図3－(23)－2 中学2年生の「滋賀県子ども基本条例」の認知度

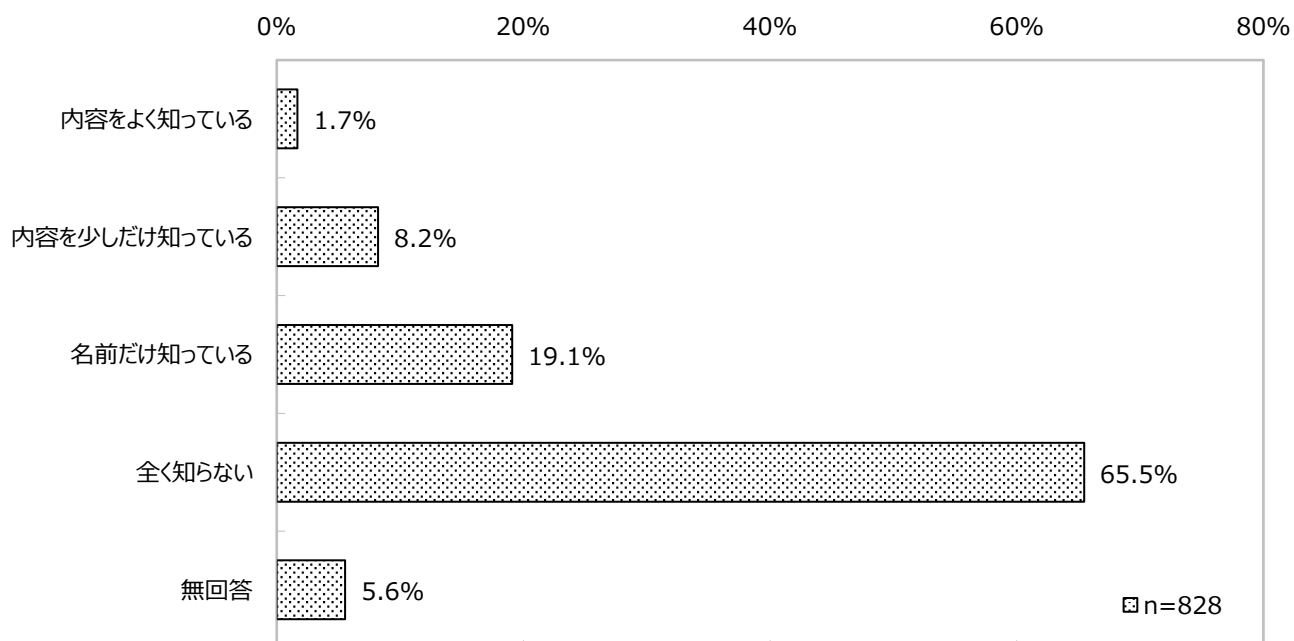
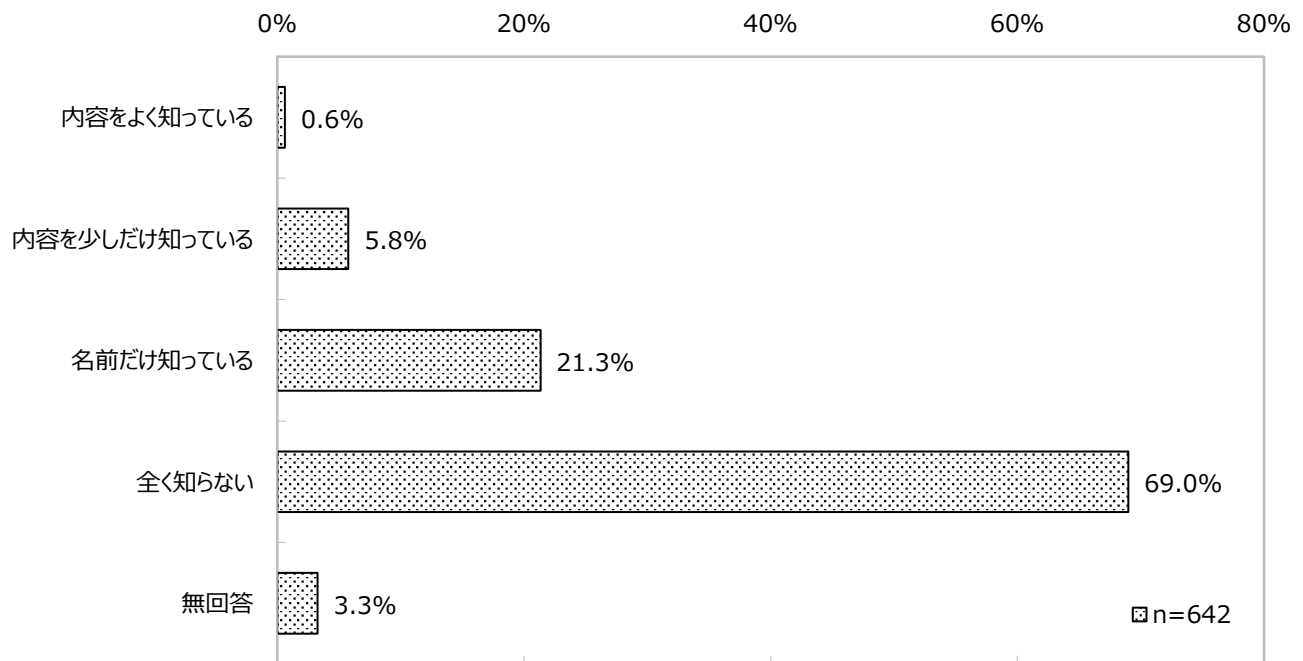


図 3－（ 2 3 ）－ 3 高校2年生世代の「滋賀県子ども基本条例」の認知度



4 日々の生活で思ったことや気づいたこと（自由記述）

ア 日々の生活で思ったことや気づいたことを内容によって分類したところ、小学5年生では「びわ湖・自然環境」が123件と最も多く、次いで「社会問題・ニュース」が47件、「地域・遊び場」が40件、「学校・勉強」が30件となっている。

イ 中学2年生では「びわ湖・自然環境」が84件と最も多く、次いで「地域・遊び場」が48件、「学校・勉強」が45件、「地域・インフラ」が44件となっている。

ウ 高校2年生世代では「地域・インフラ」が73件と最も多く、次いで「学校・勉強」が46件、「びわ湖・自然環境」が30件、「経済・お金」が19件となっている。

図4-1 小学5年生の日々の生活で思ったことや気づいたこと

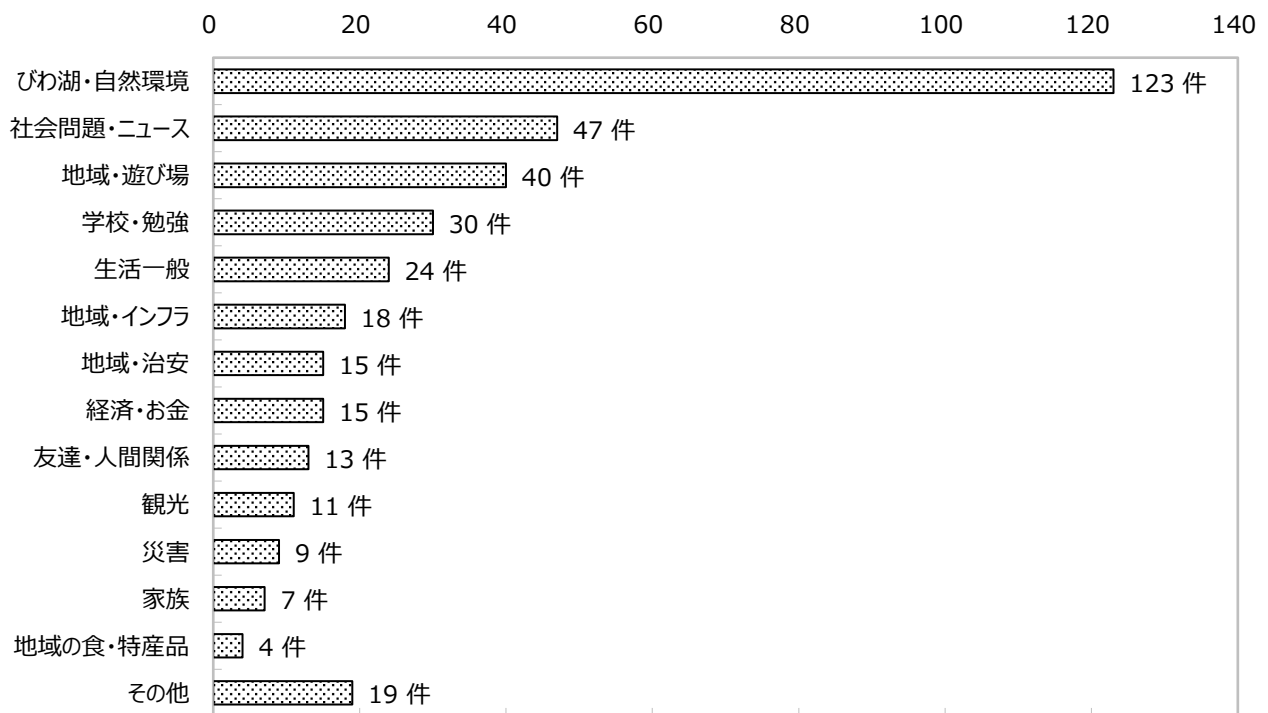


図 4-2 中学2年生の日々の生活で思ったことや気づいたこと

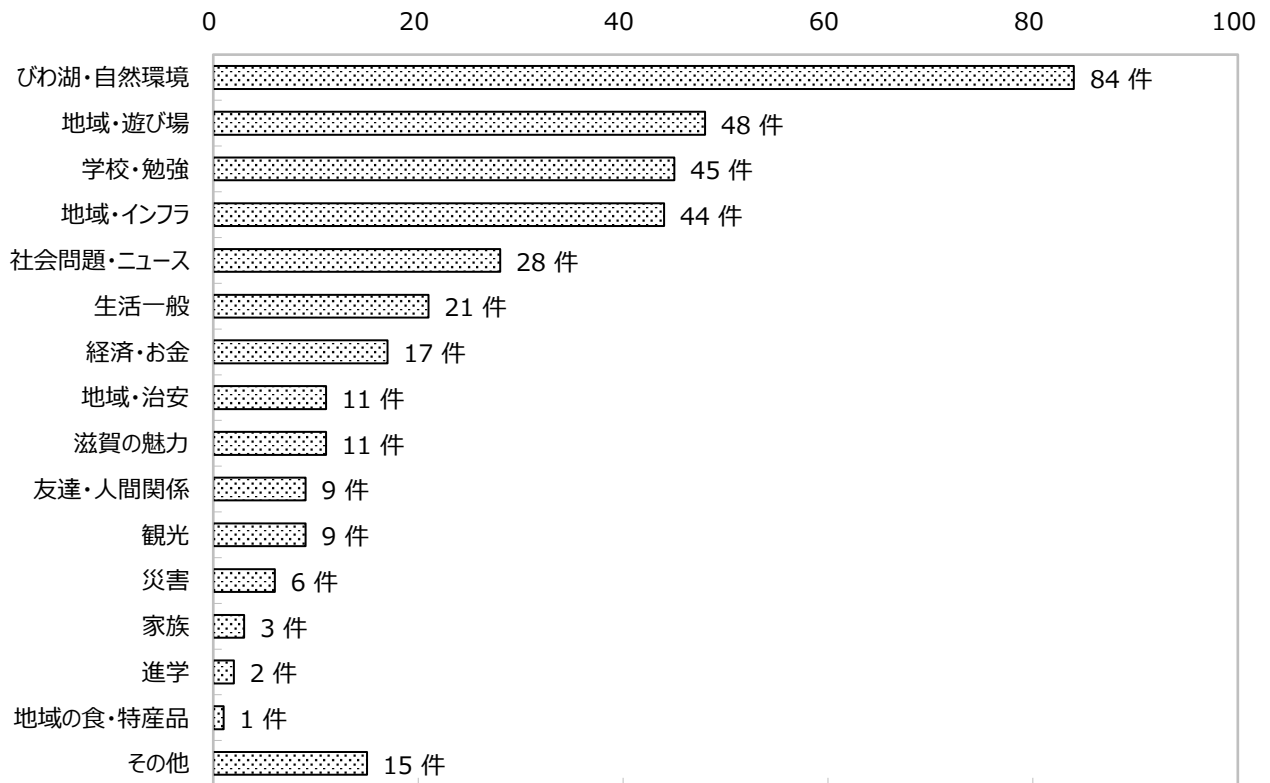


図 4-3 高校2年生世代の日々の生活で思ったことや気づいたこと

